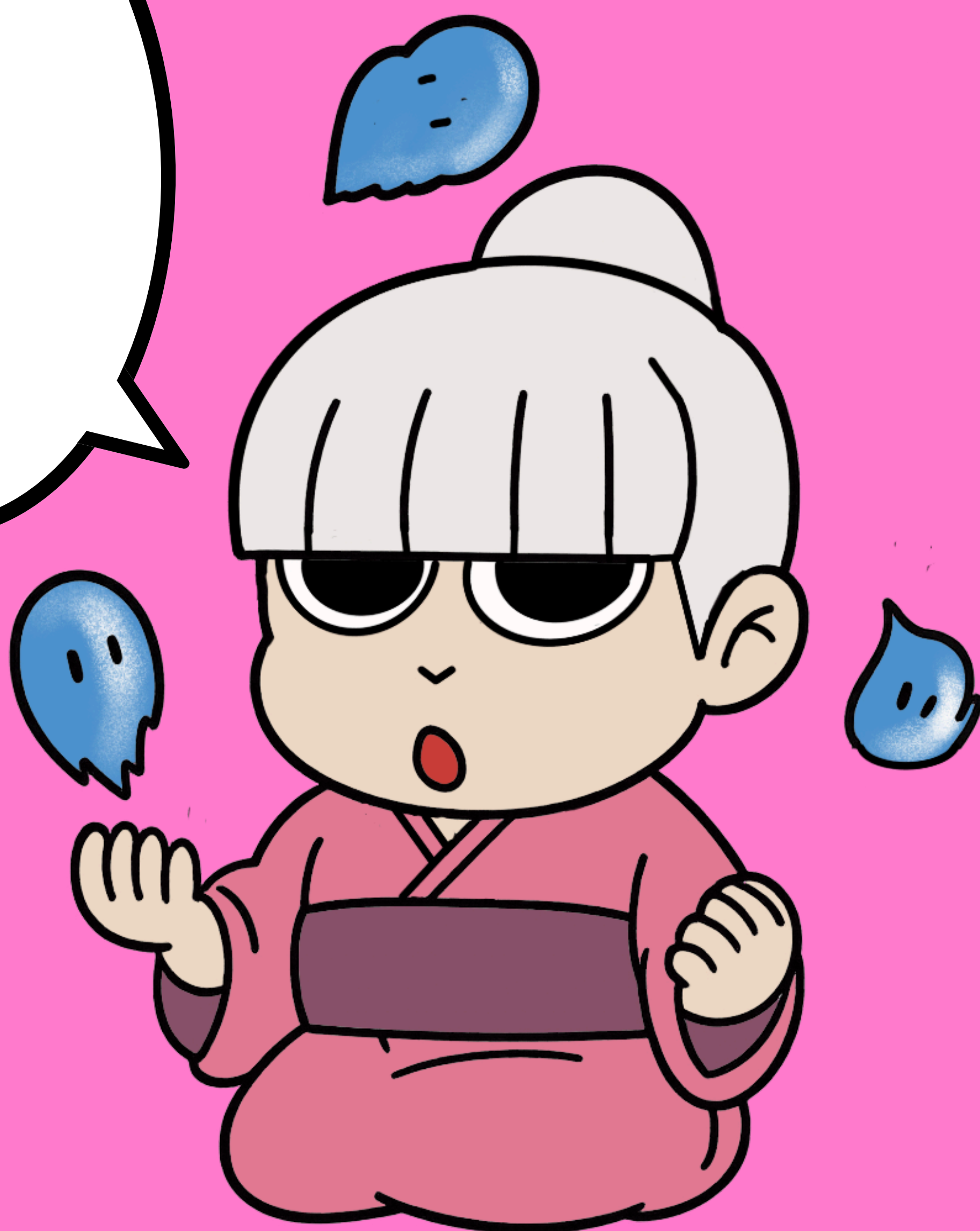


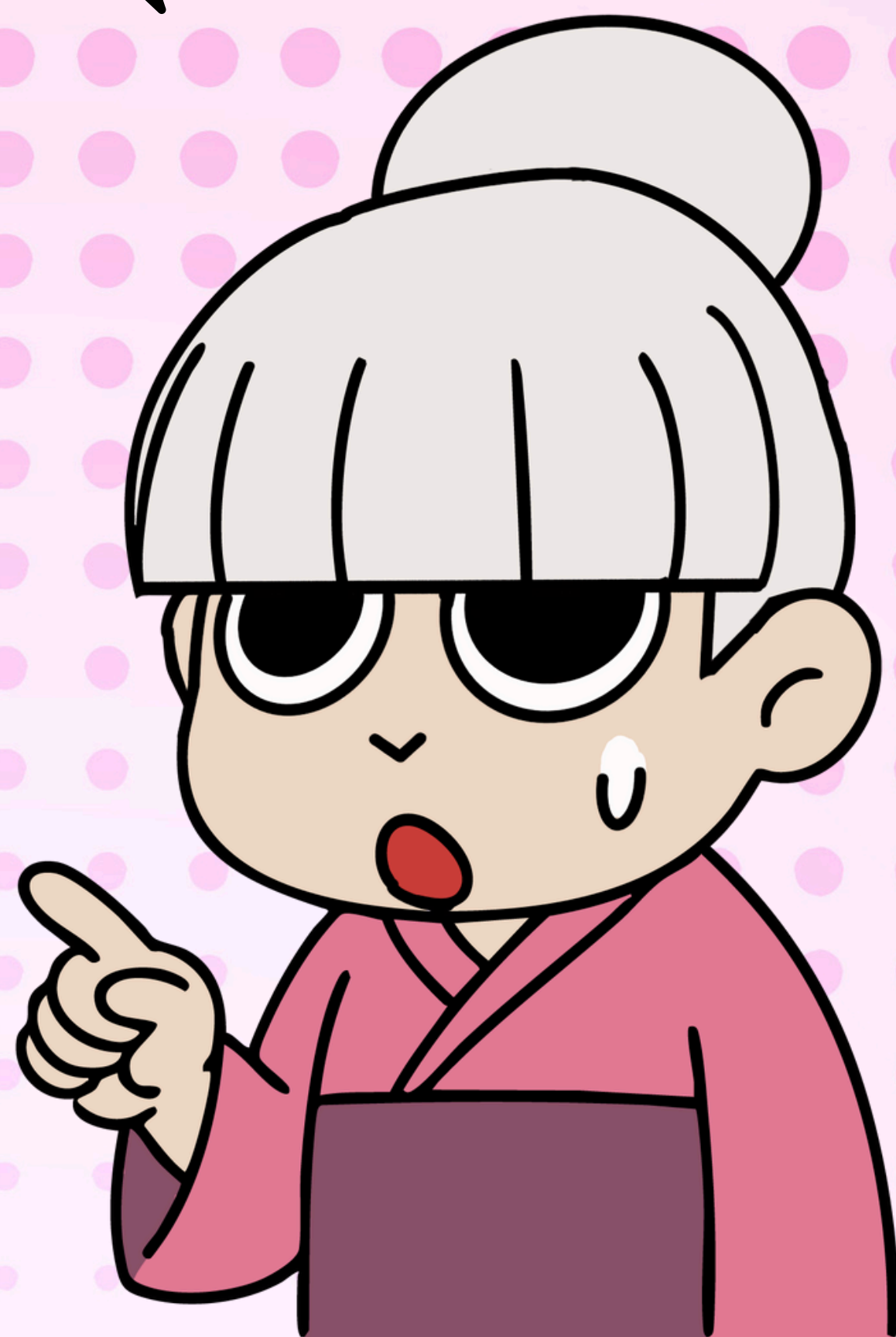
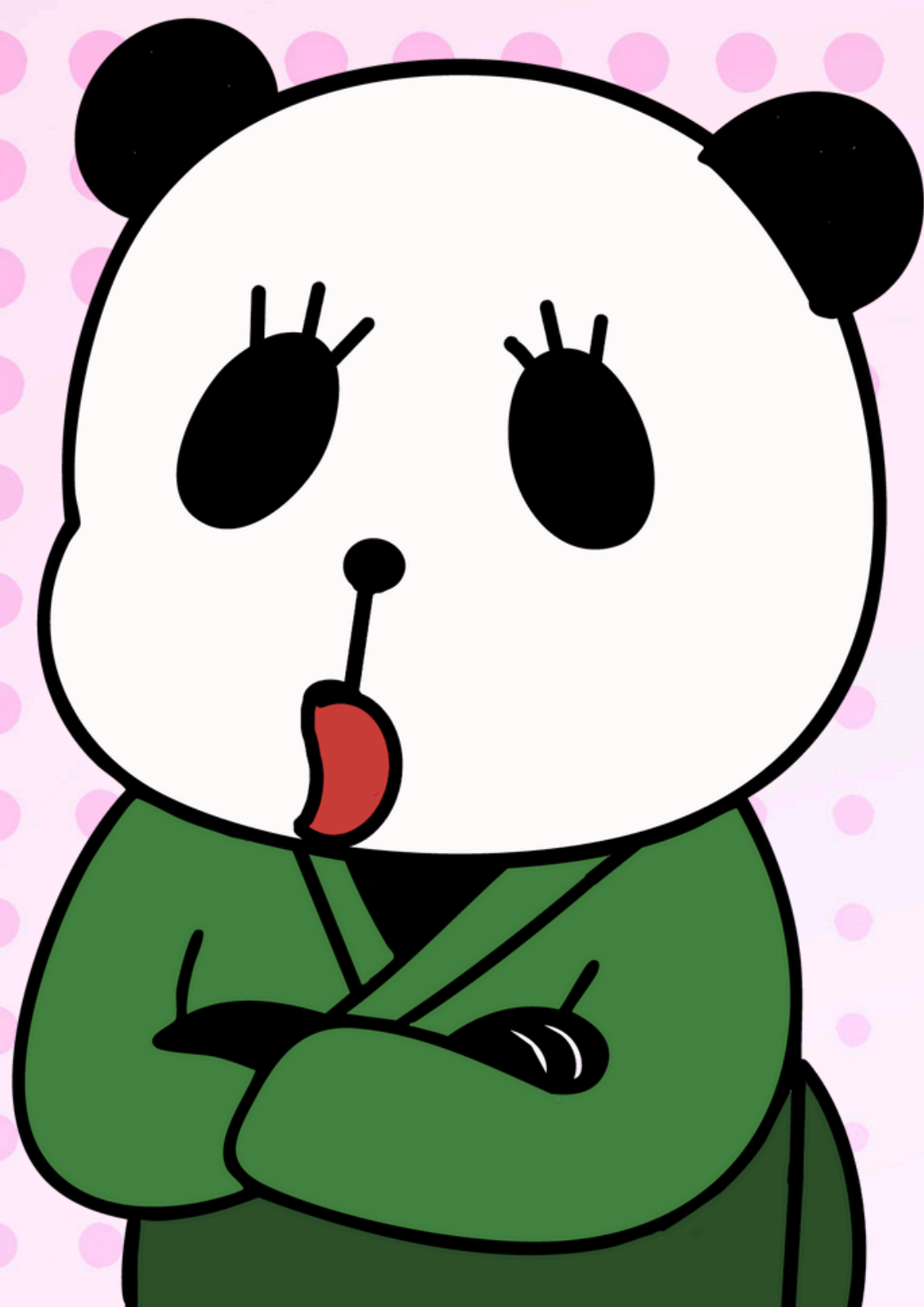
瀬戸際のシロヤナギちゃん

お試し版



目次

- 第1章 白柳ちゃん、旅立つ…… 03
- 第2章 ライバル登場? …………… 09
- 第3章 やばい奴らだらけ ……… 15



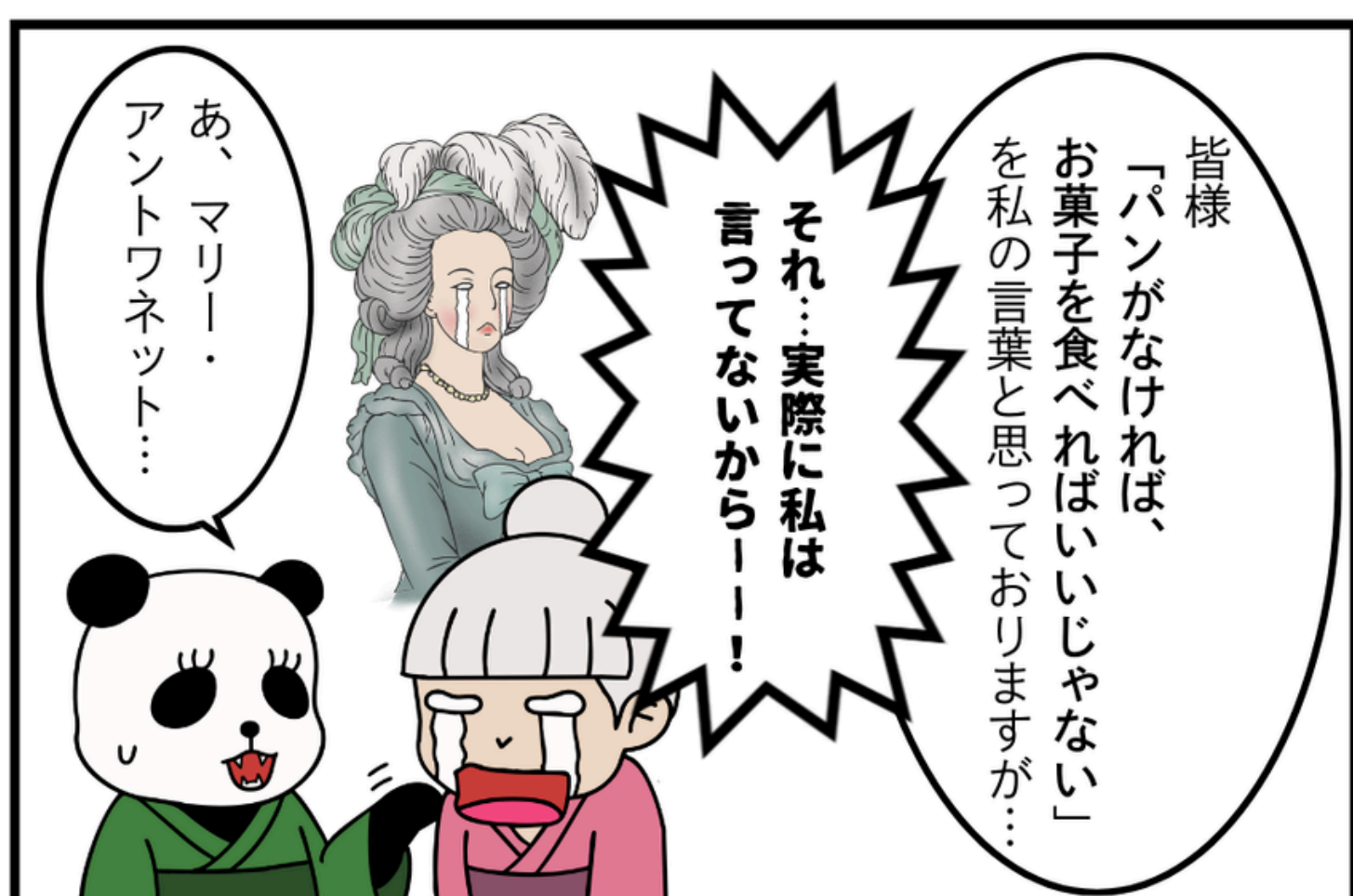
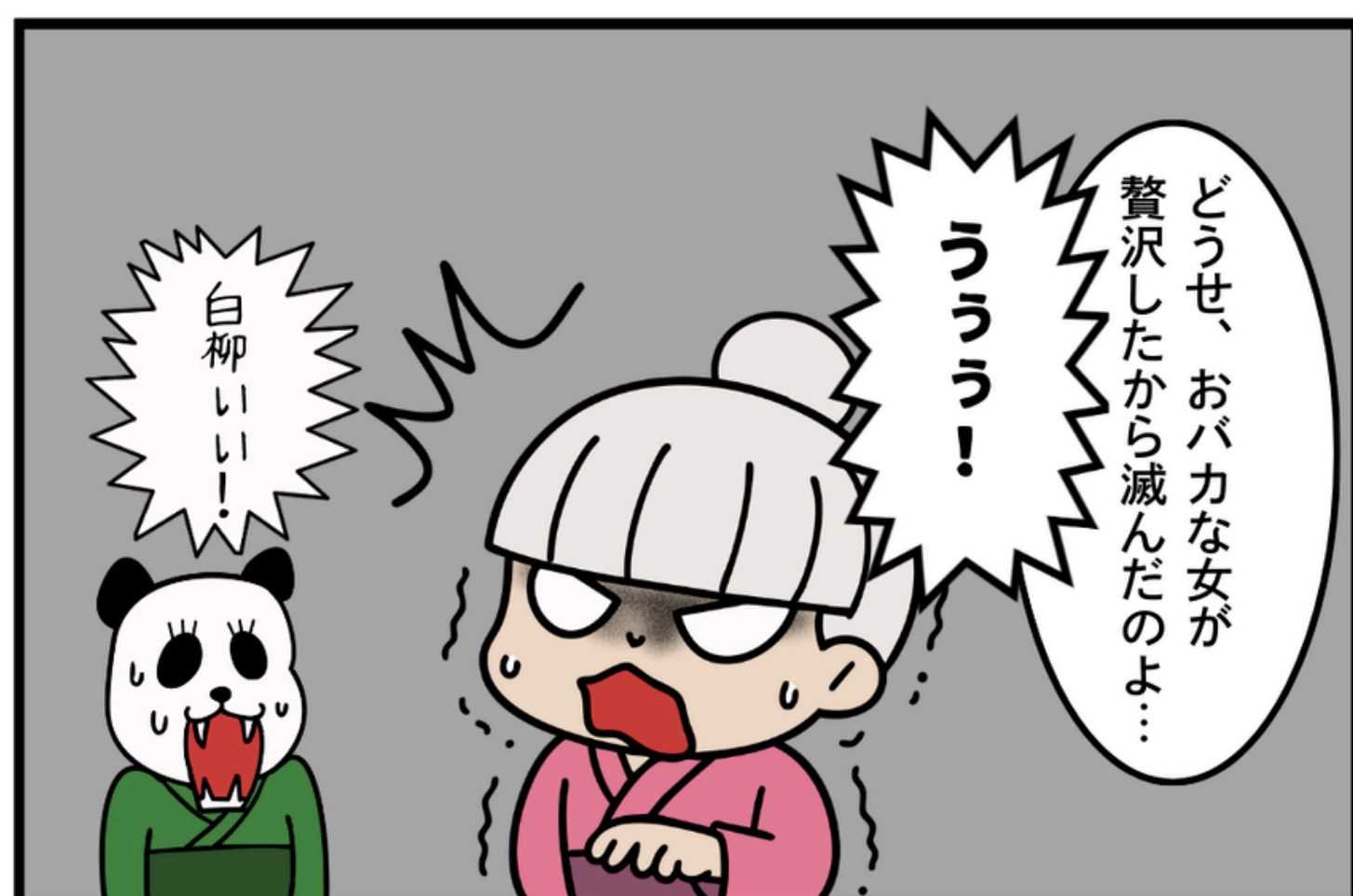
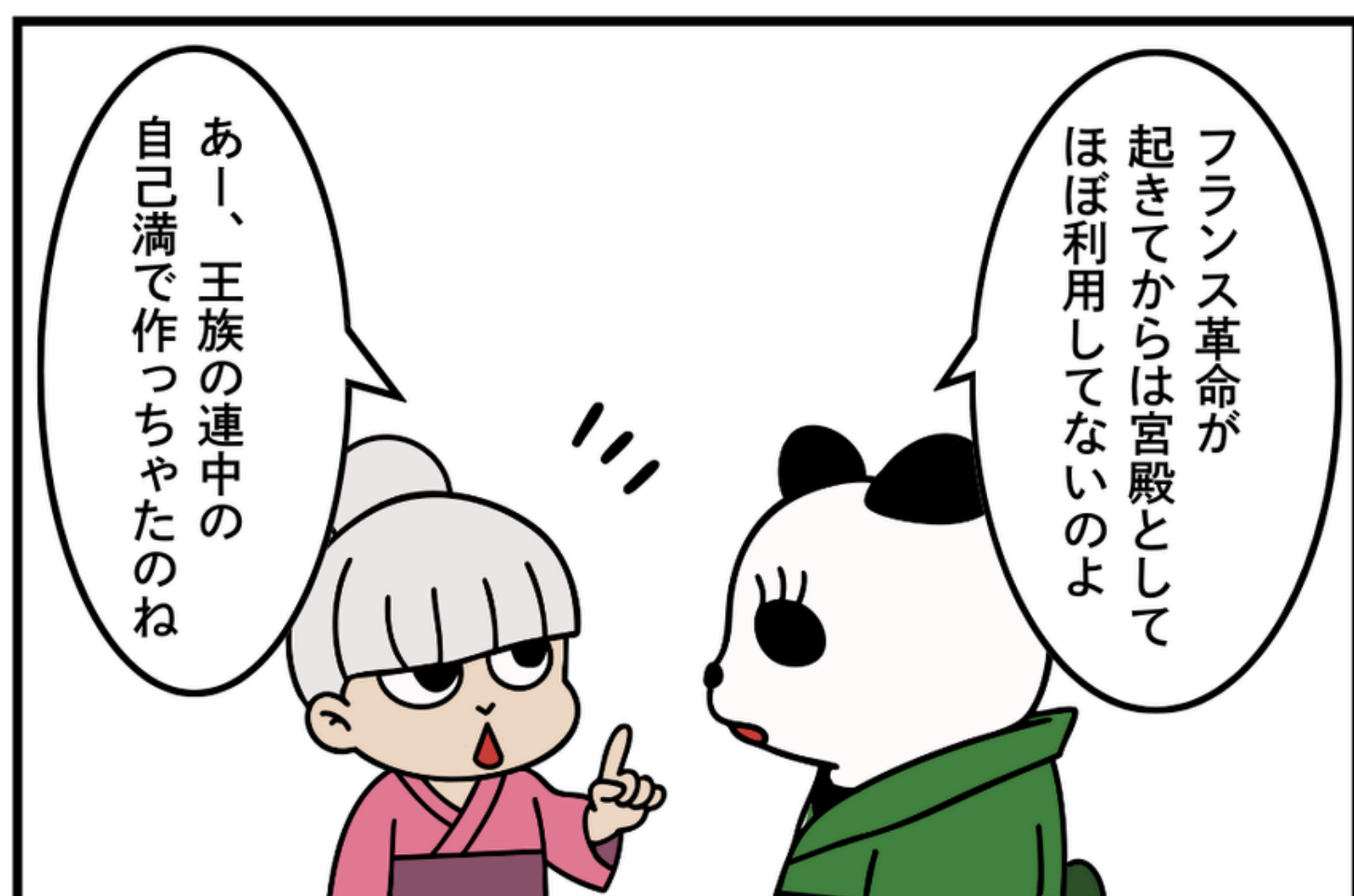
第1章

～白柳ちゃん、旅立つ～

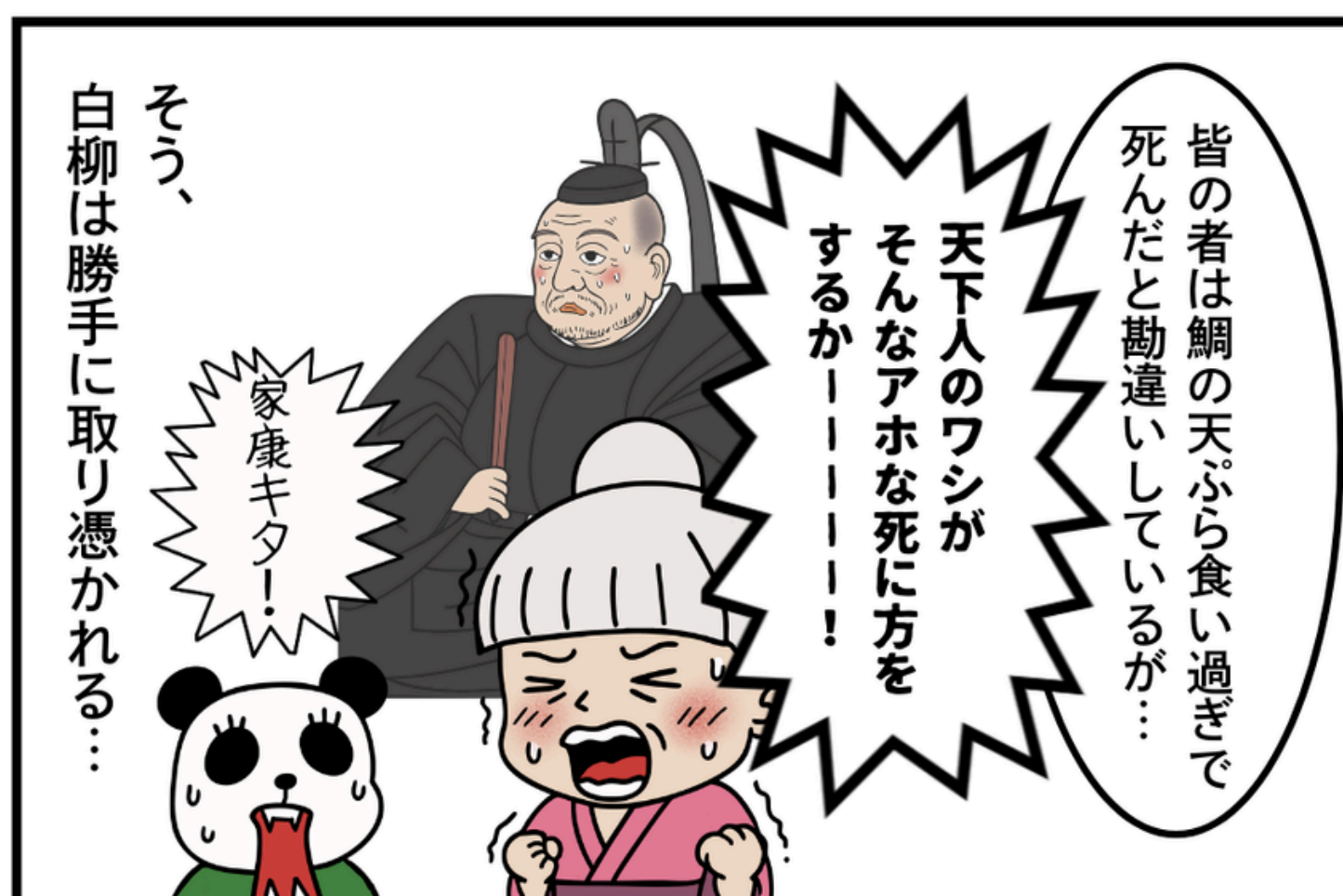
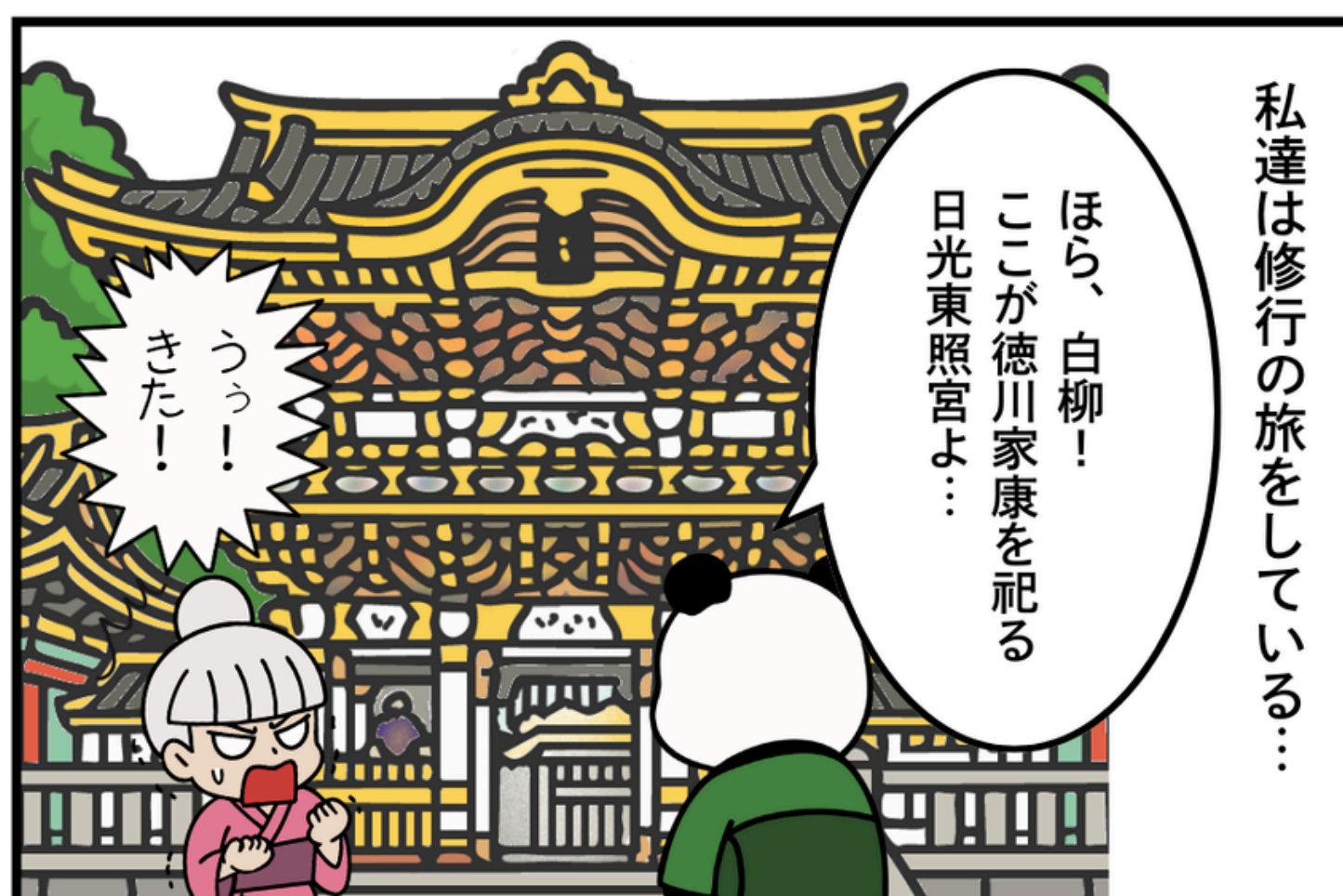
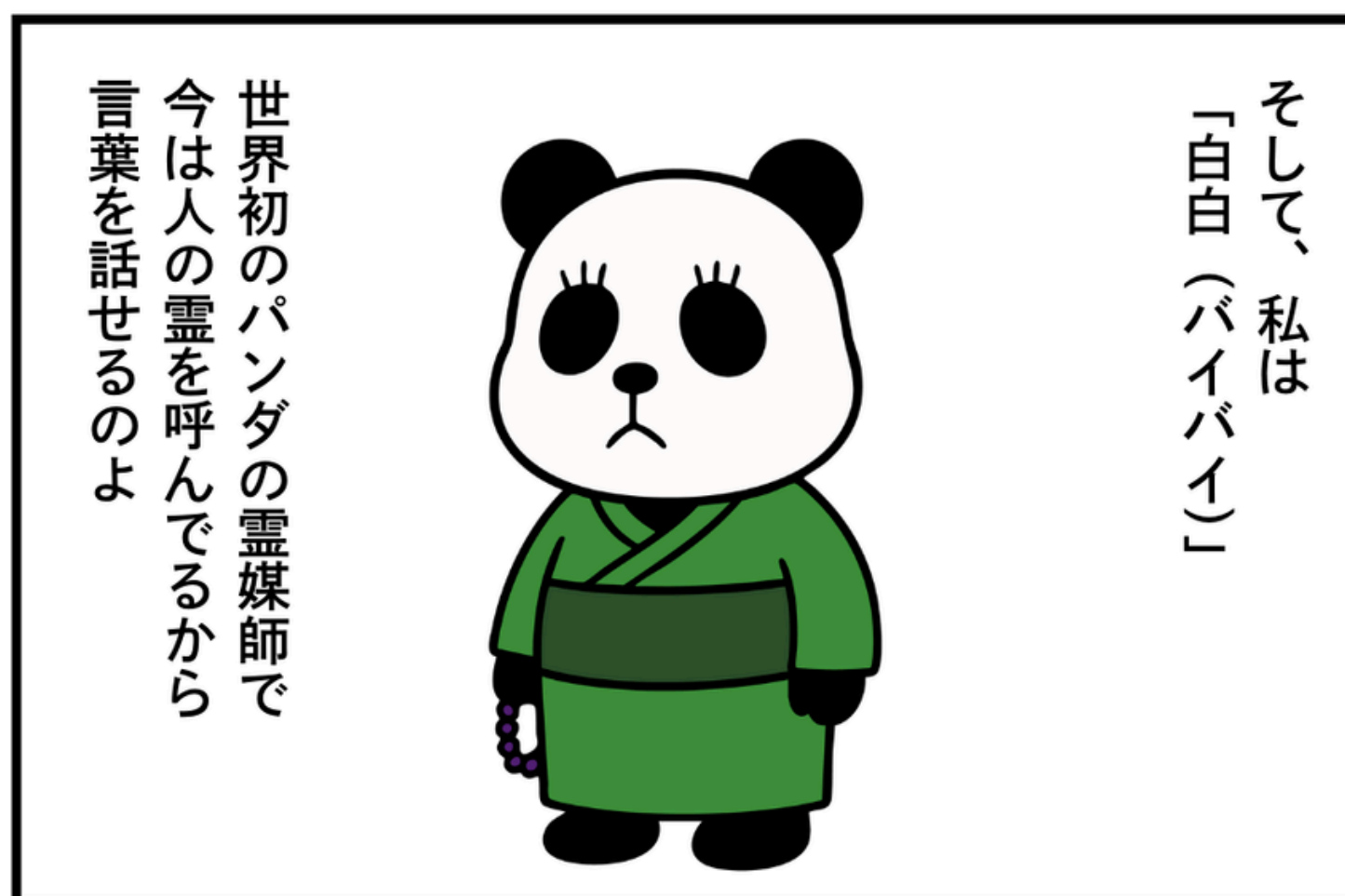
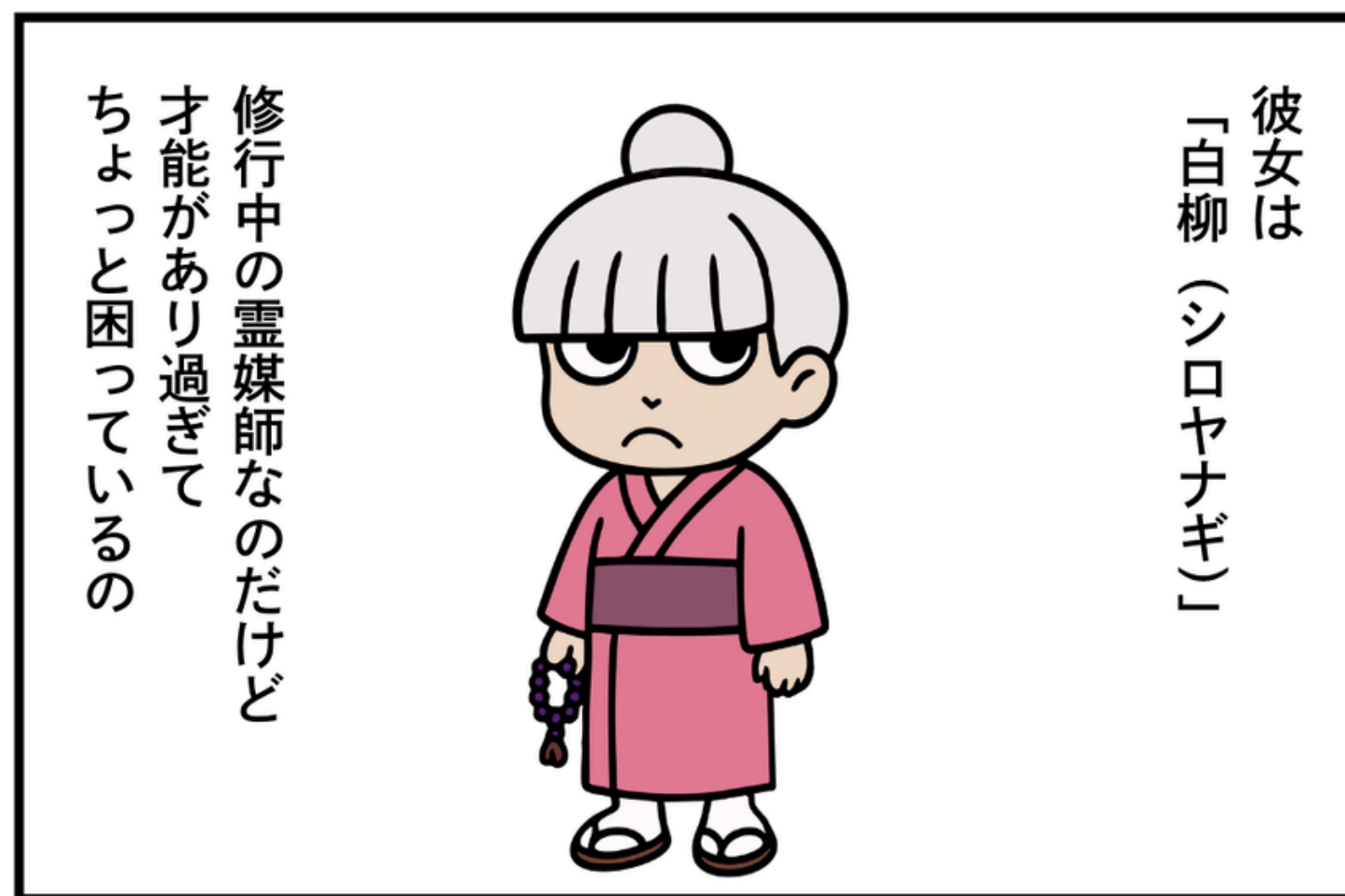
霊多き所…



～ゲスト・マリー・アントワネット～ 第1回



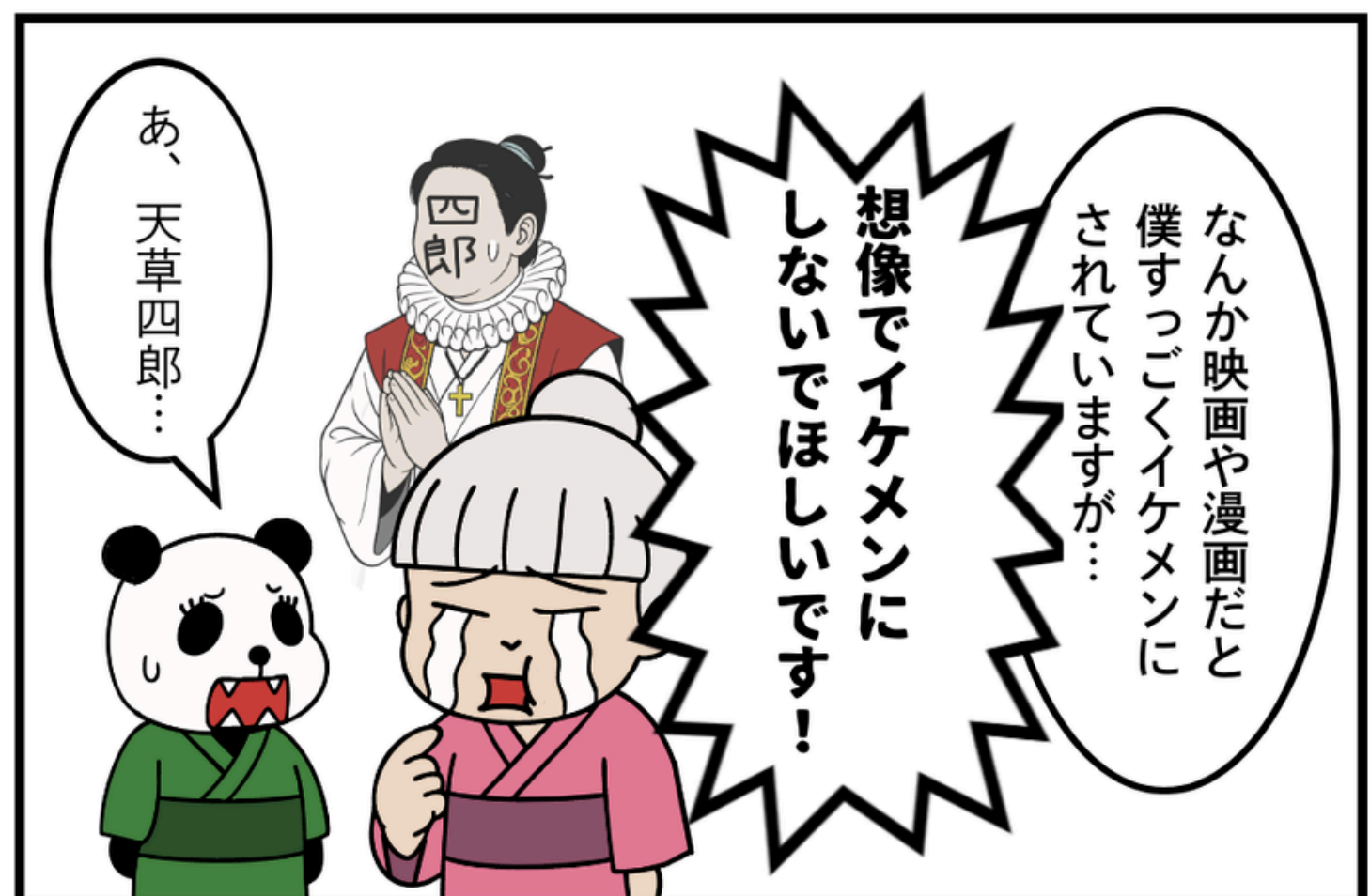
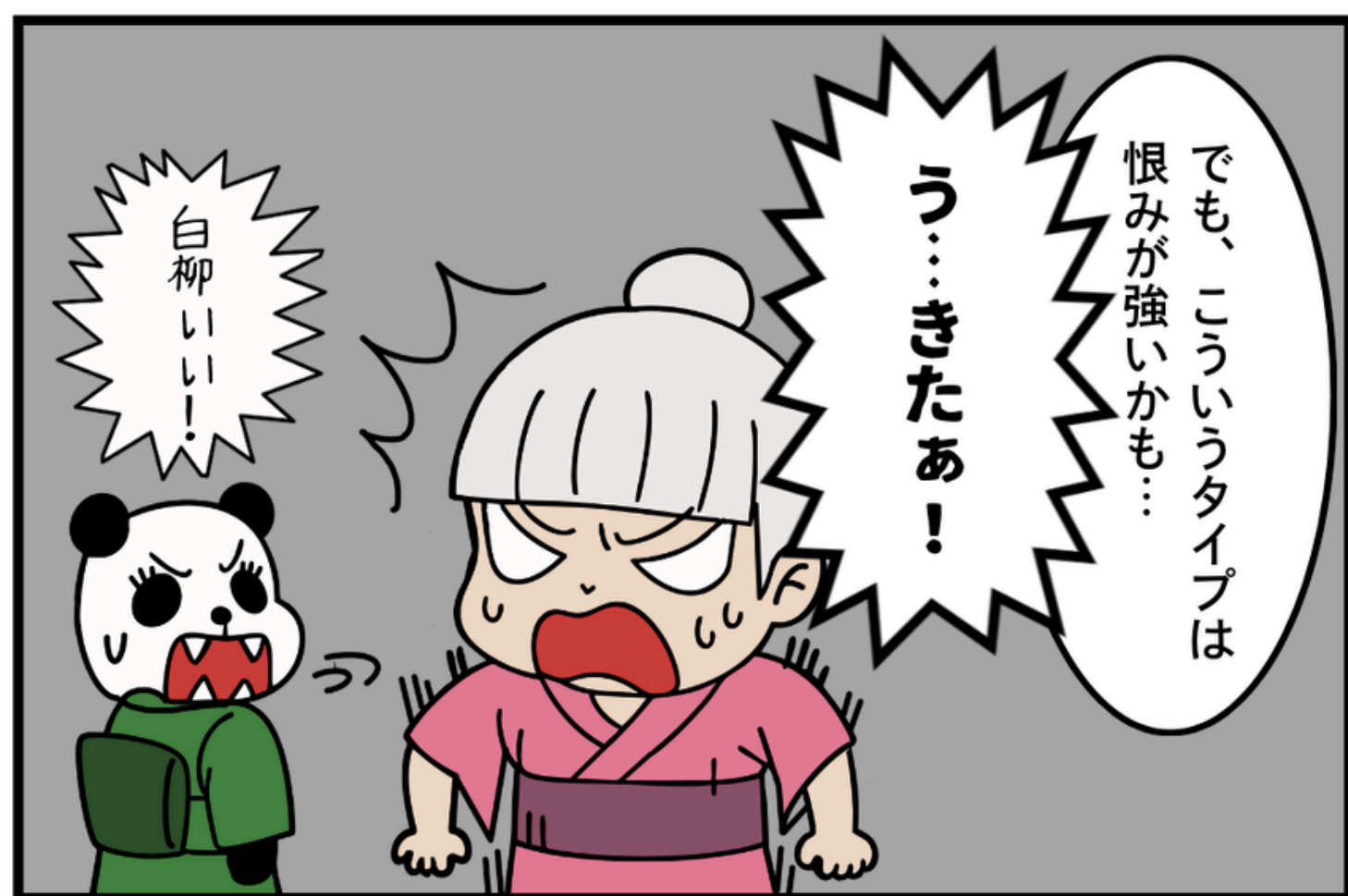
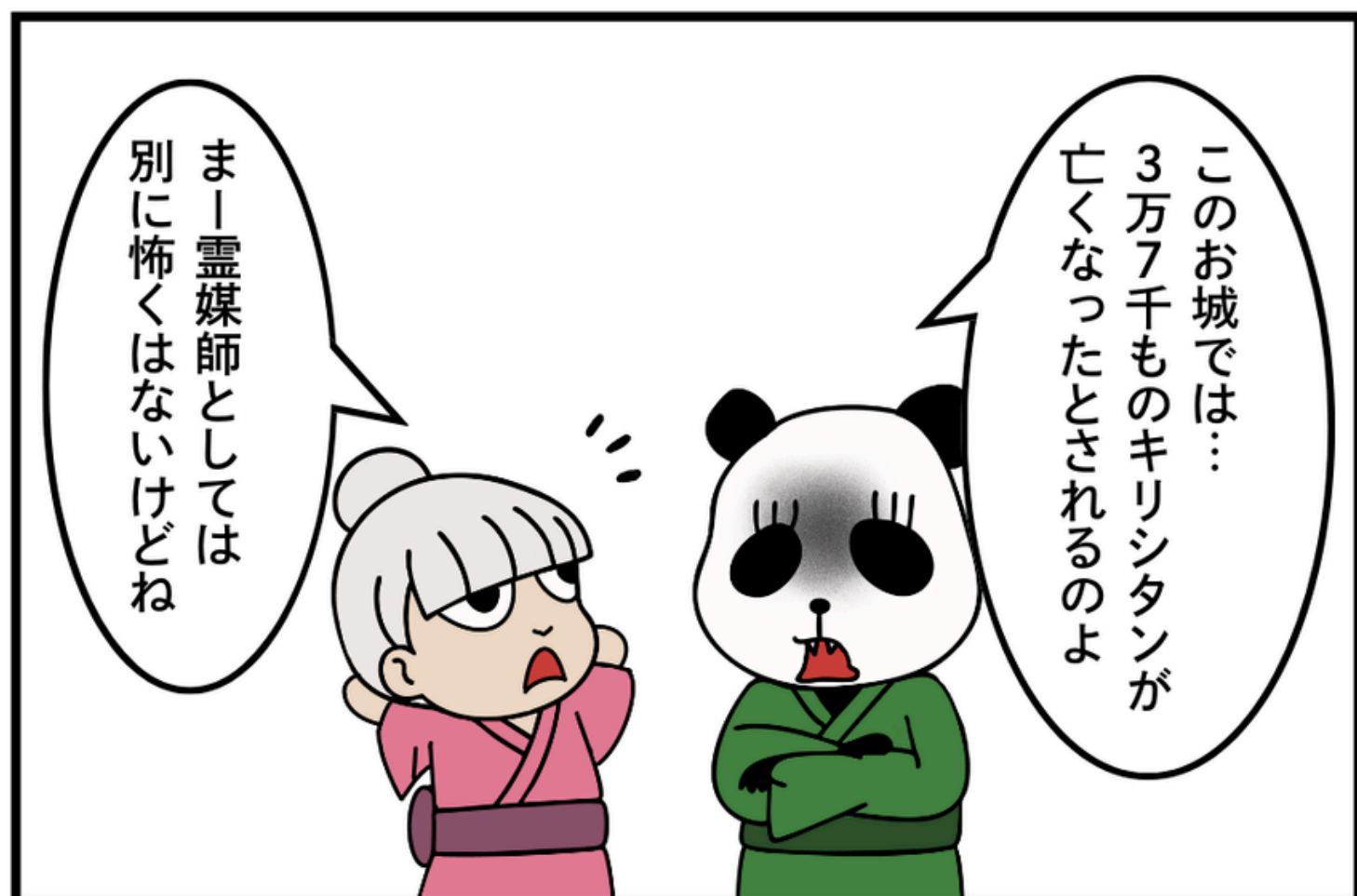
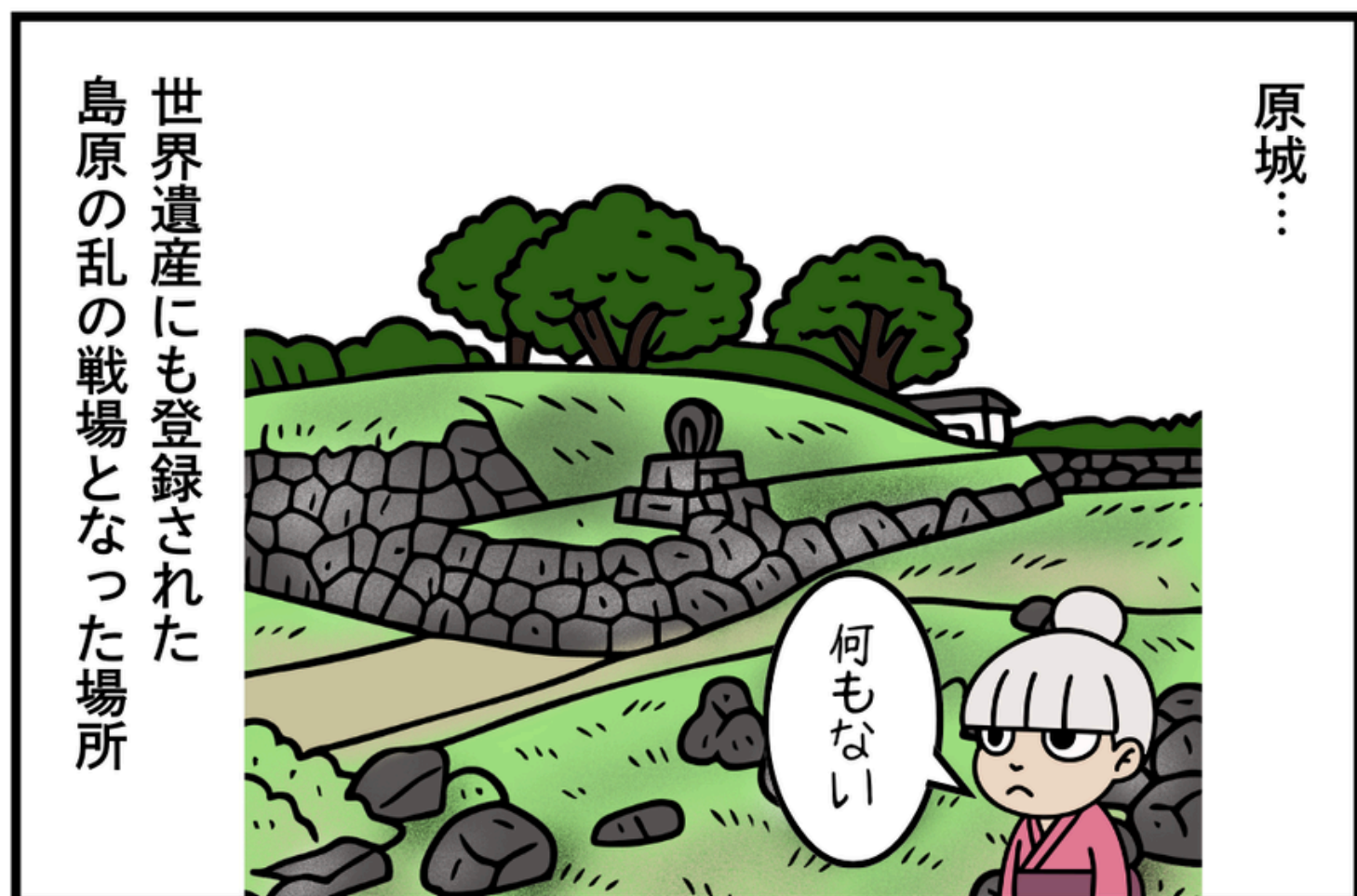
～ゲスト・徳川家康～



ちなみに、このセリフは有名だけど、実際はマリーがフランスに来る前に哲学者ルソーが記した自伝ガルーツで、彼女とは全く関係ないからいい迷惑よね。

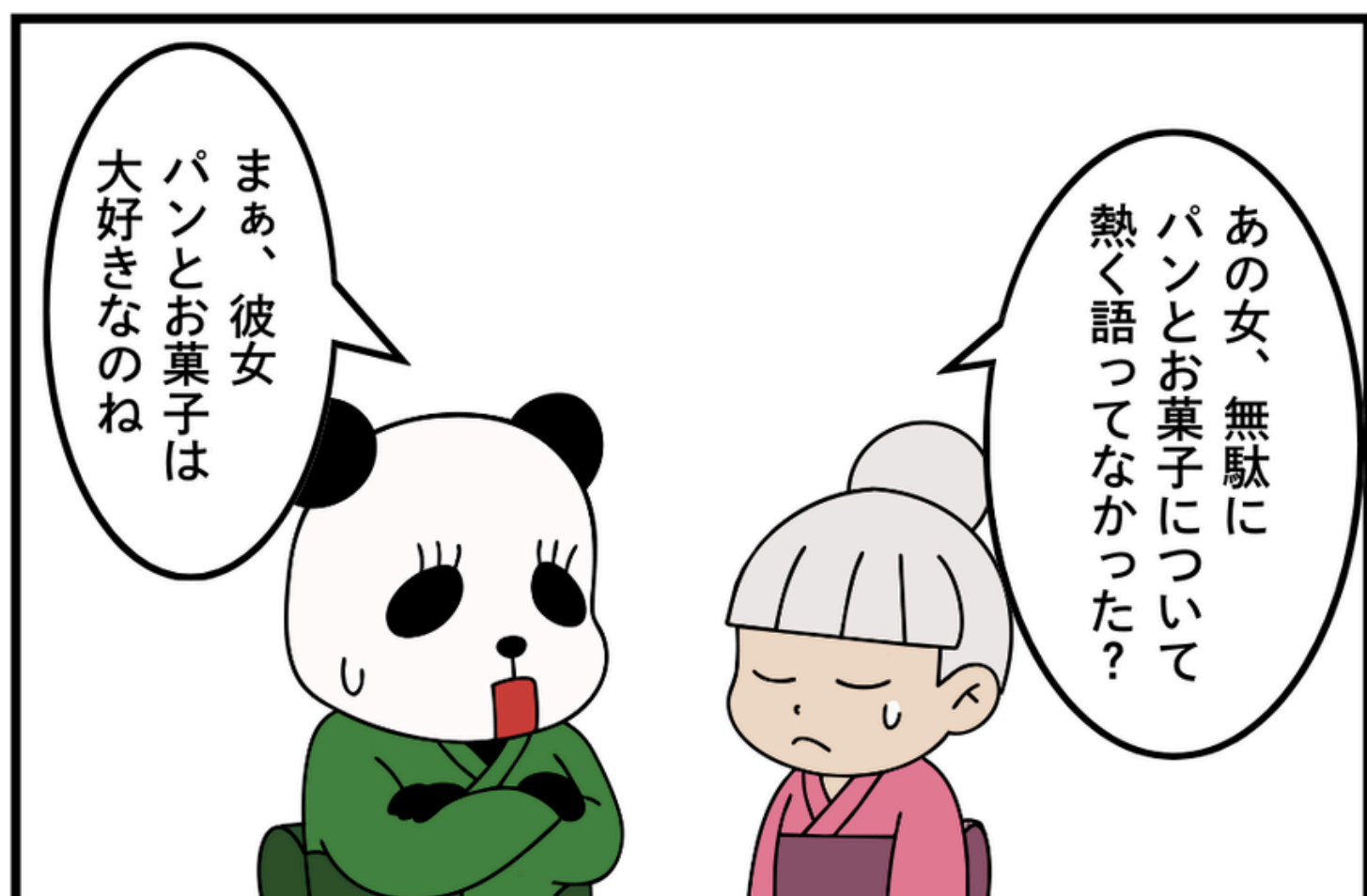
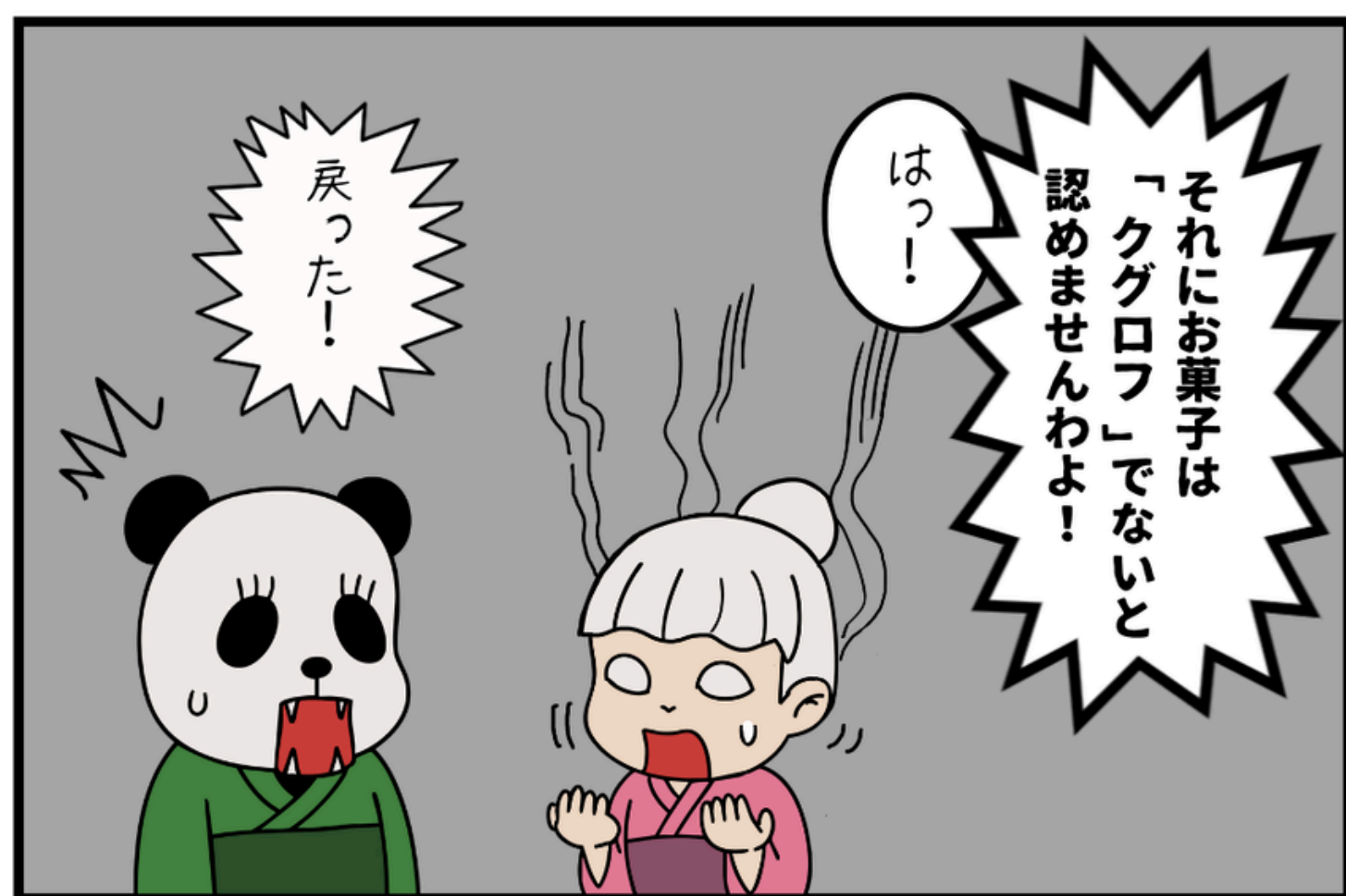
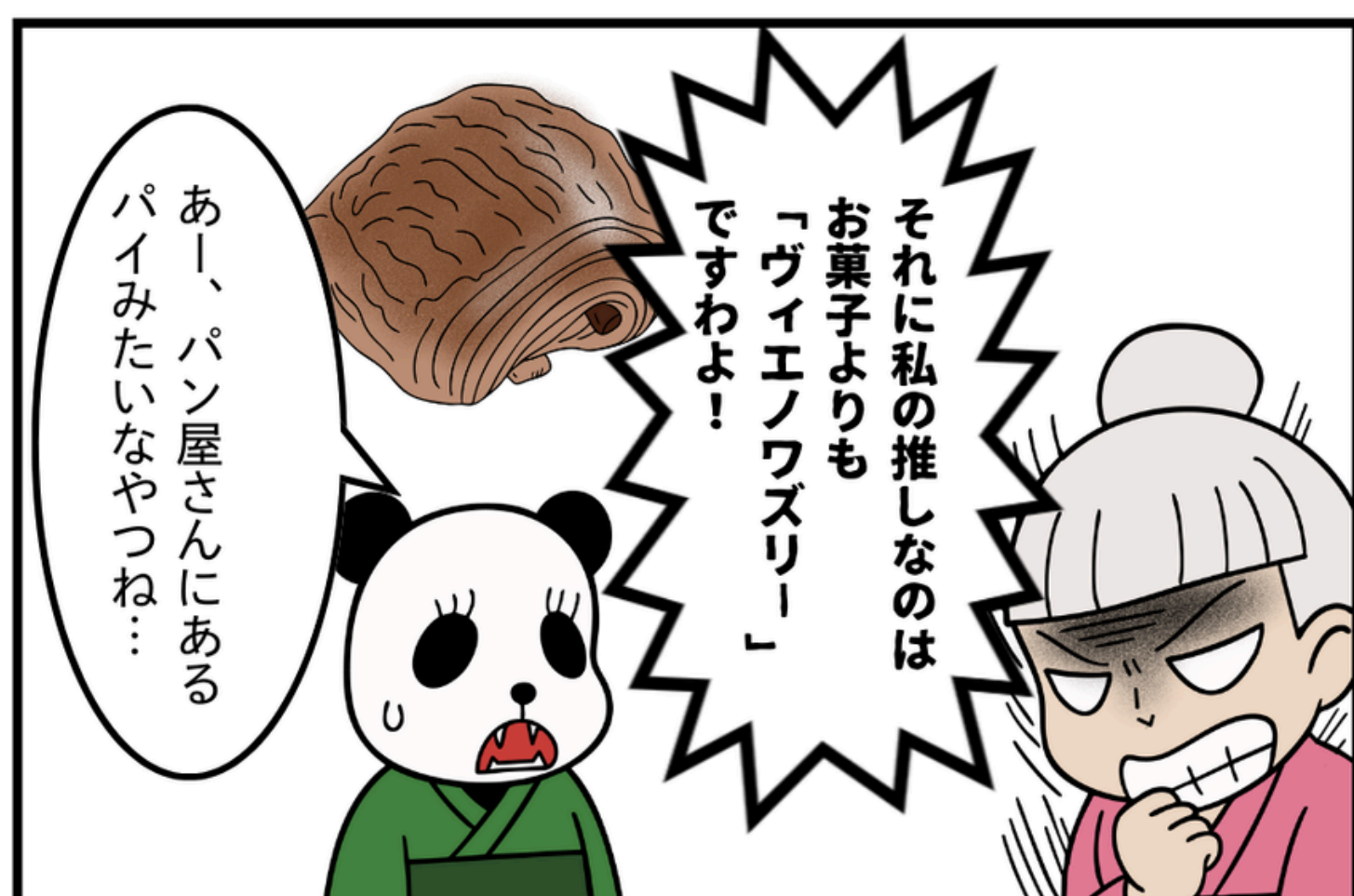
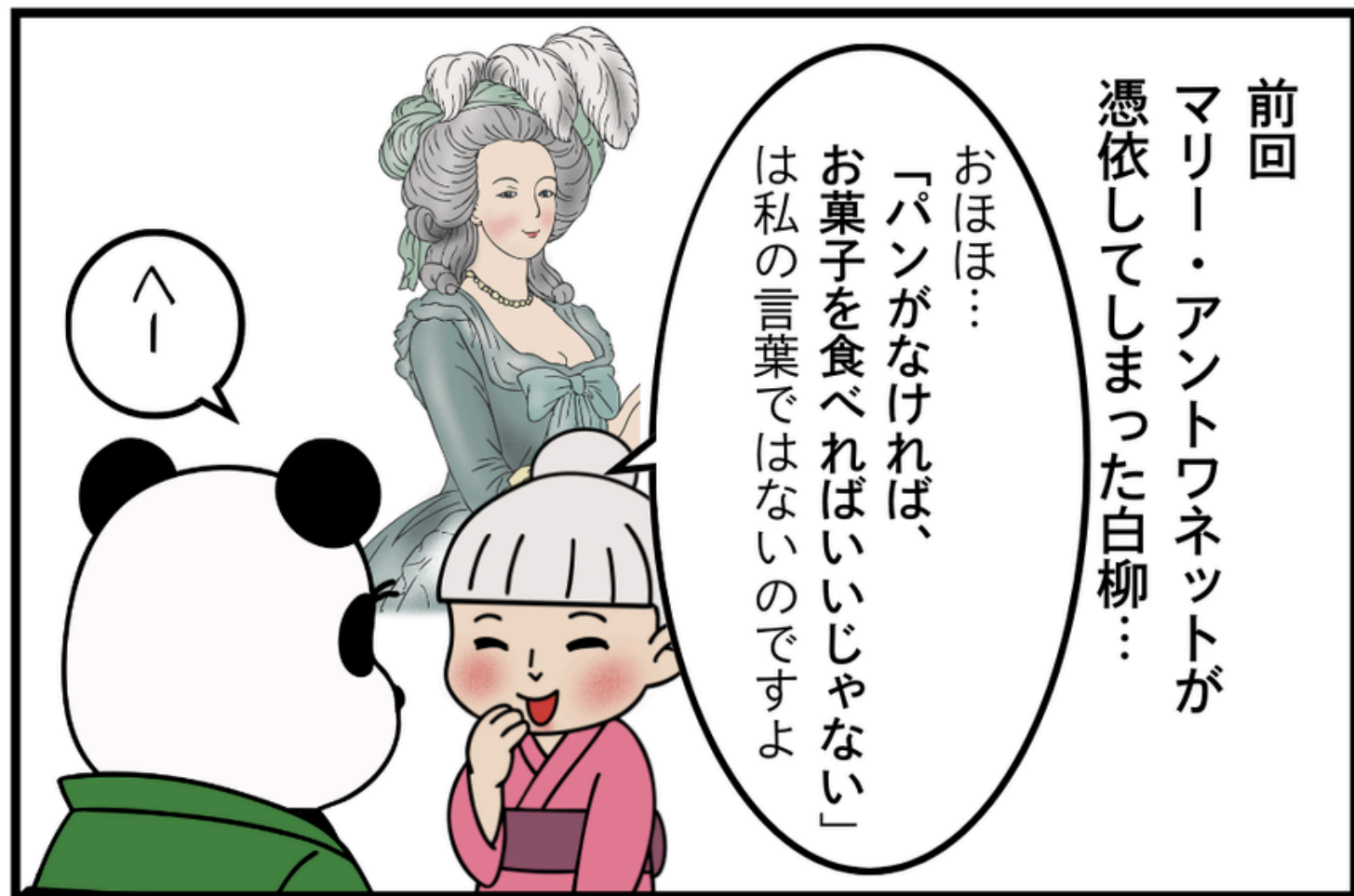
ちなみに、家康が最後に鯛の天ぷらを食べたのは死亡する3ヶ月前らしいから、さすがに死因にするには少し可哀想ね…

～ゲスト・天草四郎～ 第1回



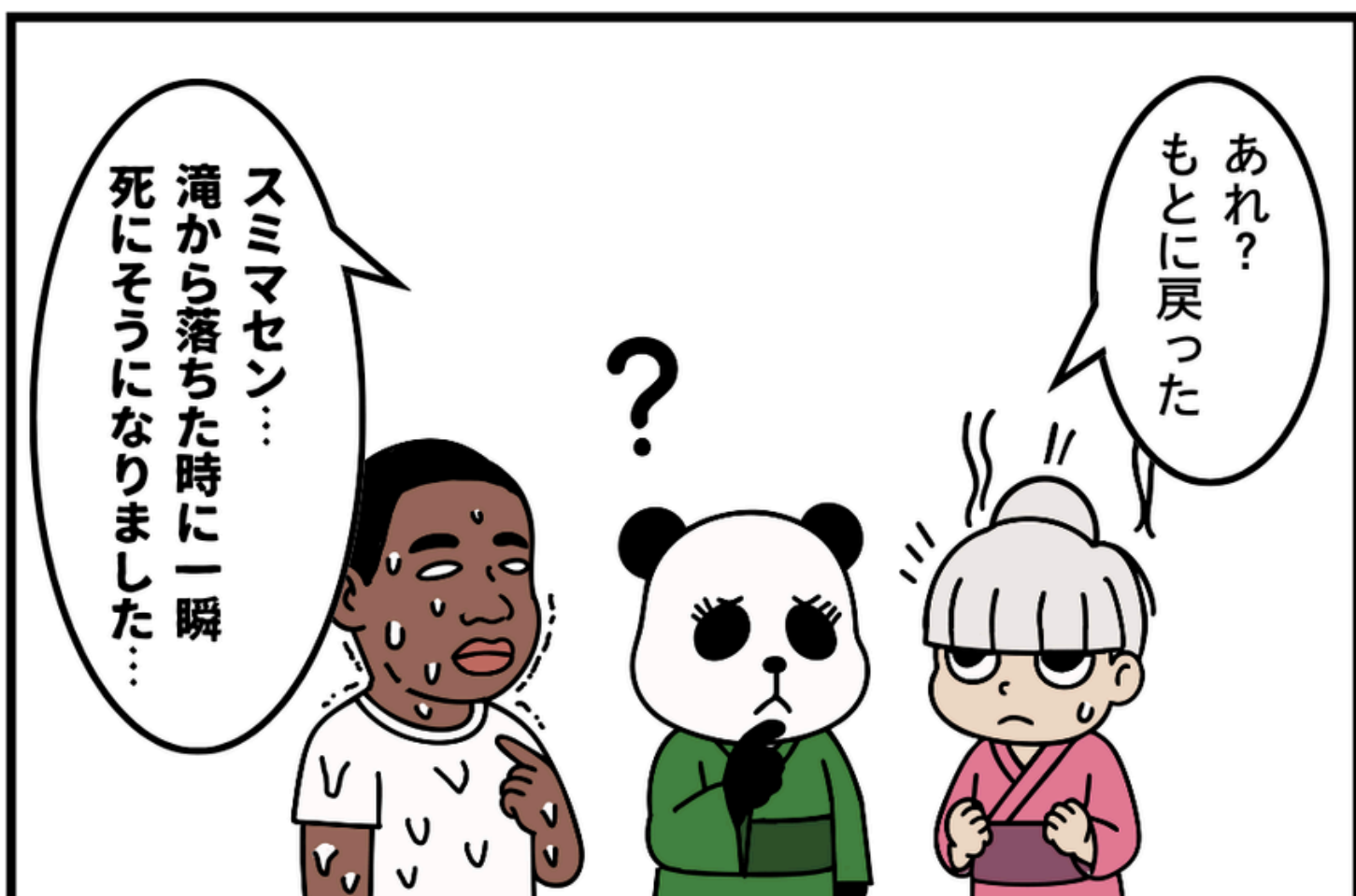
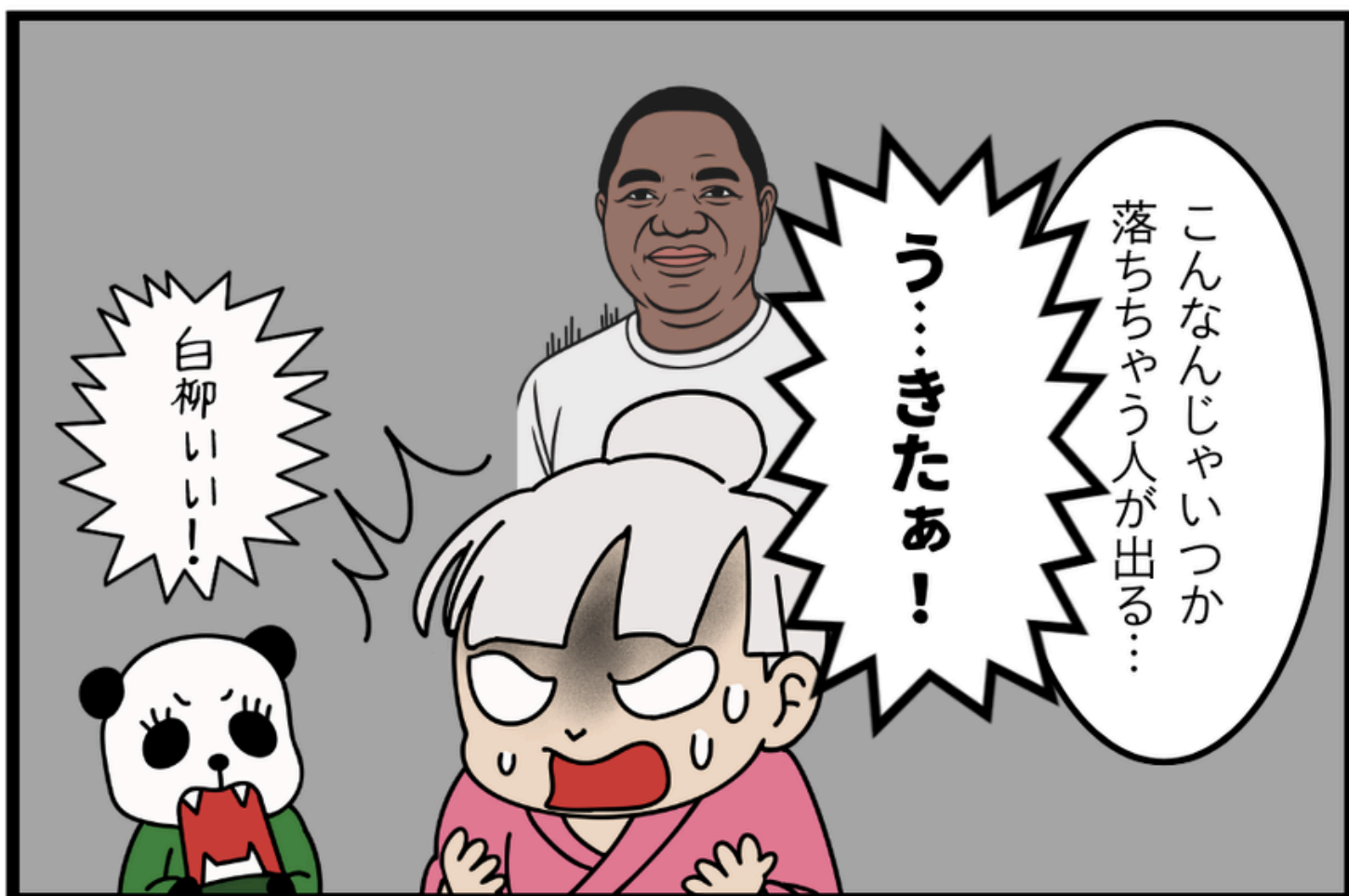
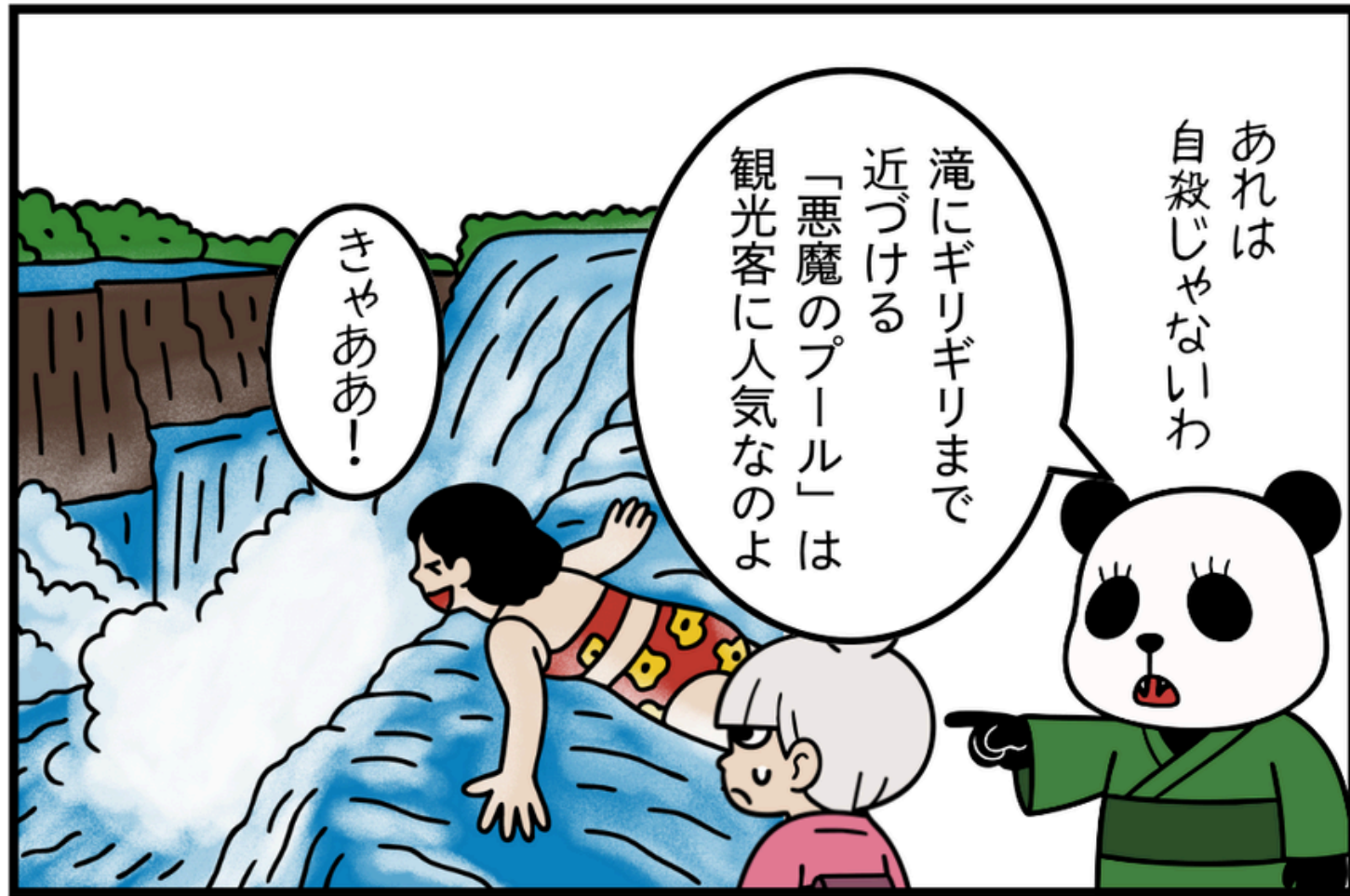
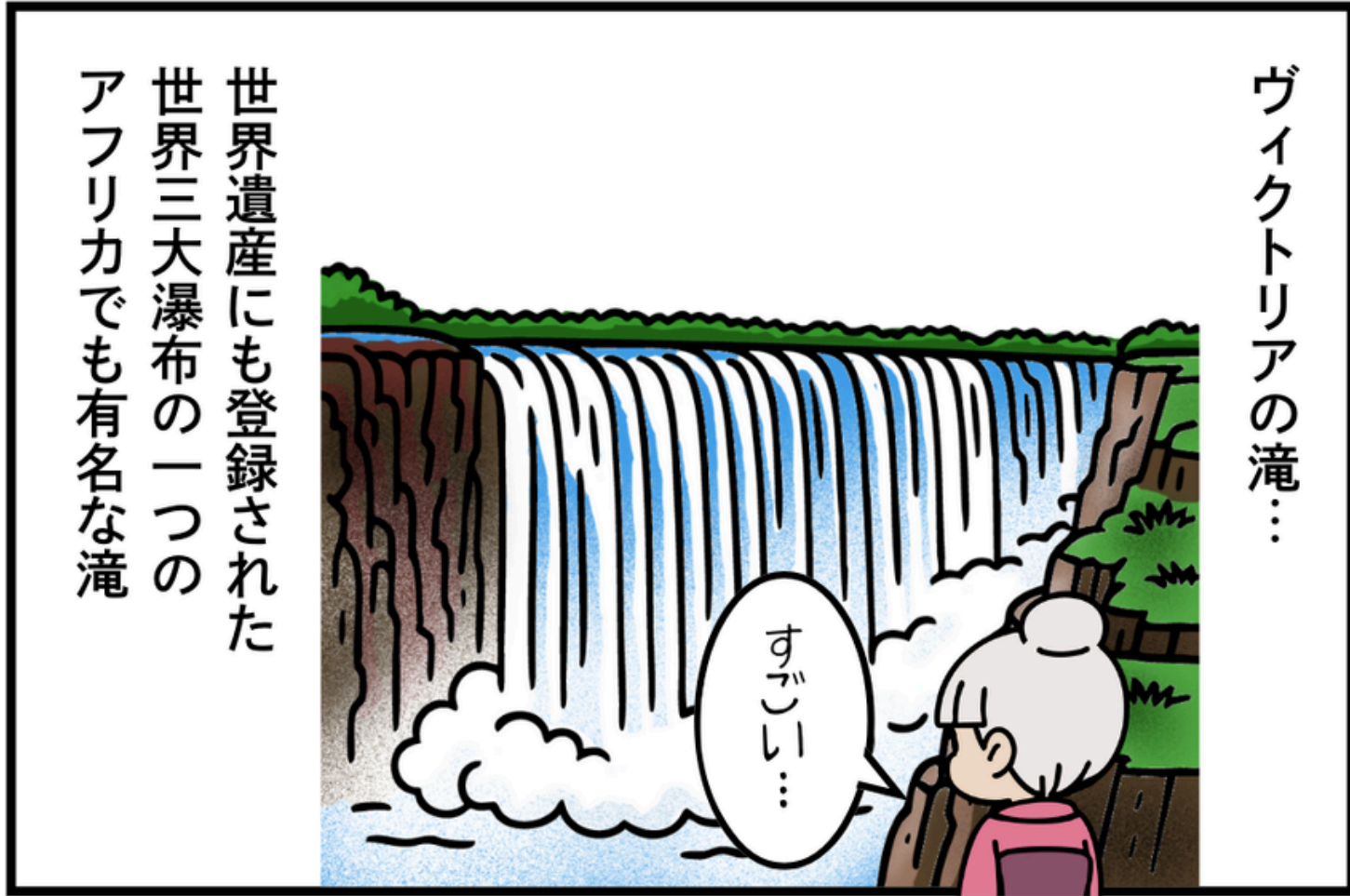
天草四郎の肖像画はなく、どれも想像で描かれたものだけど、近年ではキリシタンの総大将であり、神童とされたことから作品では「美少年」で描かれることが多いのよ…

～ゲスト・マリー・アントワネット～ 第2回

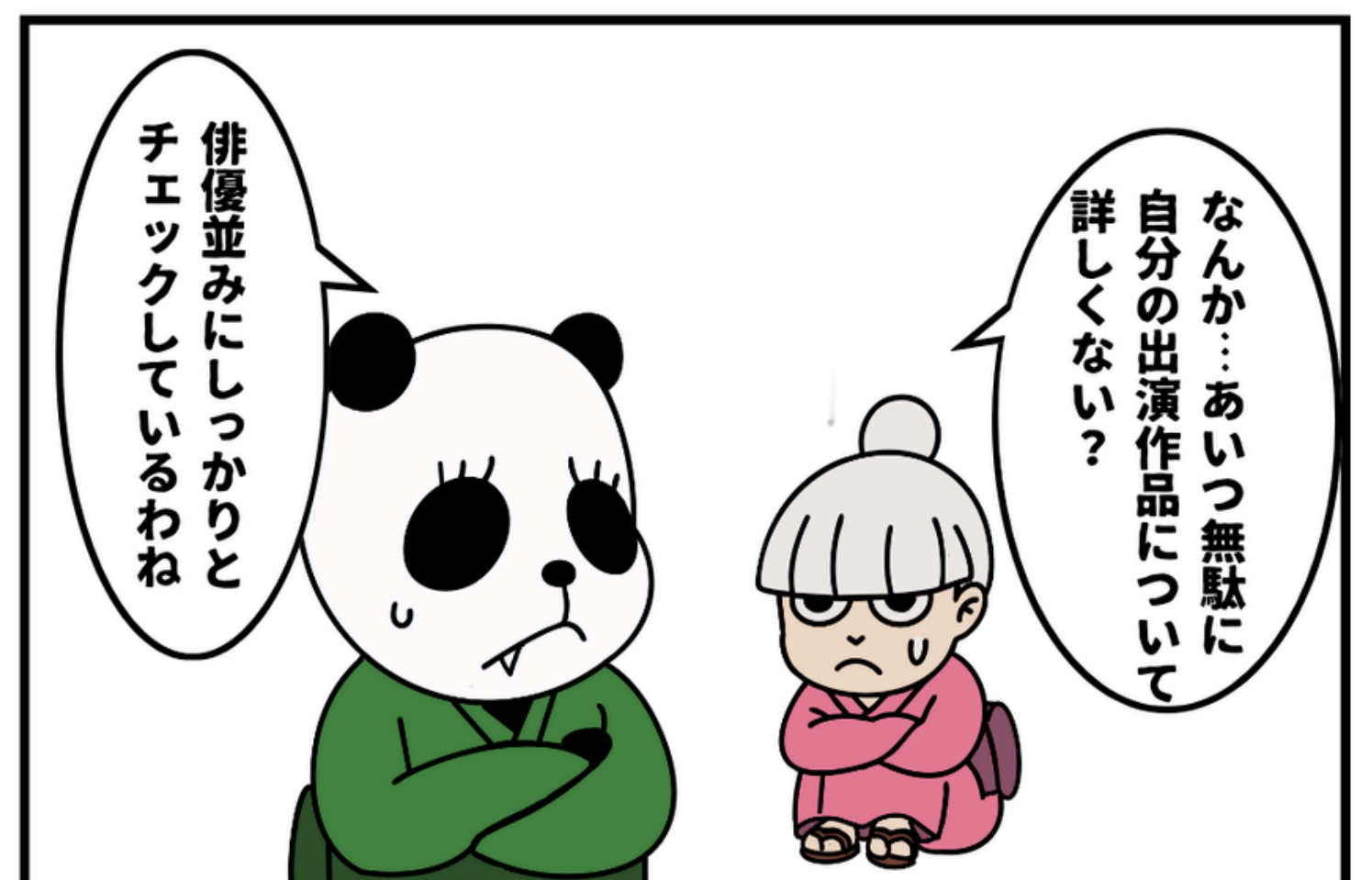
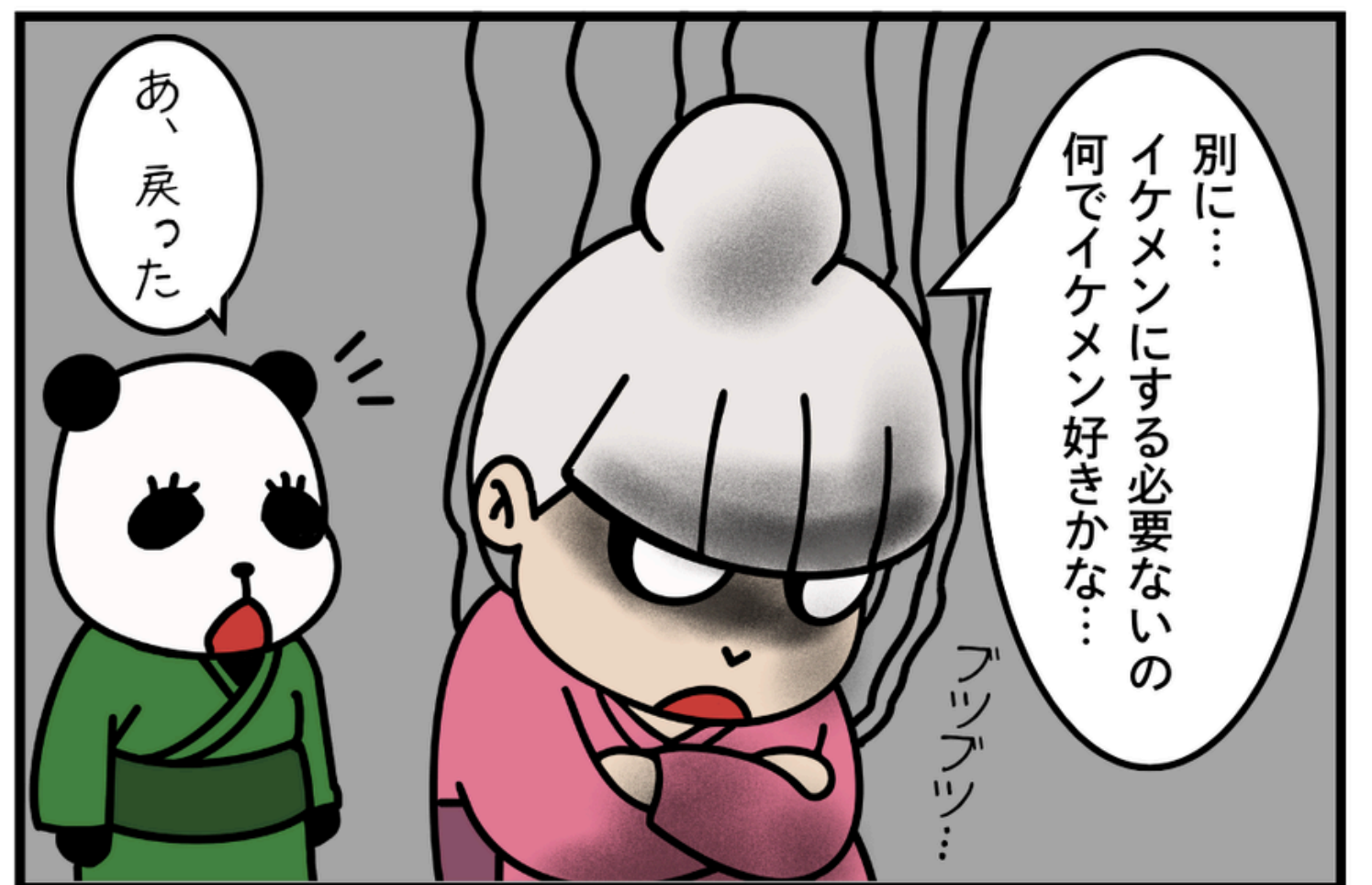
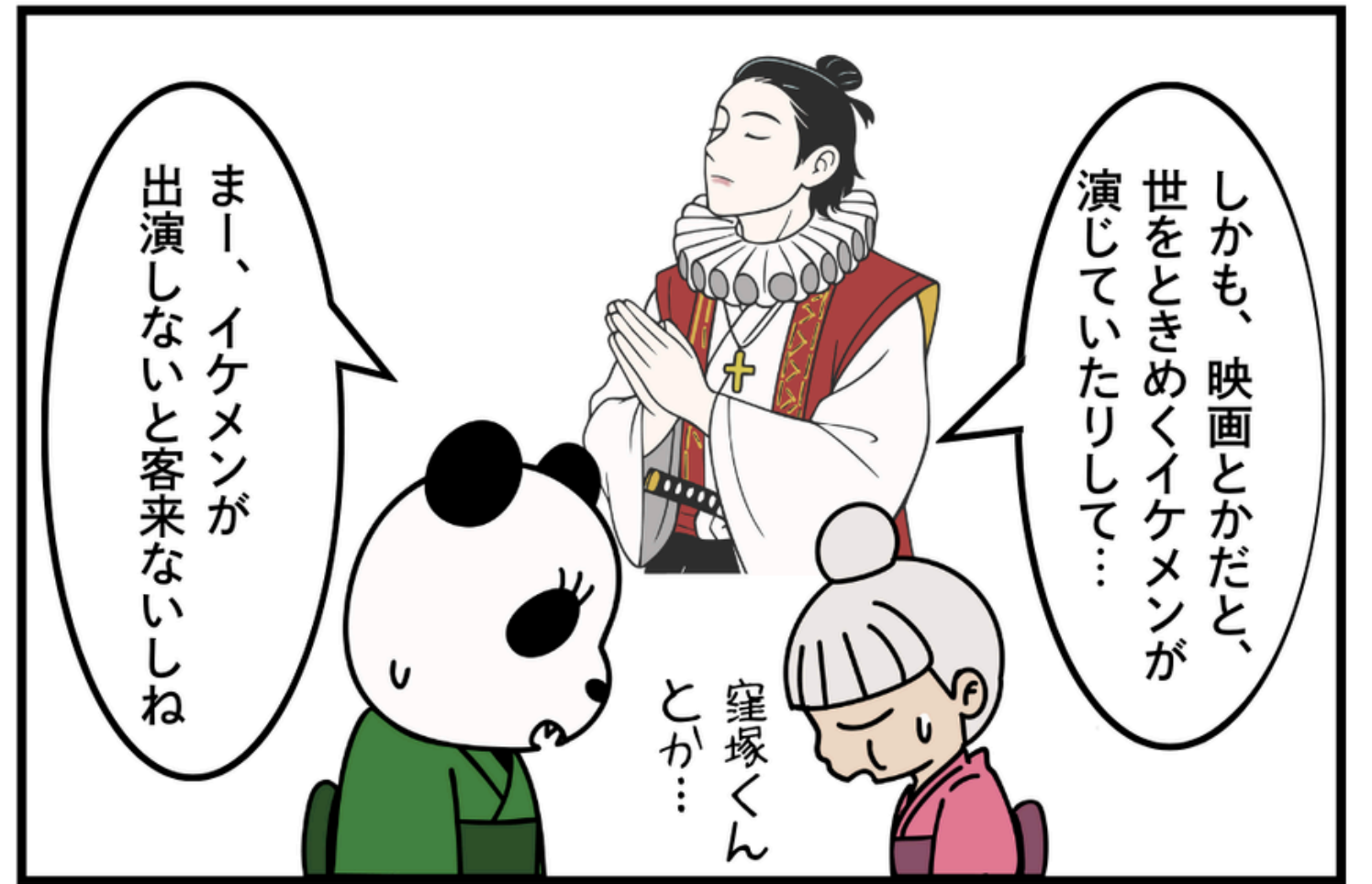
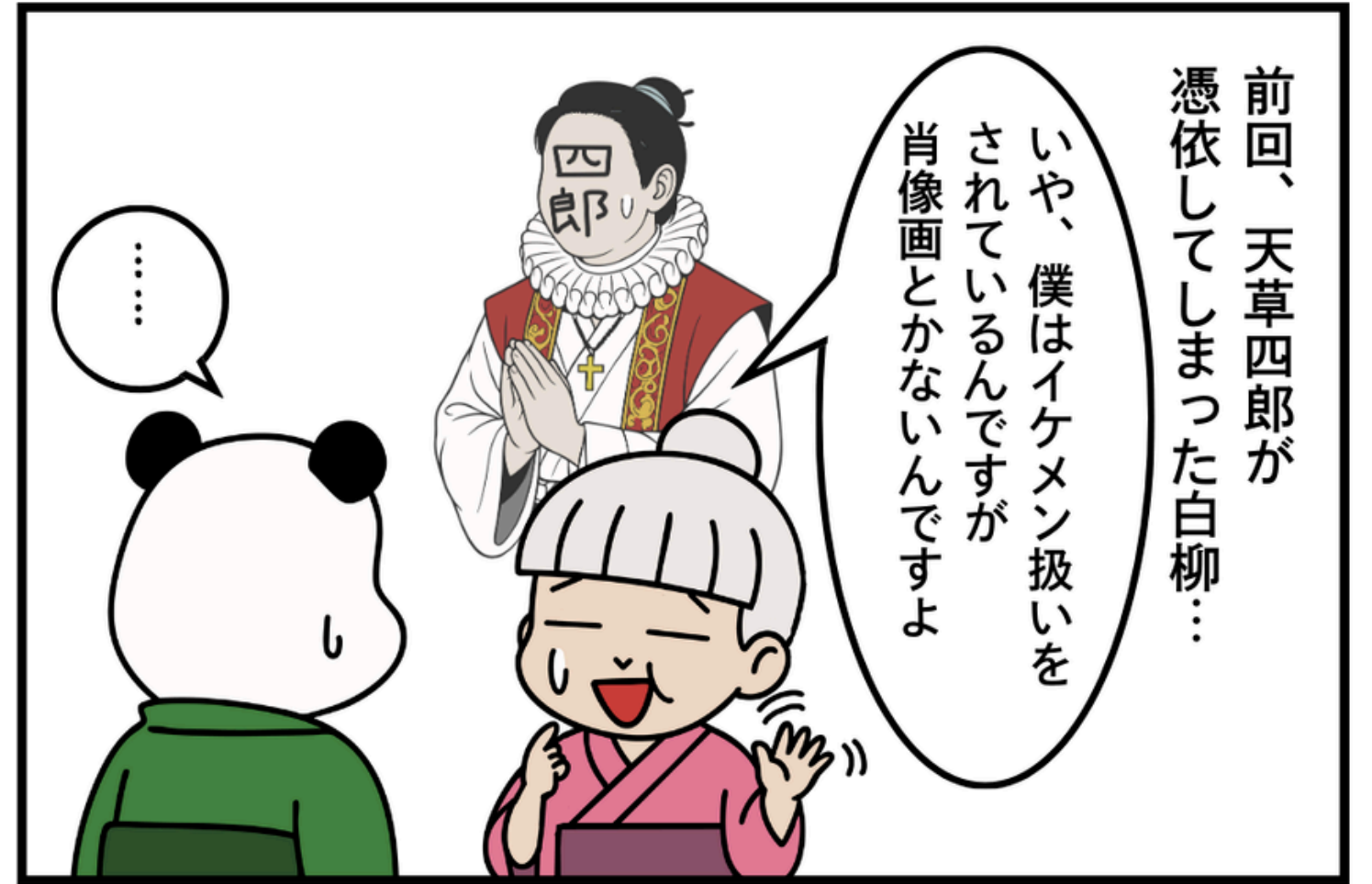


ちなみに、マリー・アントワネットはフランスに嫁入する時、オーストリアのパン職人を呼び寄せたことからクロワッサンがフランスに広がったとか。

～ゲスト・ヴィクトリアの滝から 落ちた人～



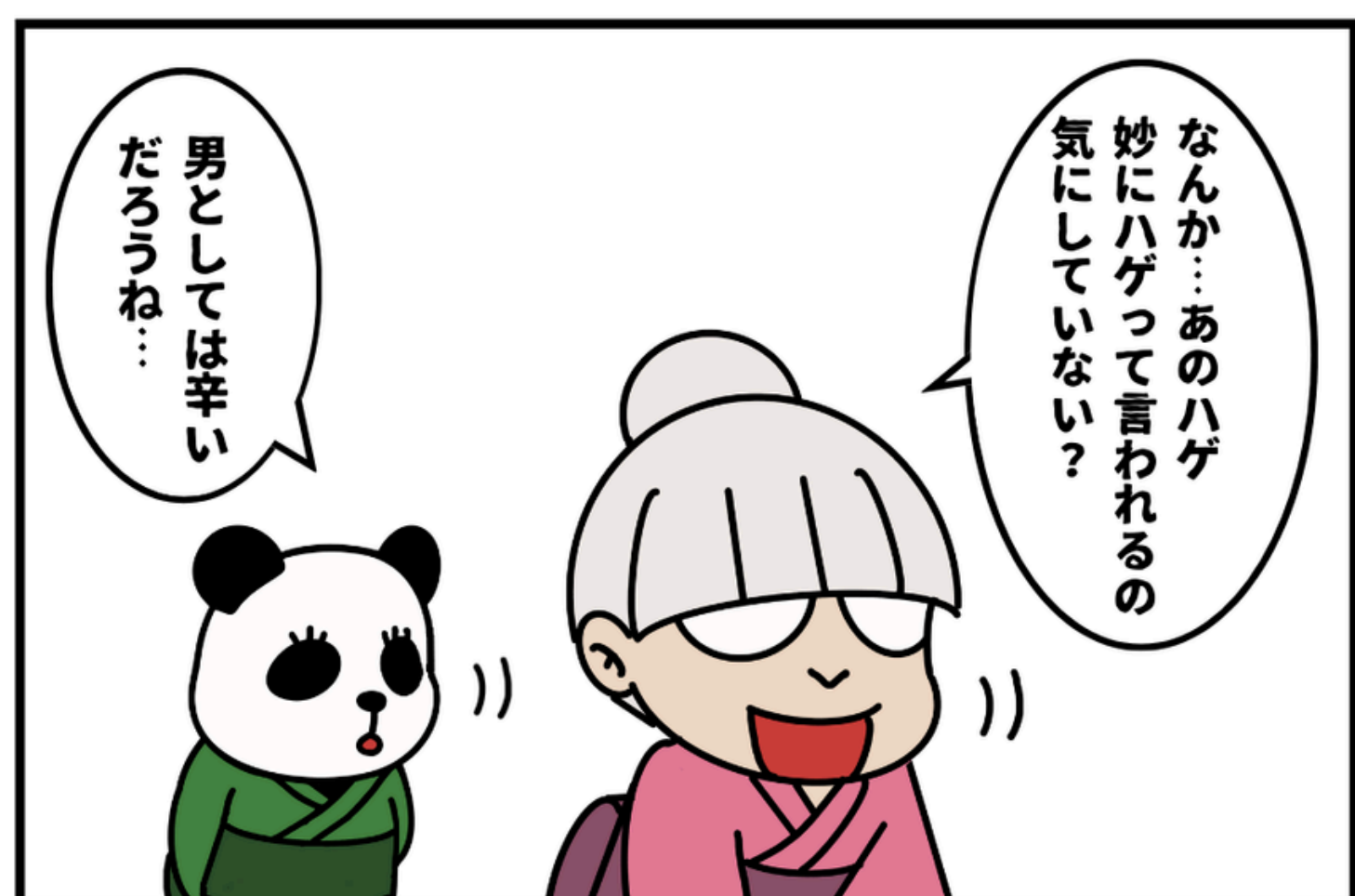
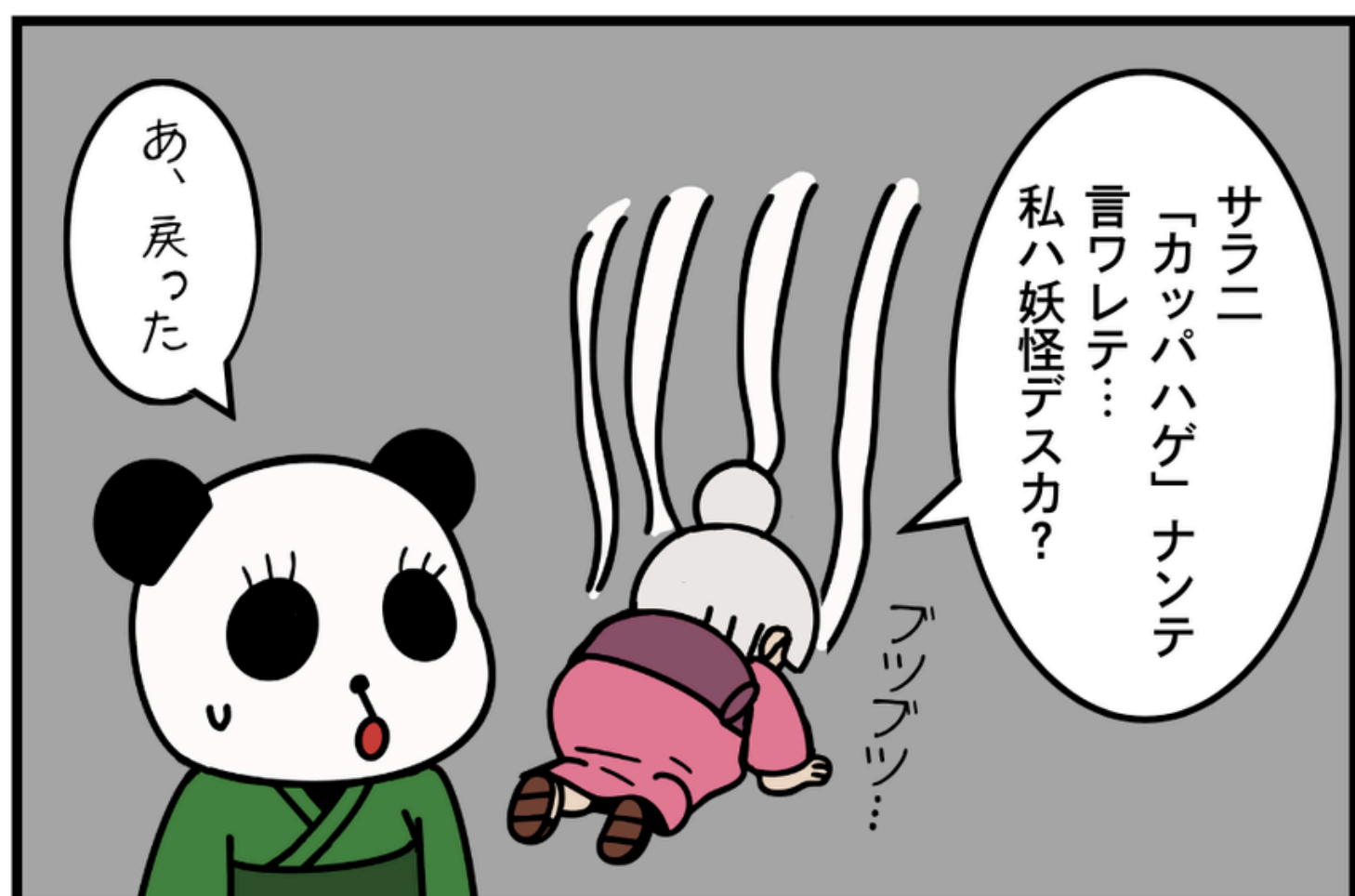
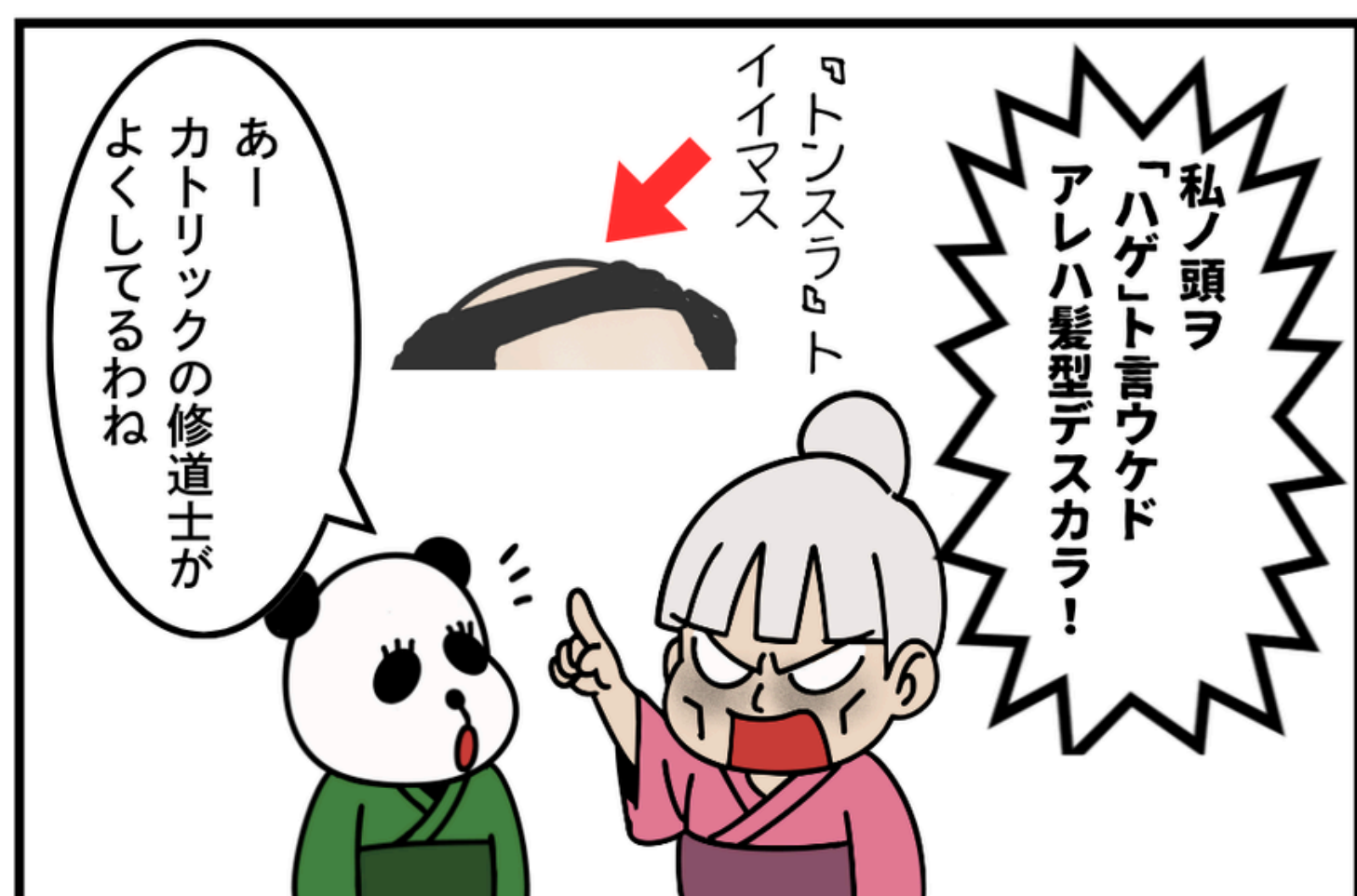
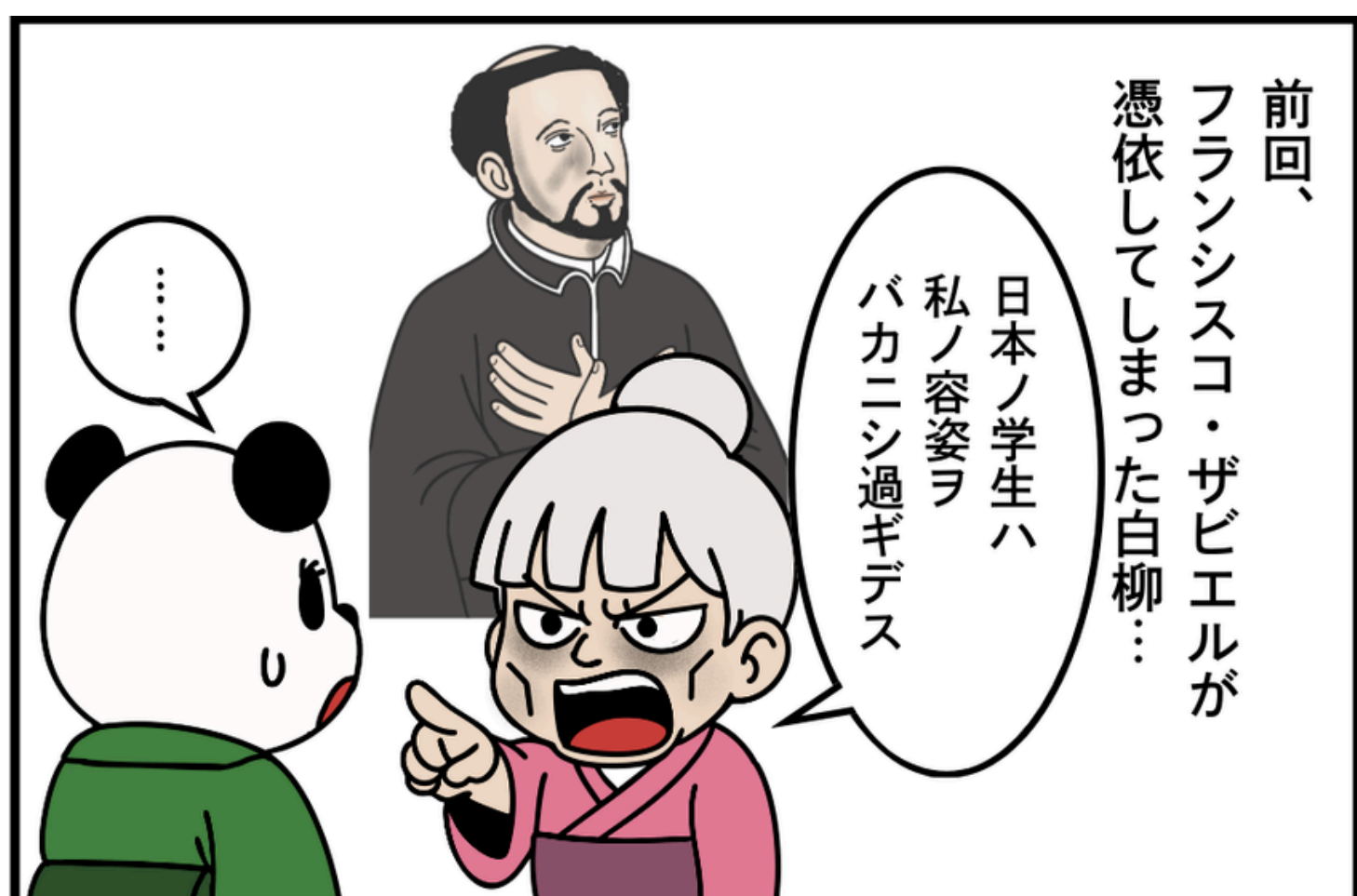
～ゲスト・天草四郎～ 第2回



死なくてよかったわね!...実際に落ちる人はいるものの、割と軽症で済んだりすることもあるのよね。でも、危険なのよ!

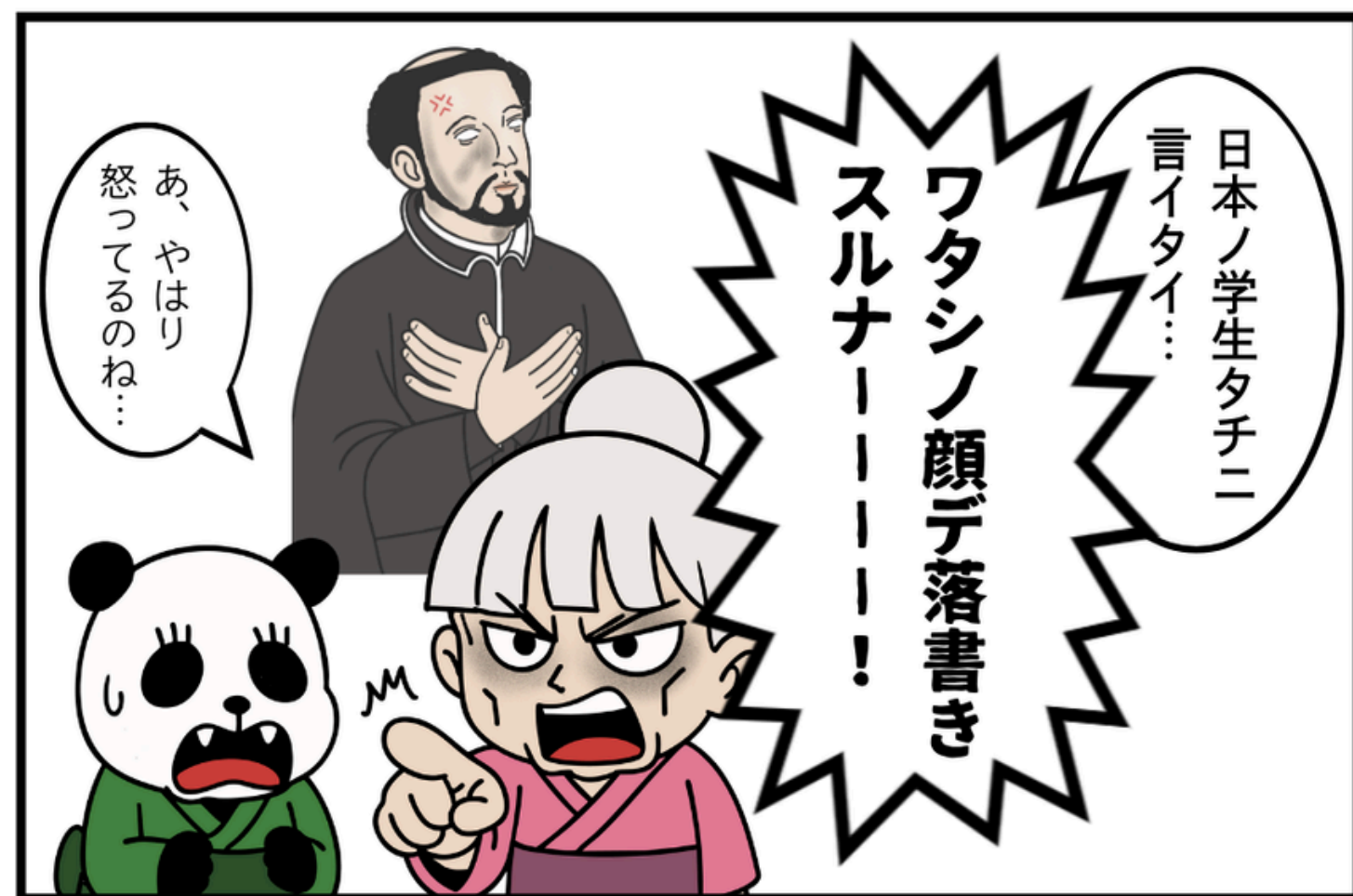
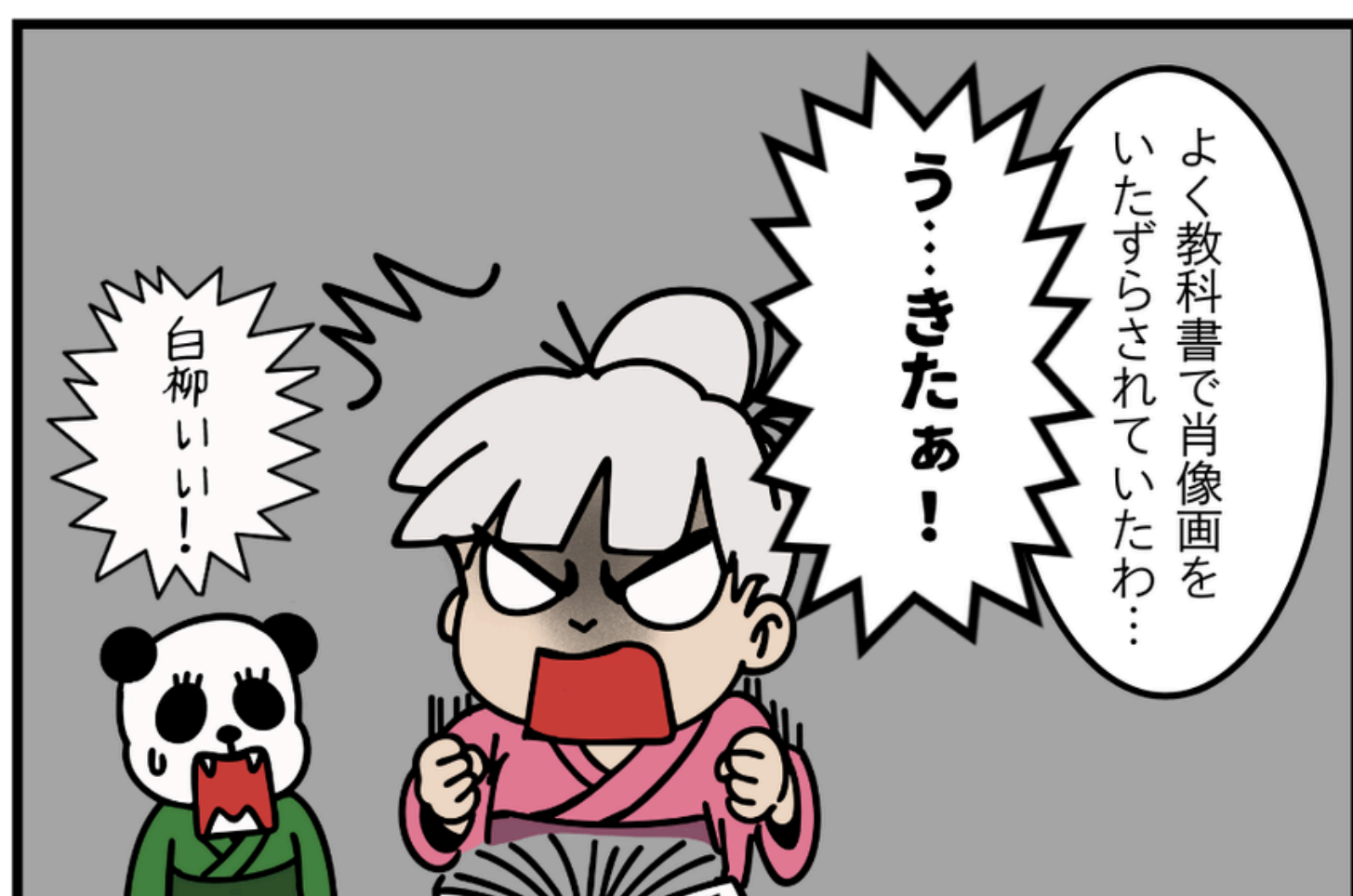
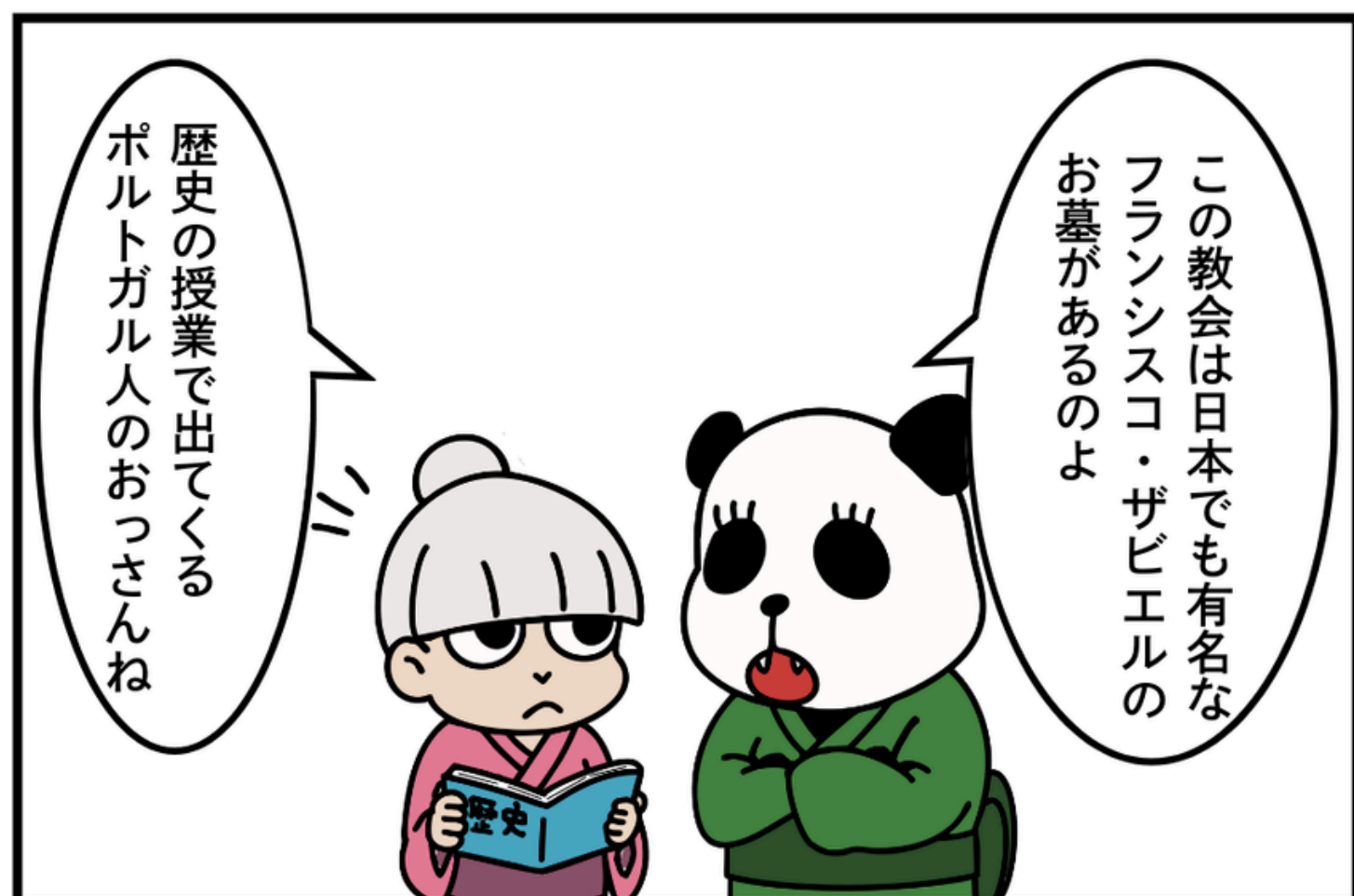
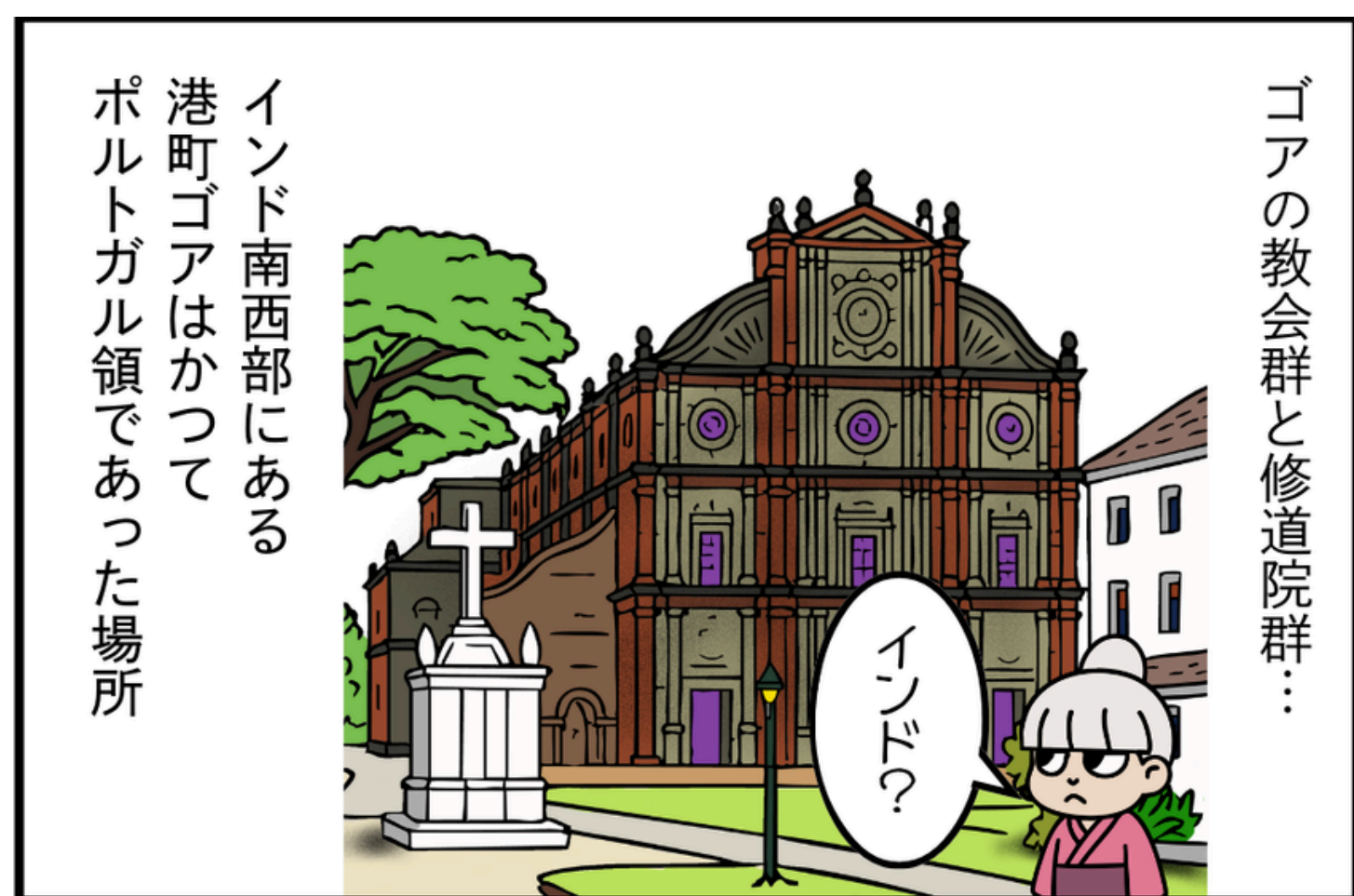
ちなみに、天草四郎を演じているのは、沢田研二さんとカ窪塚洋介さんとカイケメンが多いものの、現在のキリタン風のイメージは昭和初期に完成したものなのよ。

～ゲスト・フランシスコ・ザビエル～ 第2回



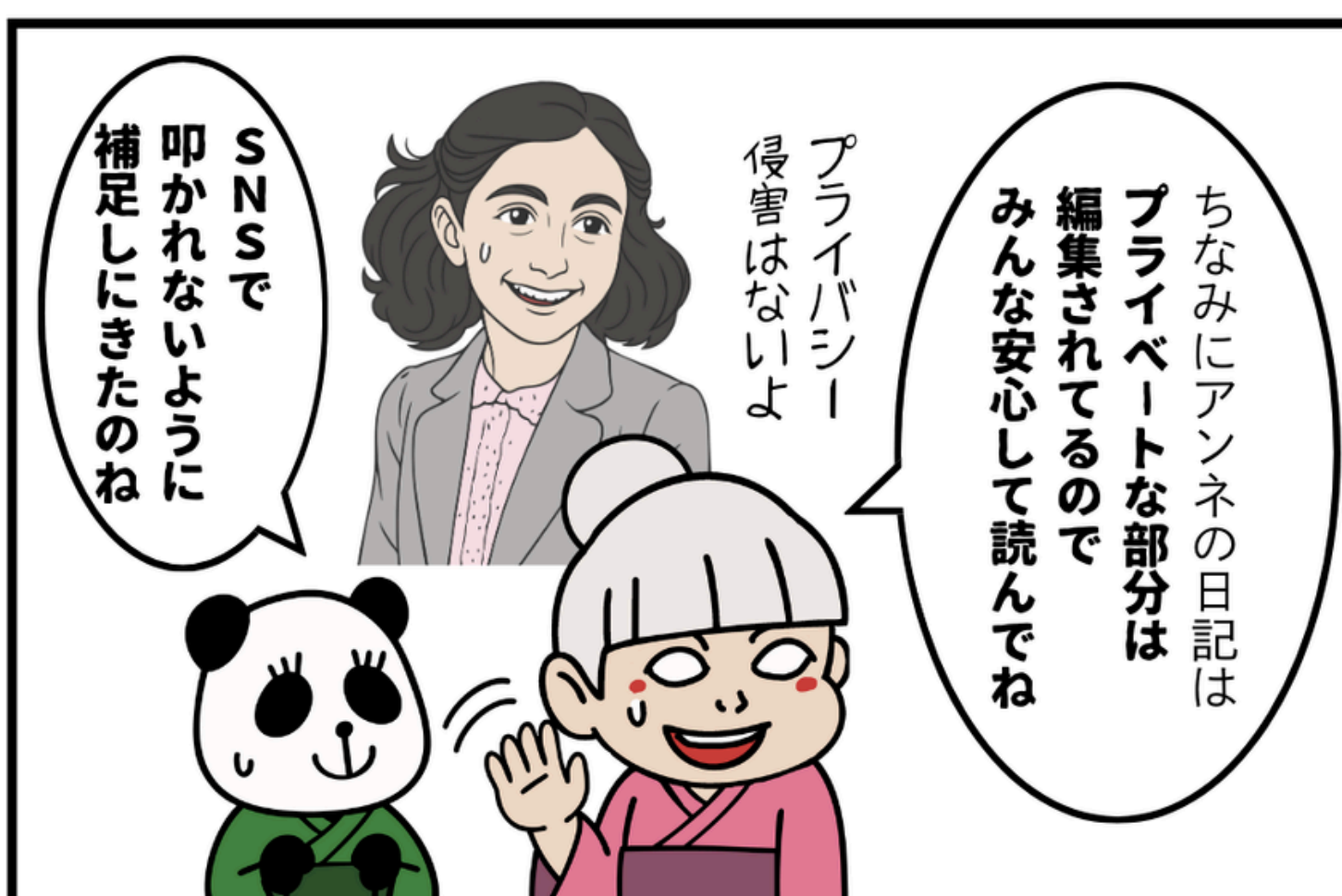
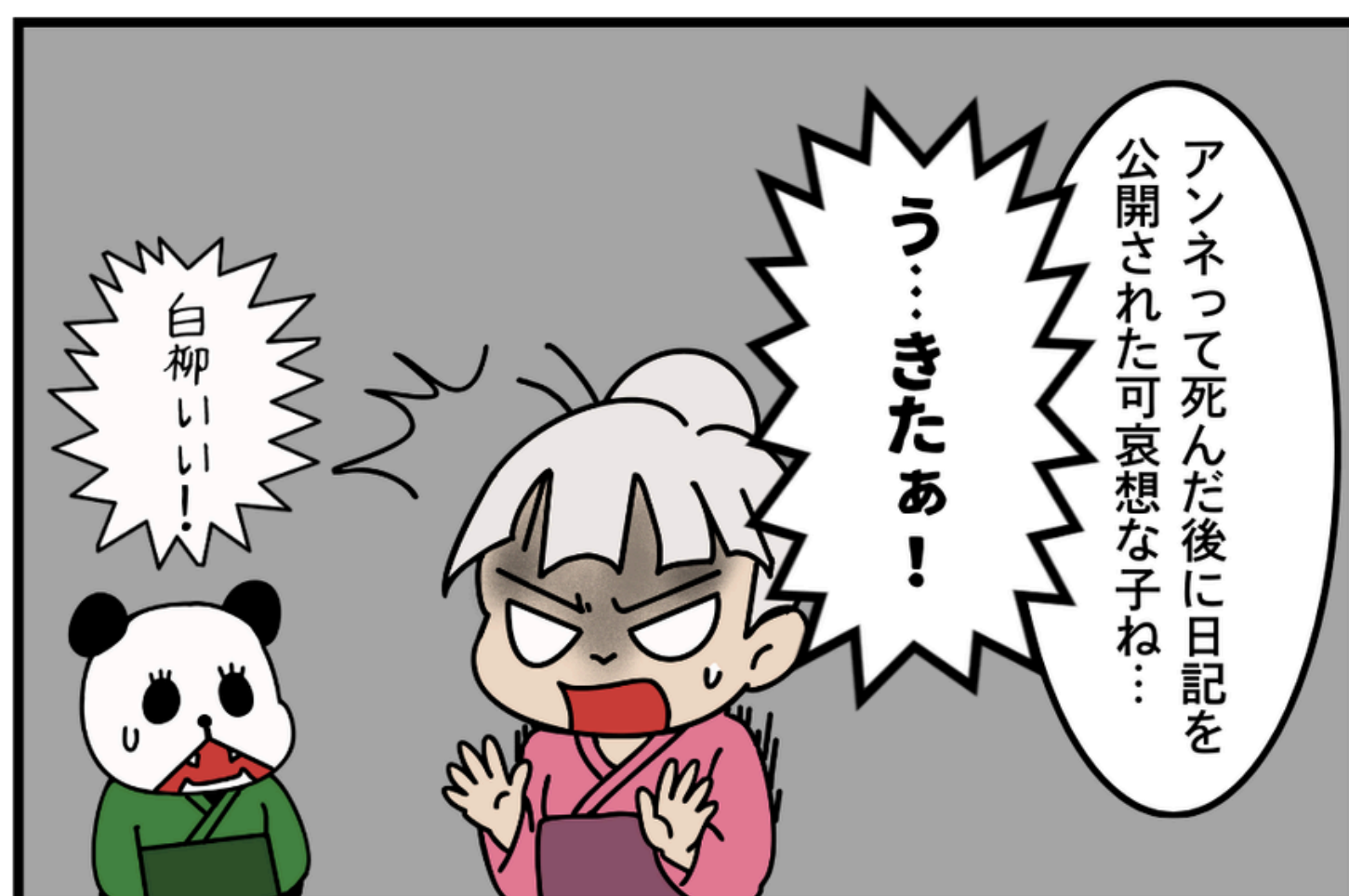
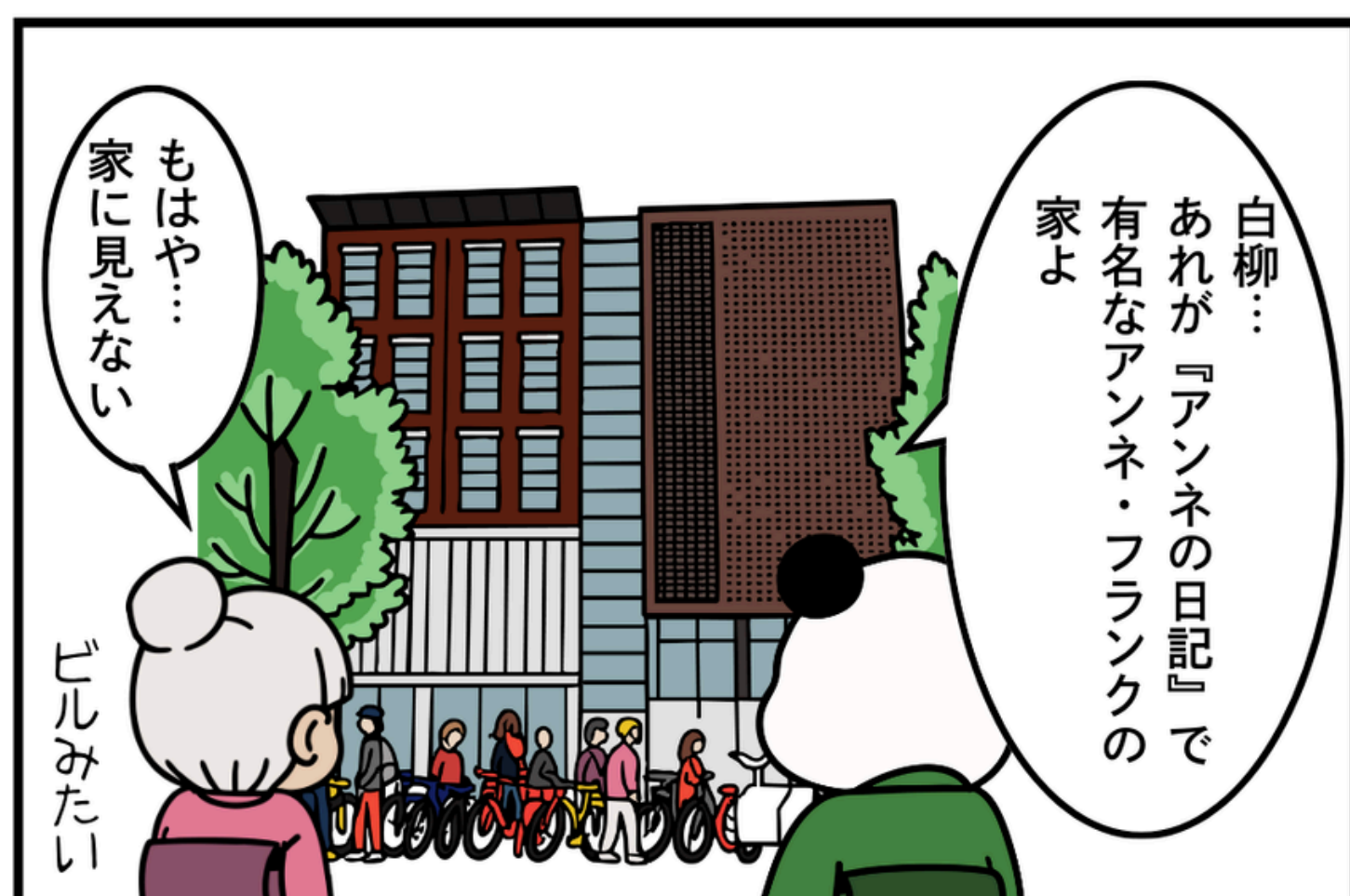
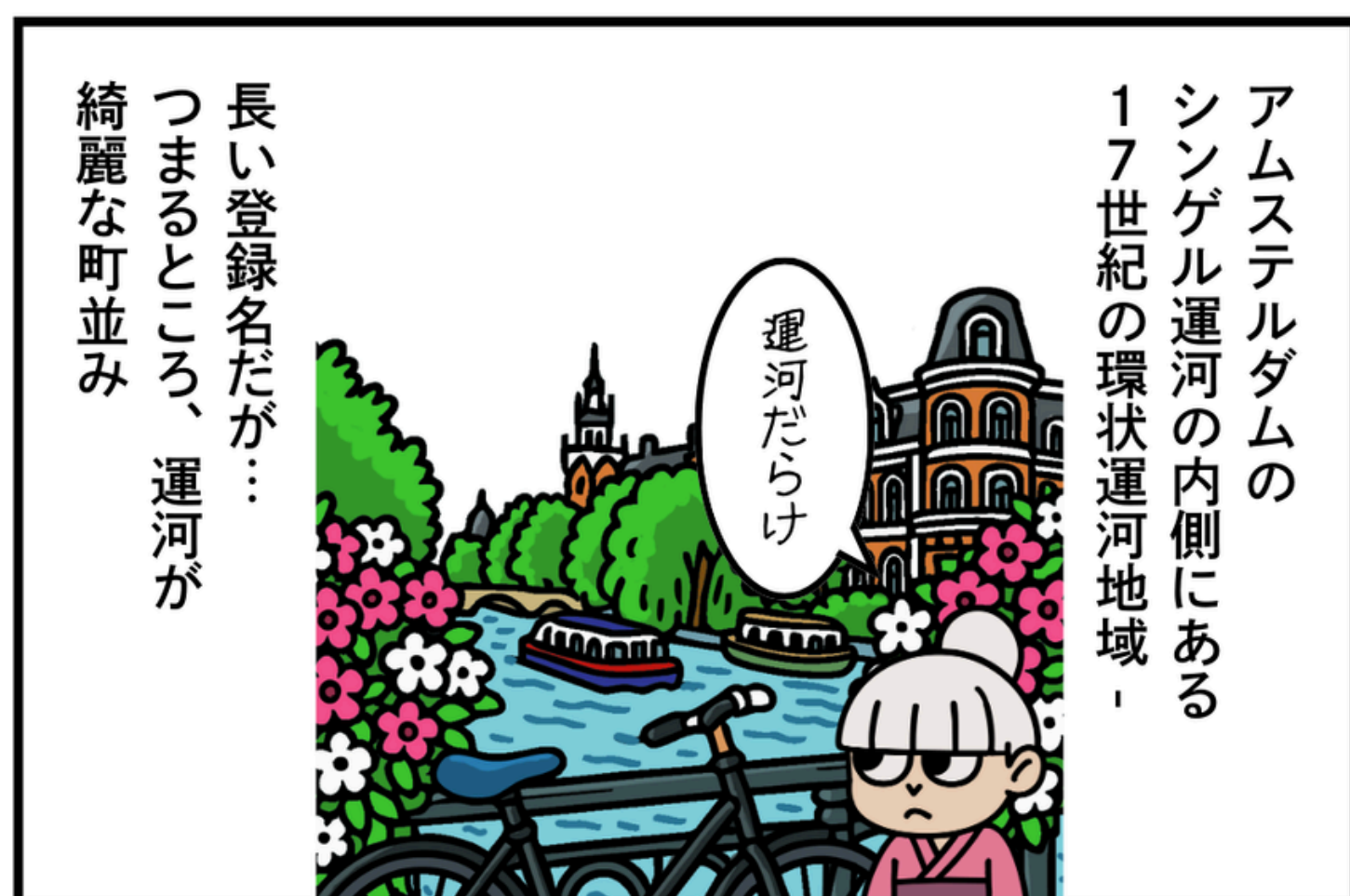
ちなみに、実際のトンスラは頭全体を剃ることが多いのだけど、なぜかザビエルの肖像画は頭頂部だけ剃っているのが勘違いされているのかも？

～ゲスト・フランシスコ・ザビエル～ 第1回

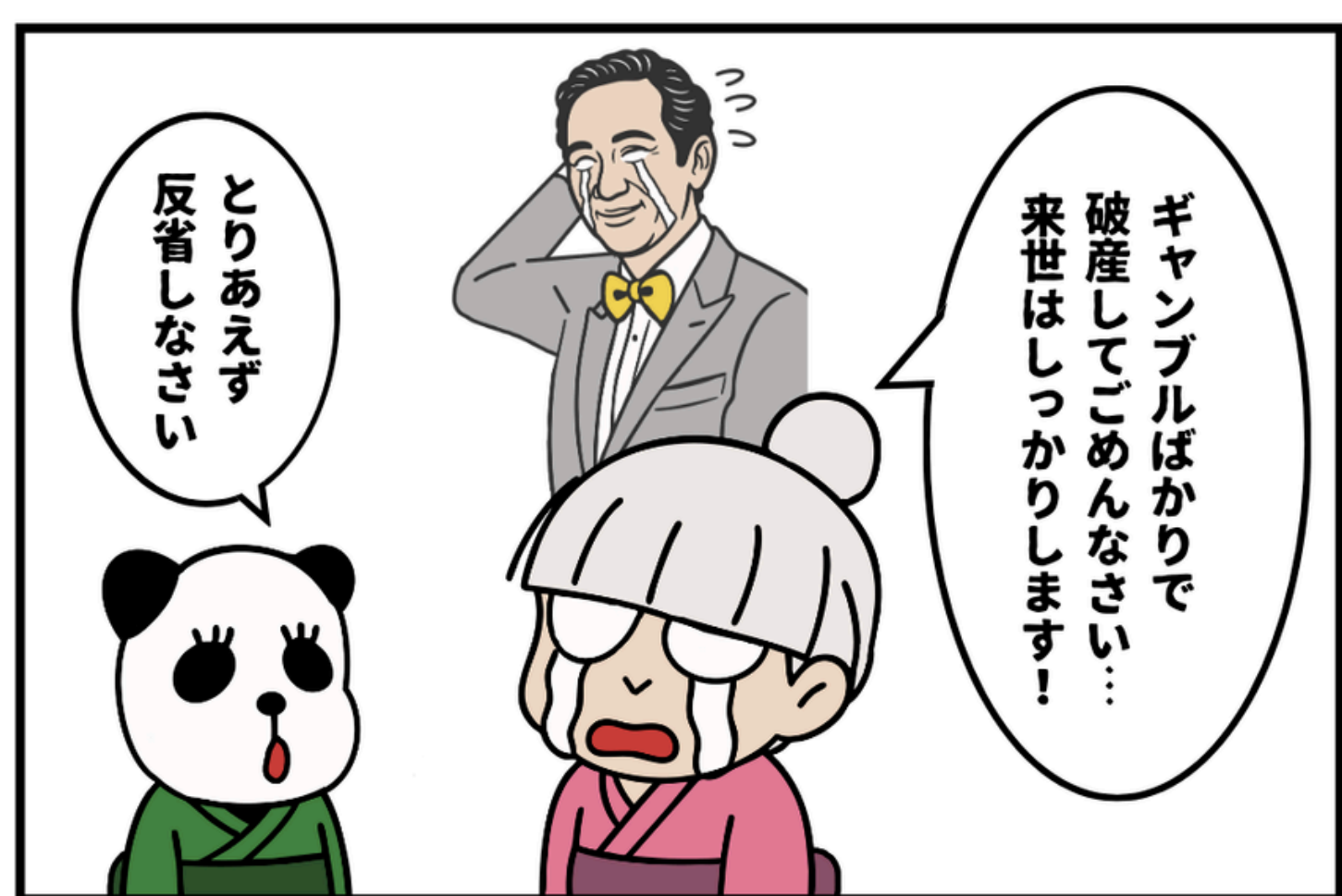
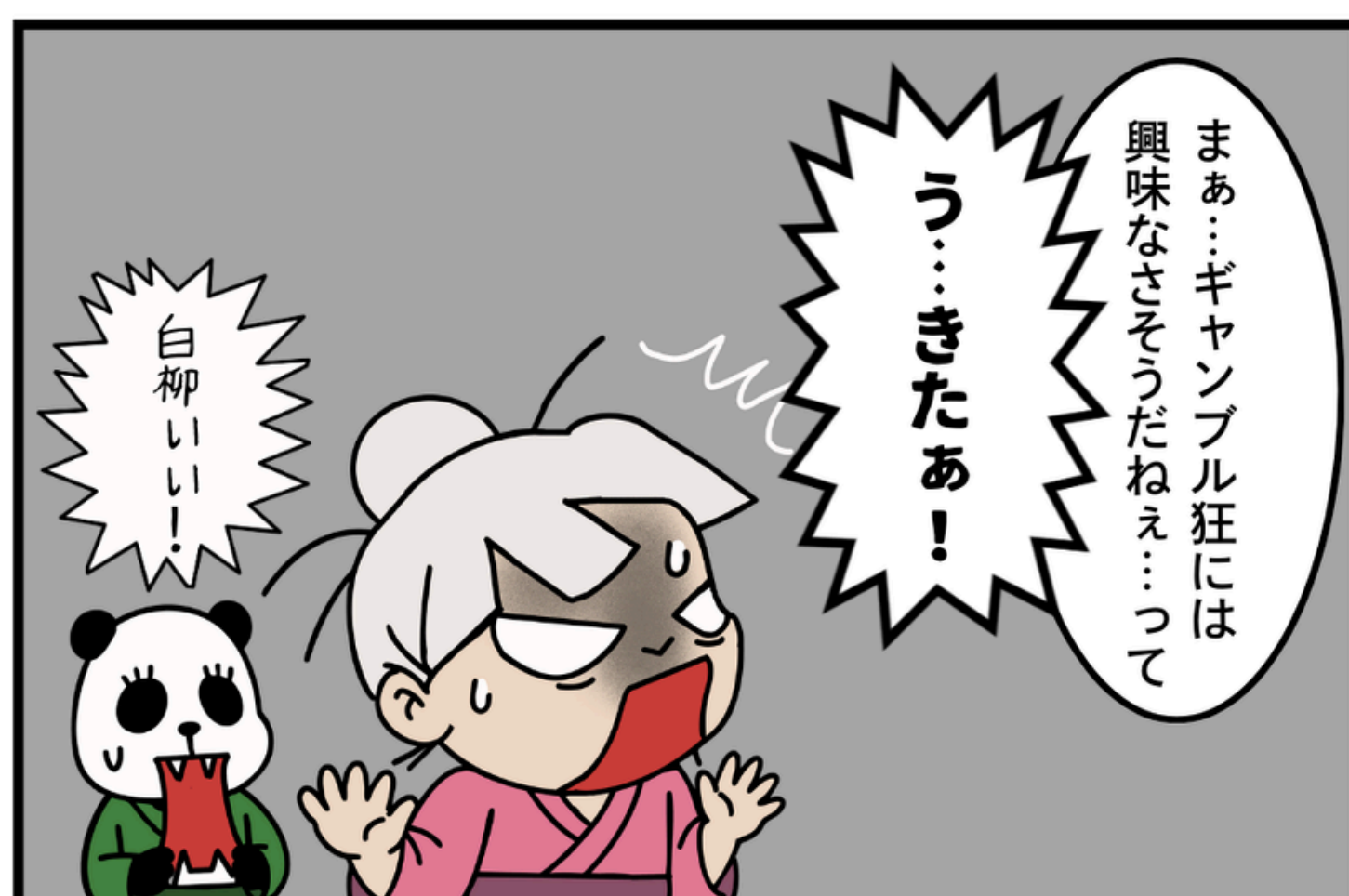
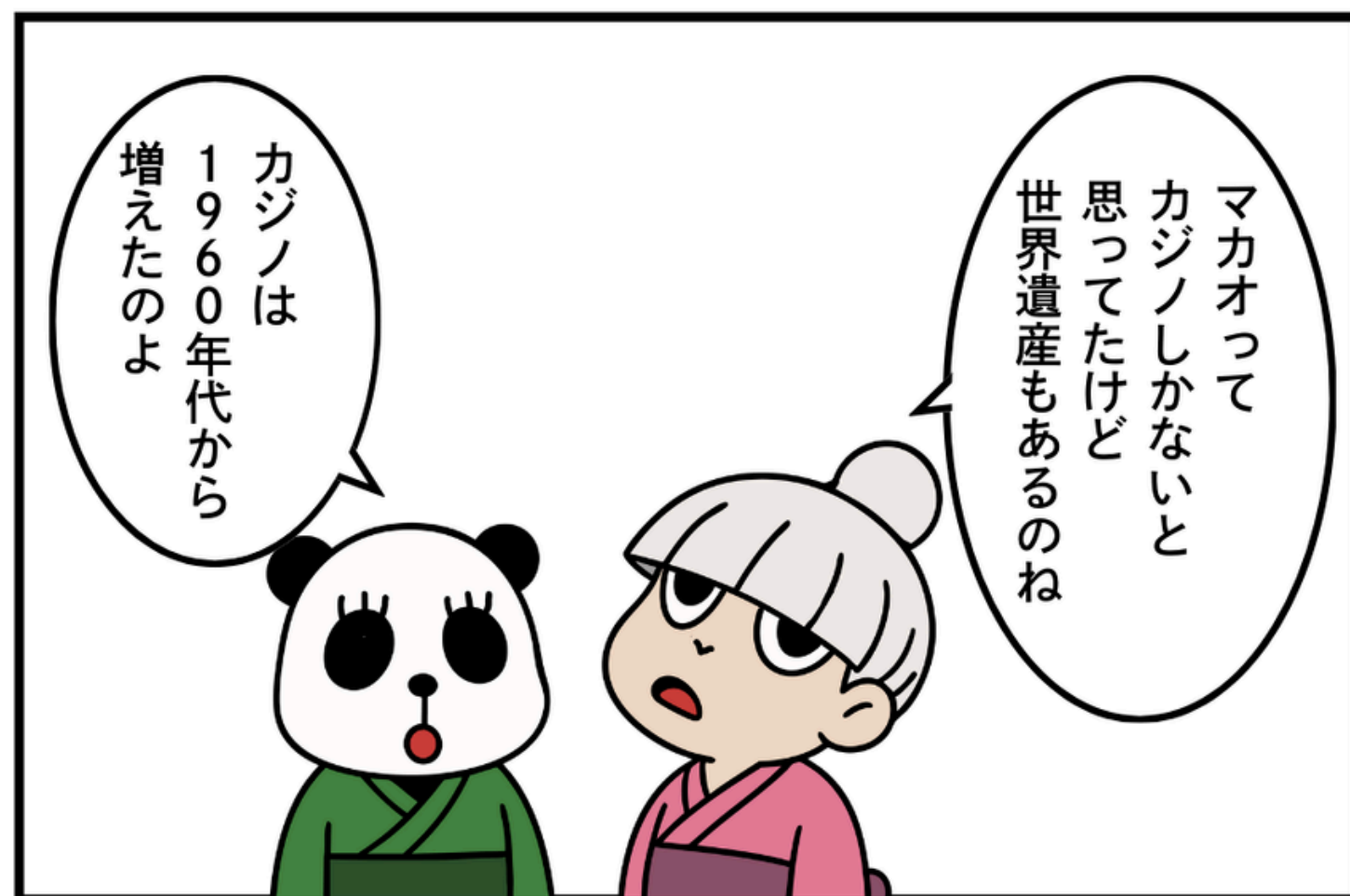
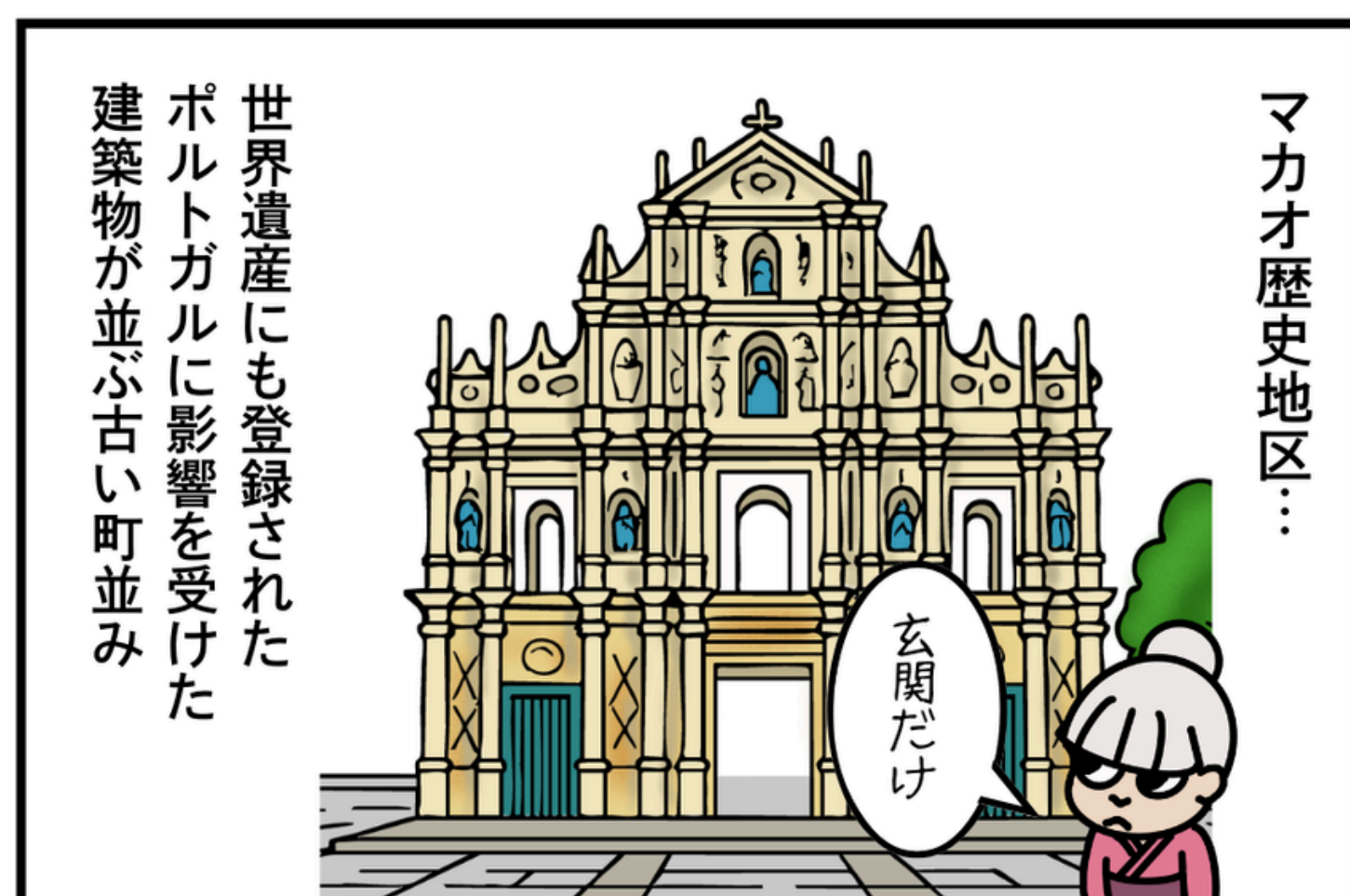


確かに歴史の教科書のザビエルのページは落書きする子がいるわね…。落書きしやすい顔なのかも（笑）

～ゲスト・アンネ・フランク～



～ゲスト・マカオのギャンブル狂～



ちなみに『アンネの日記』というのは日本語版のタイトルで、オランダ語版のオリジナルは『後ろの家』というタイトル。日本語はプライベートな内容に見えるわね（笑）

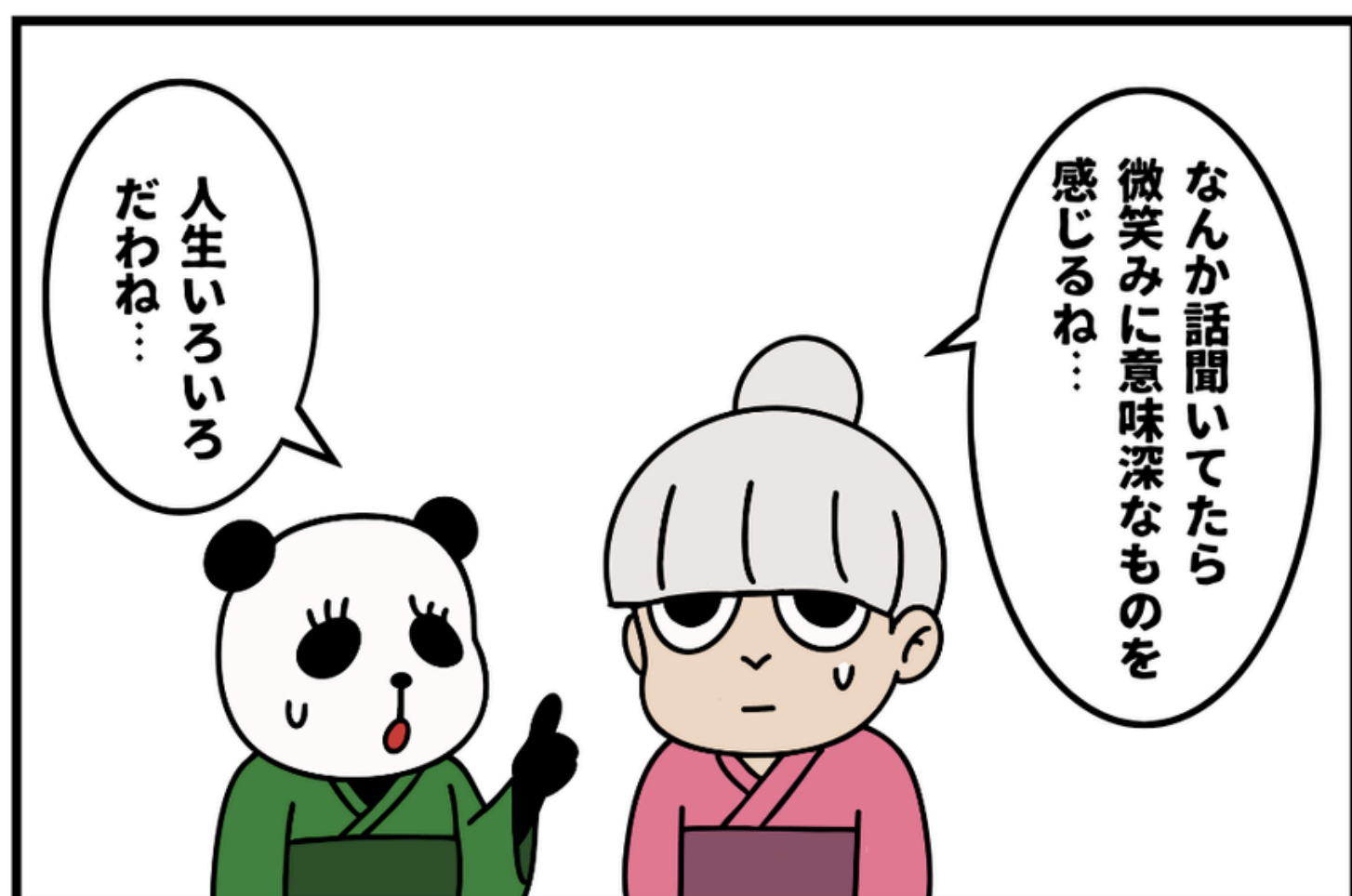
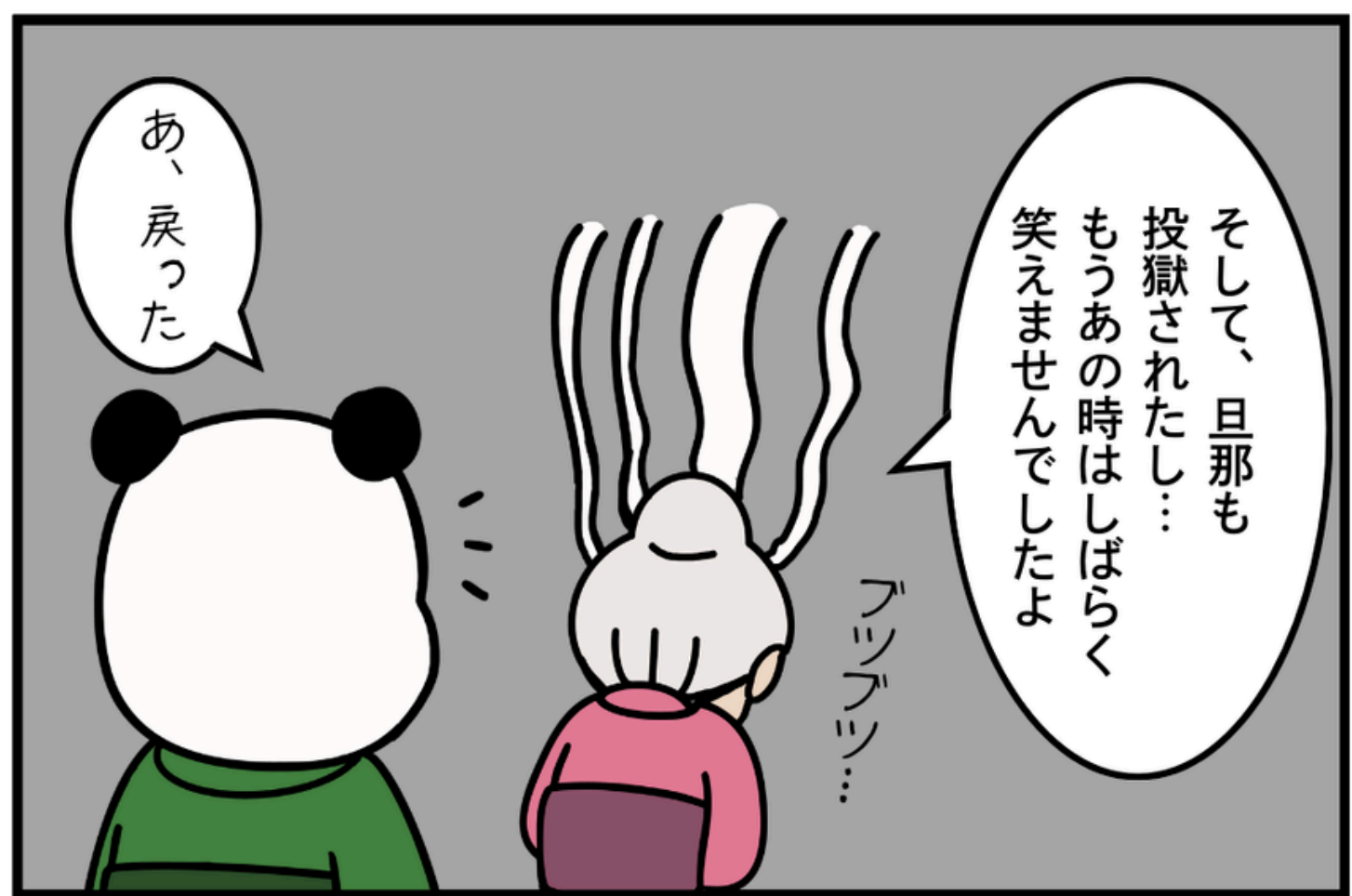
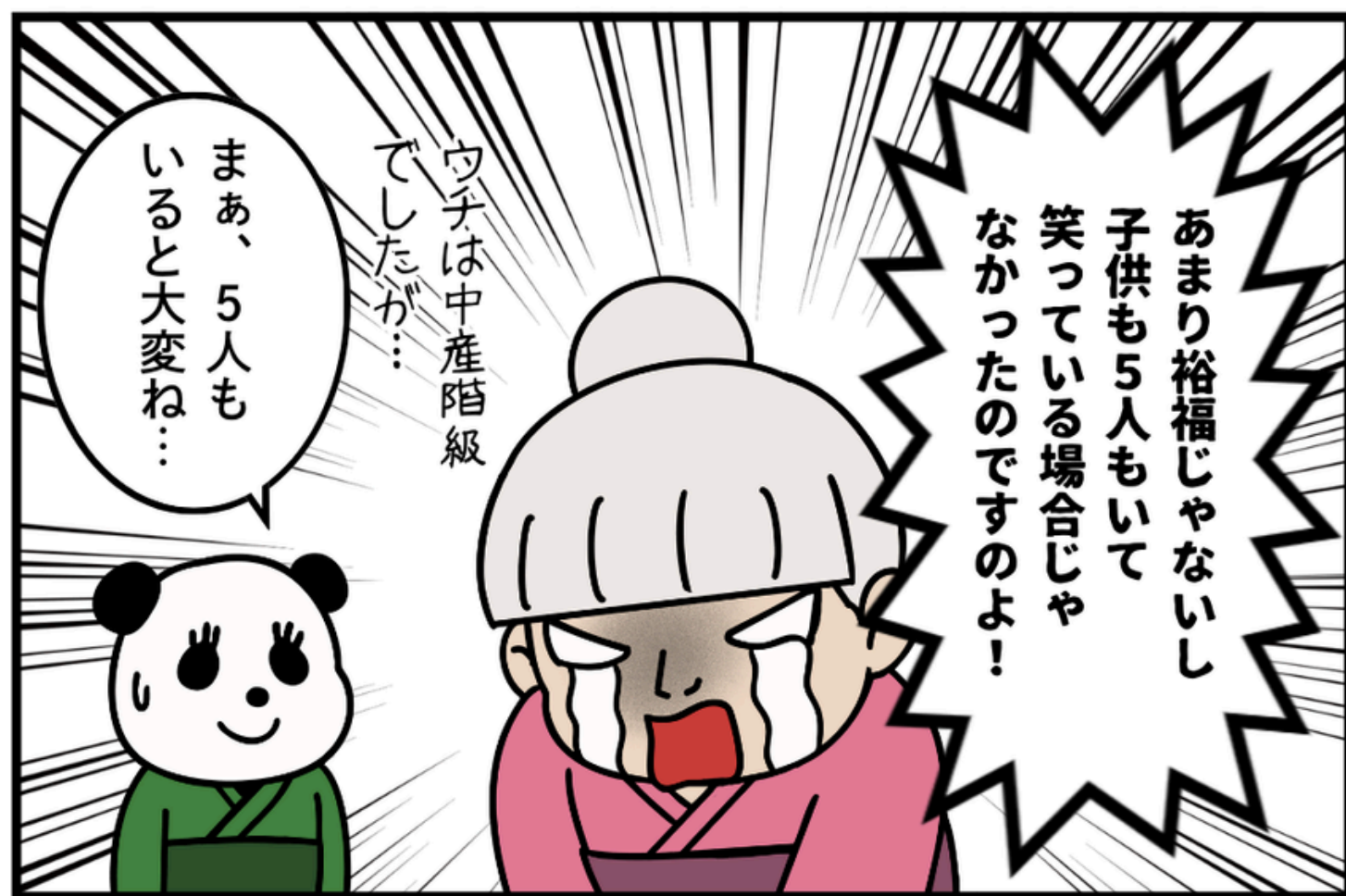
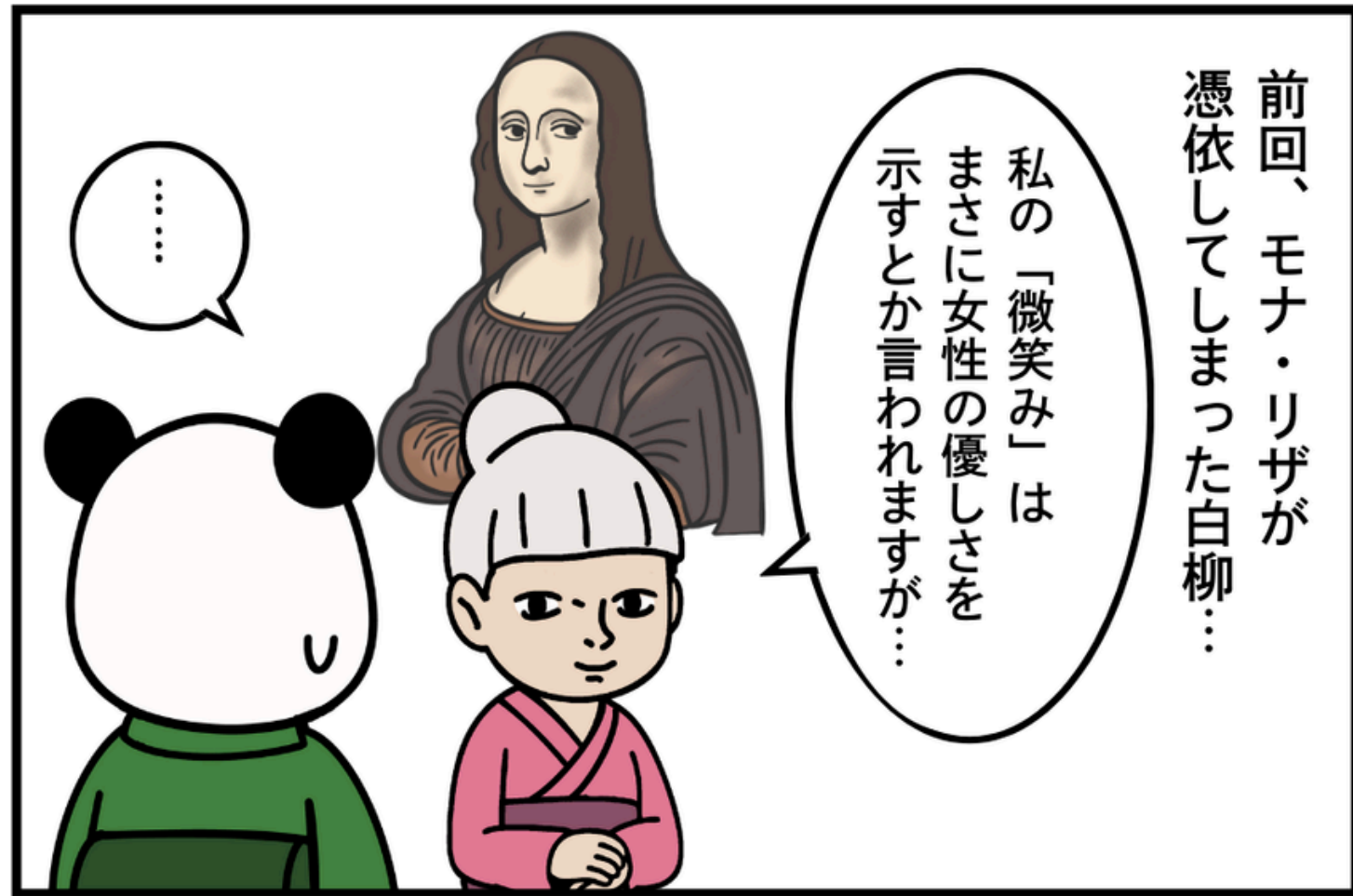
マカオは古くからギャンブルが合法化されていて「東洋のラスベガス」って言われるようになったけど、もともとはアジアでも数少ないヨーロッパ人の居留地なのよ

第2章

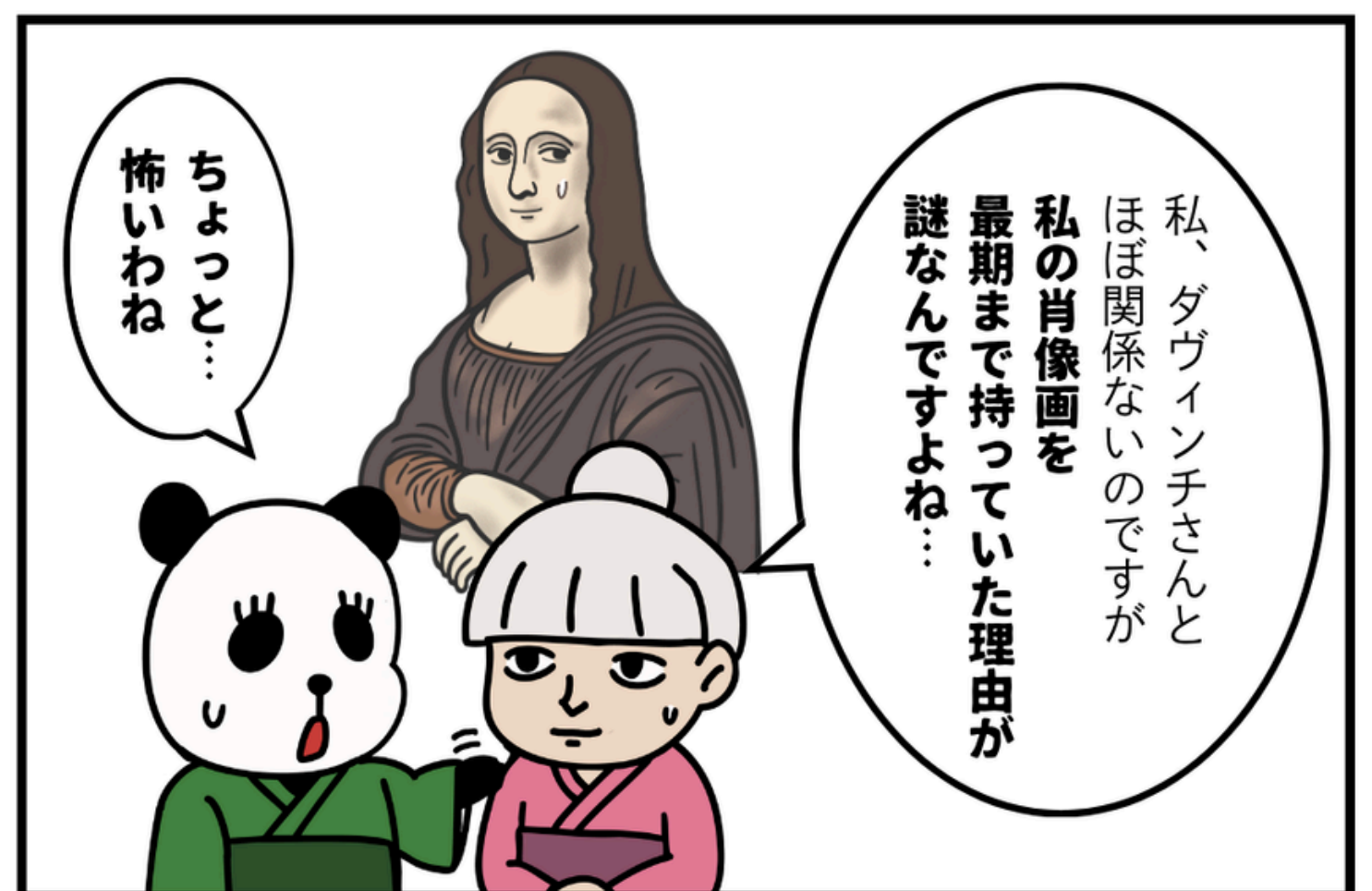
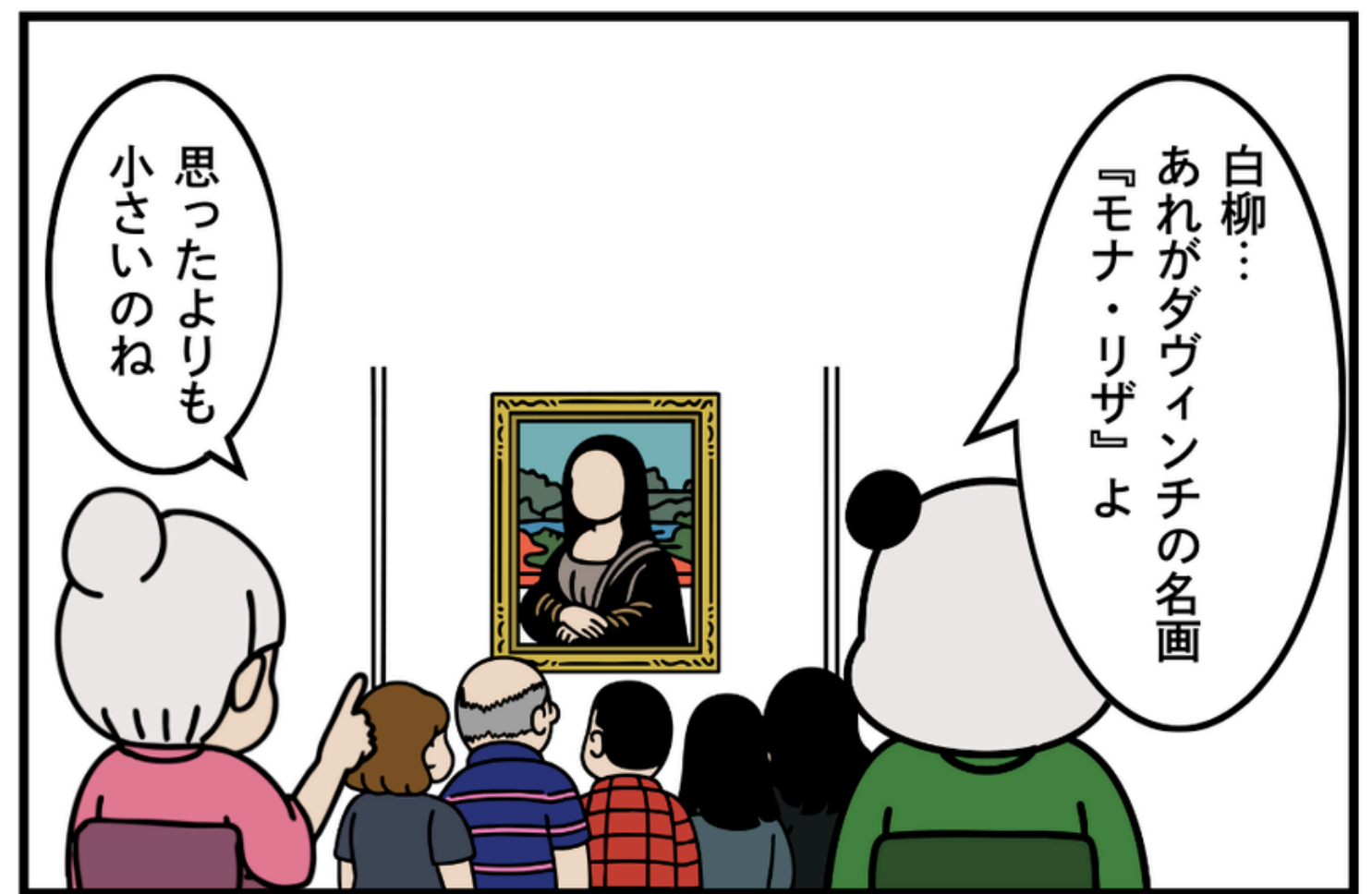
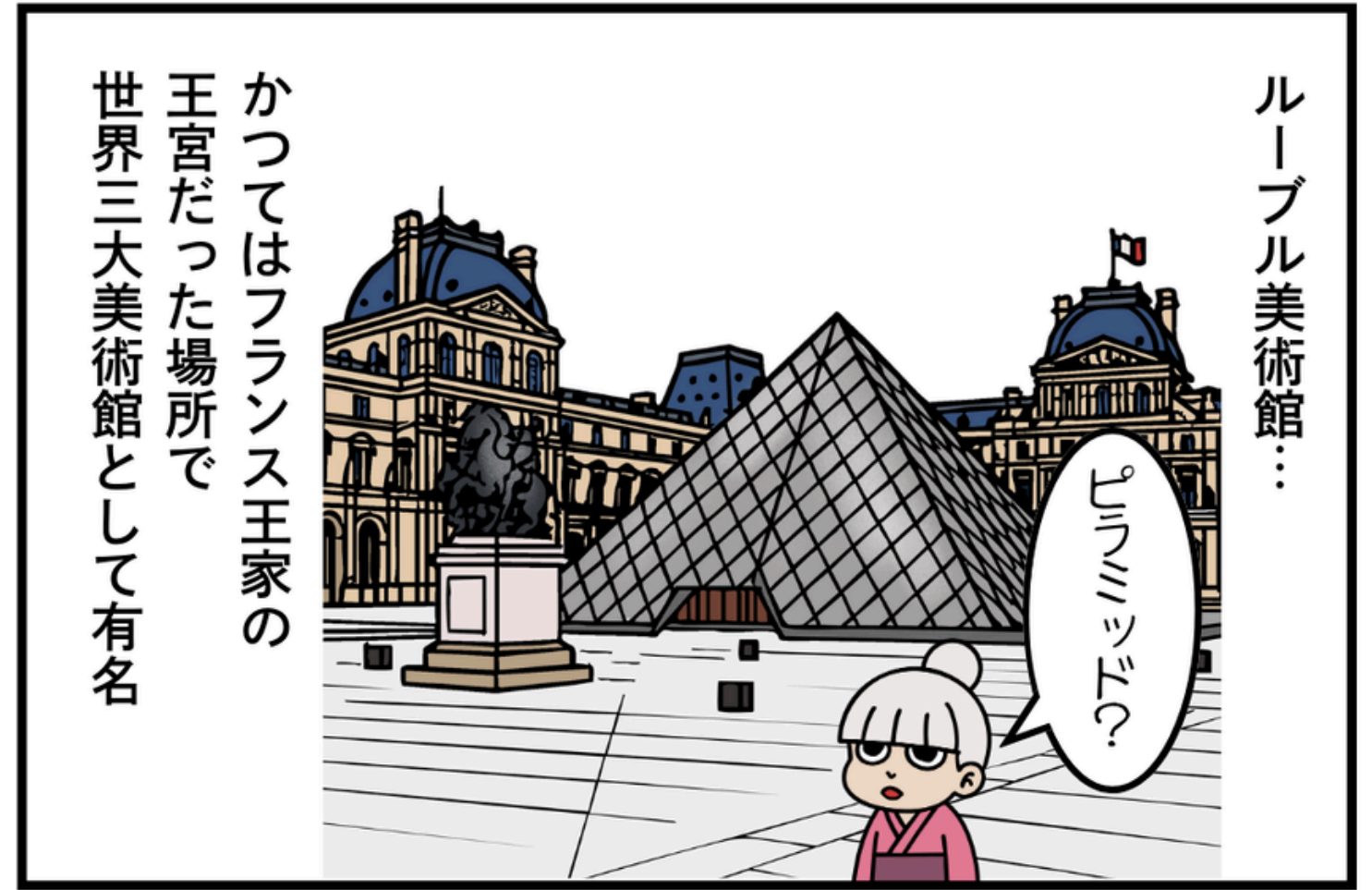
～ライバル登場？～

主役交代？

～ゲスト・モナ・リザ～ 第2回



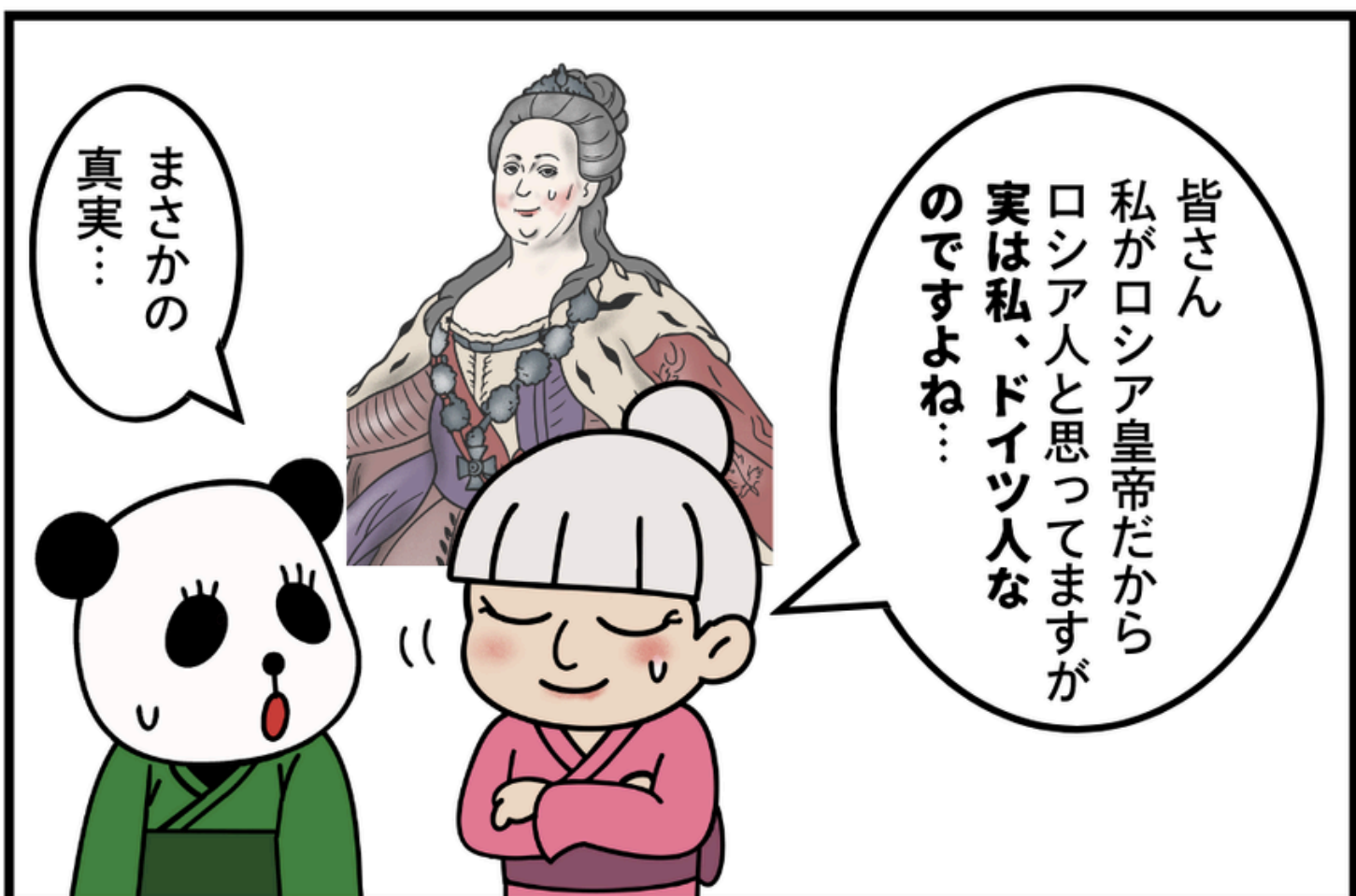
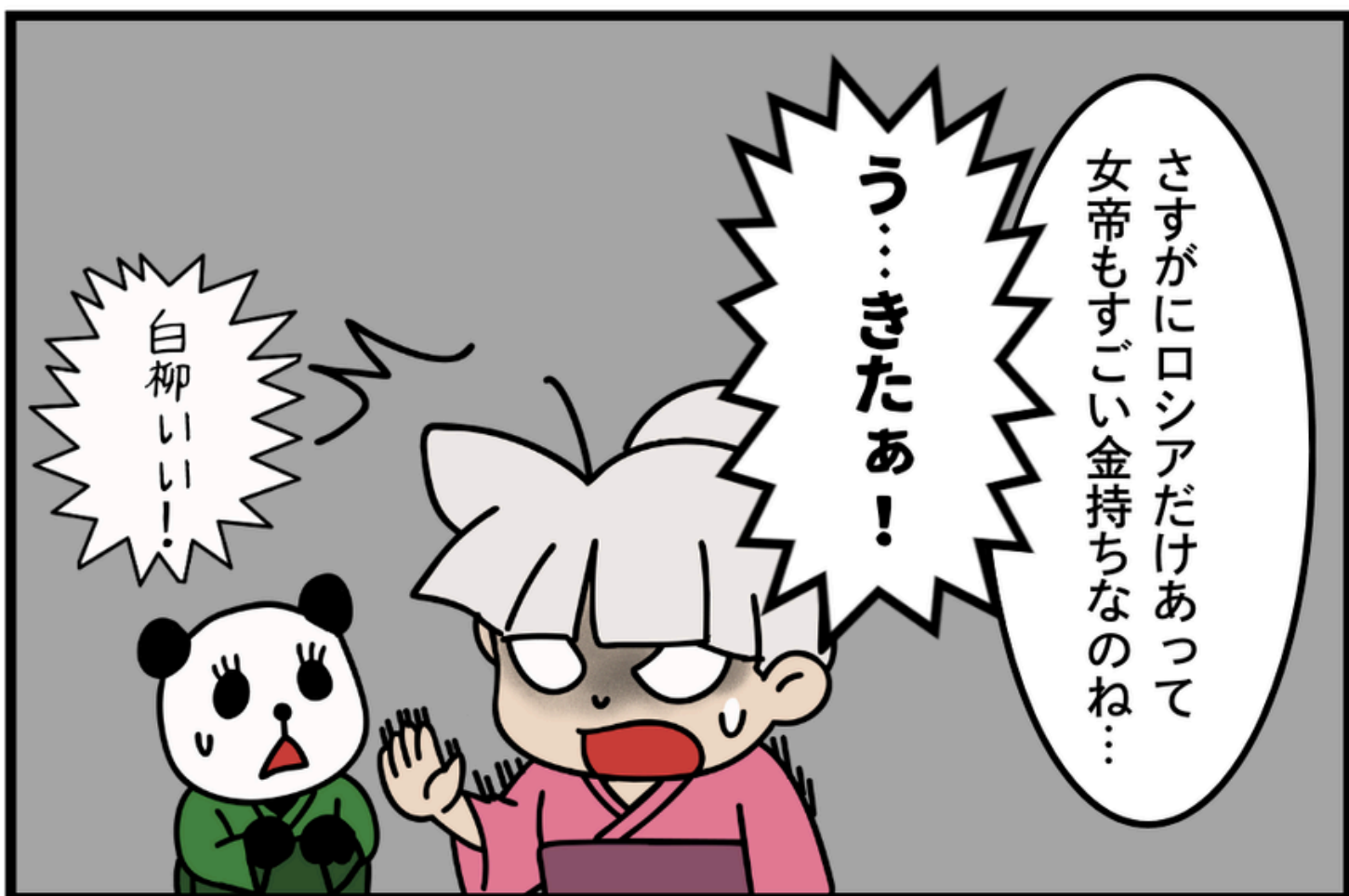
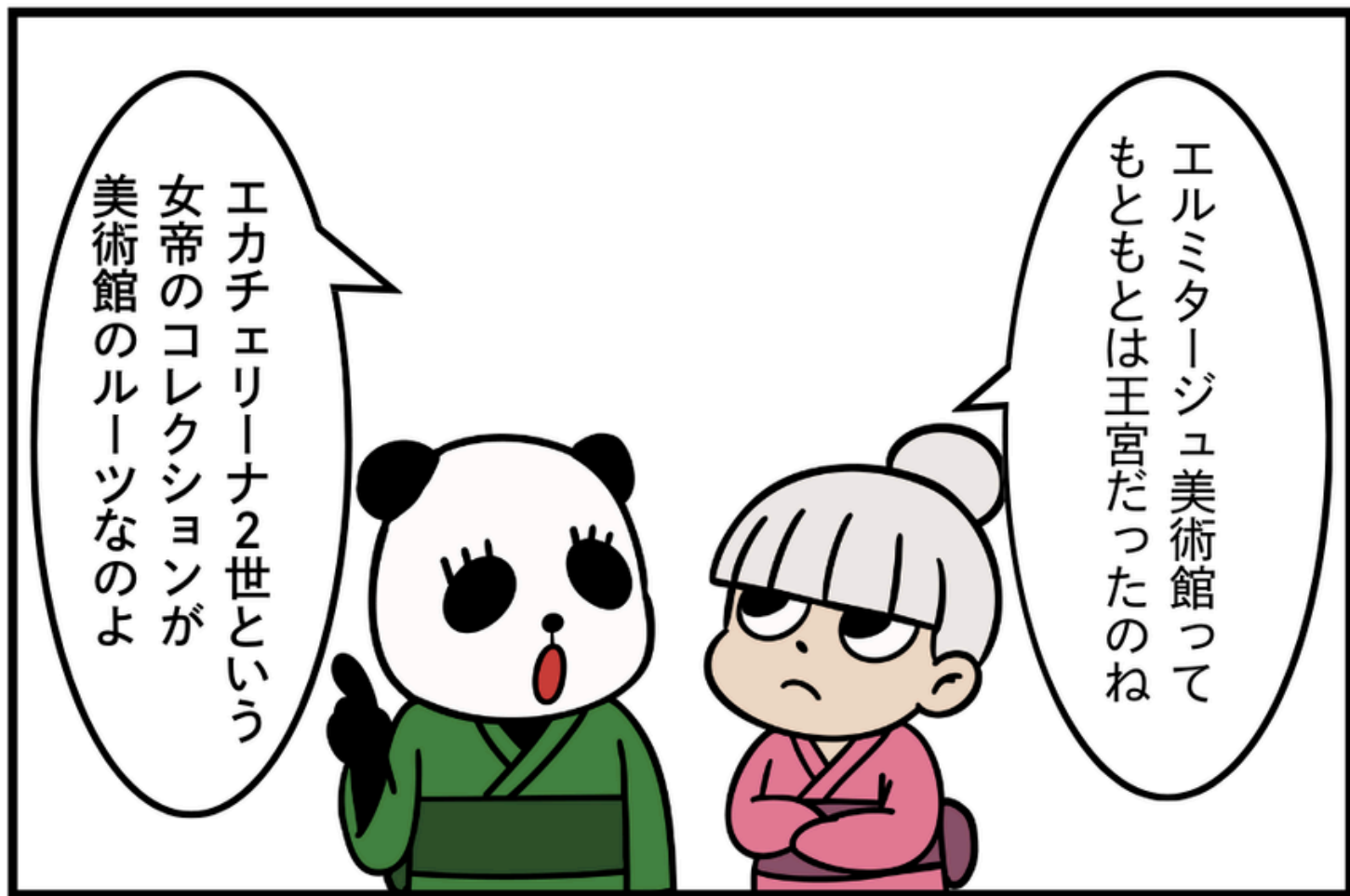
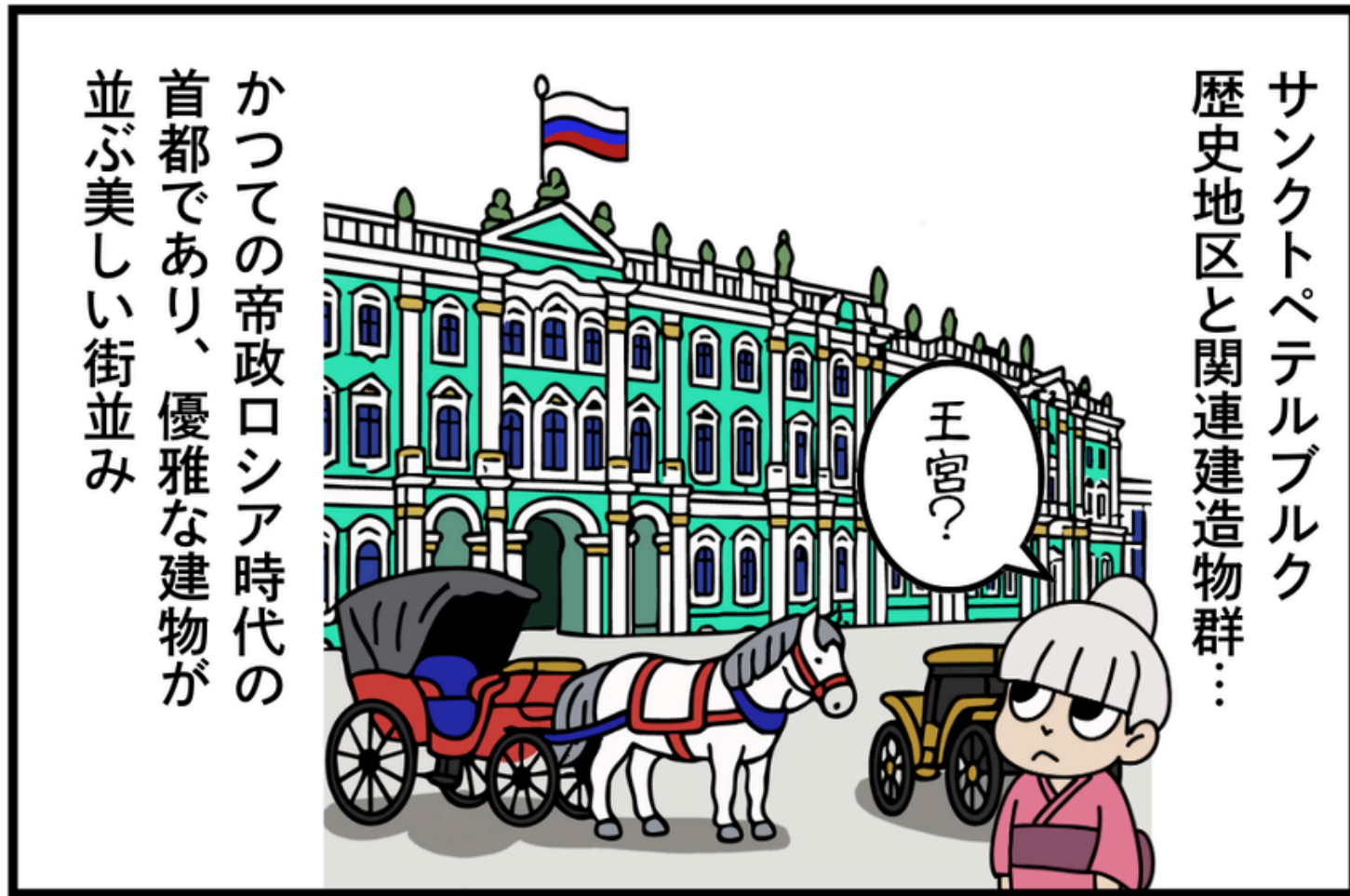
～ゲスト・モナ・リザ～ 第1回



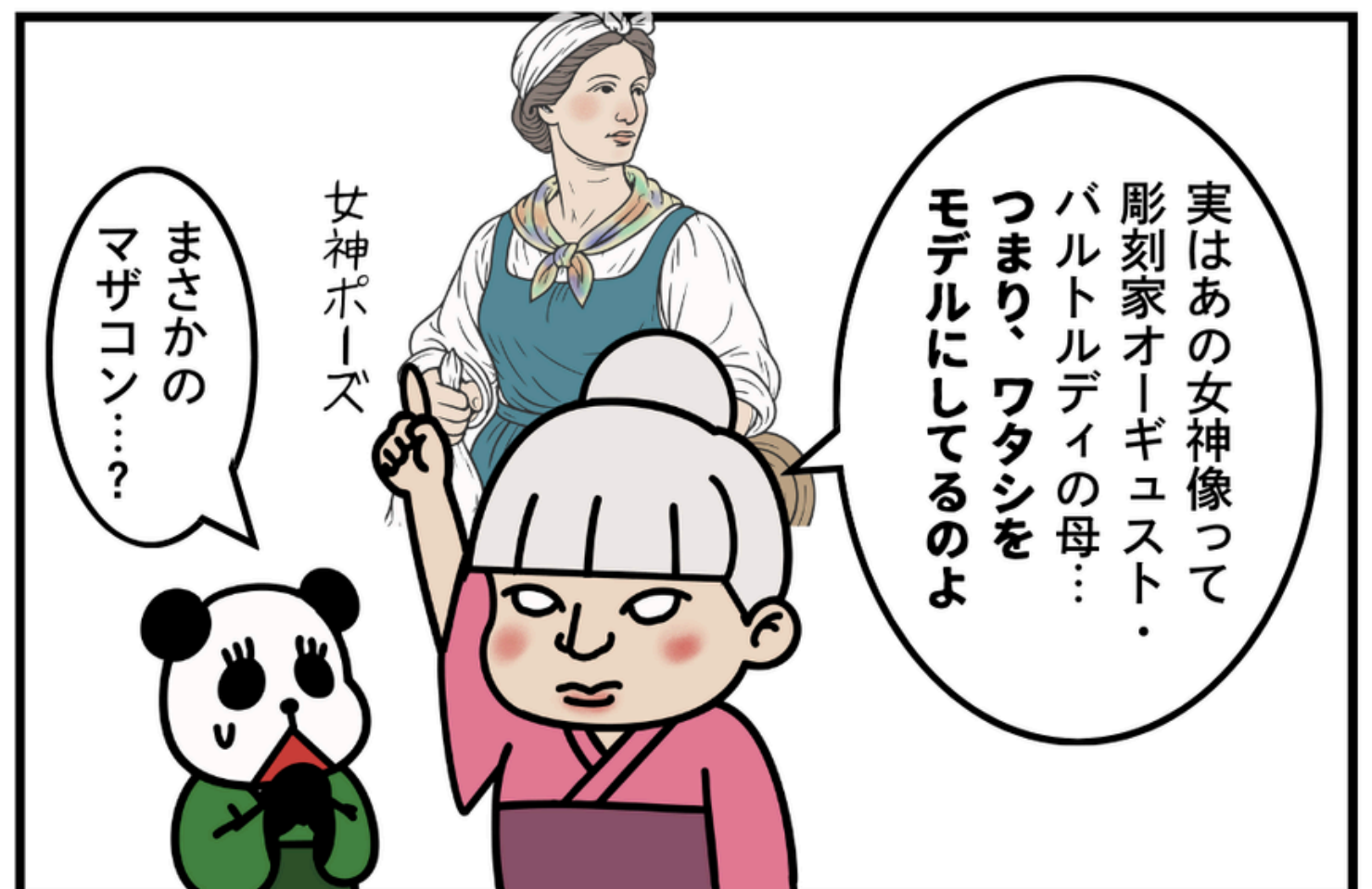
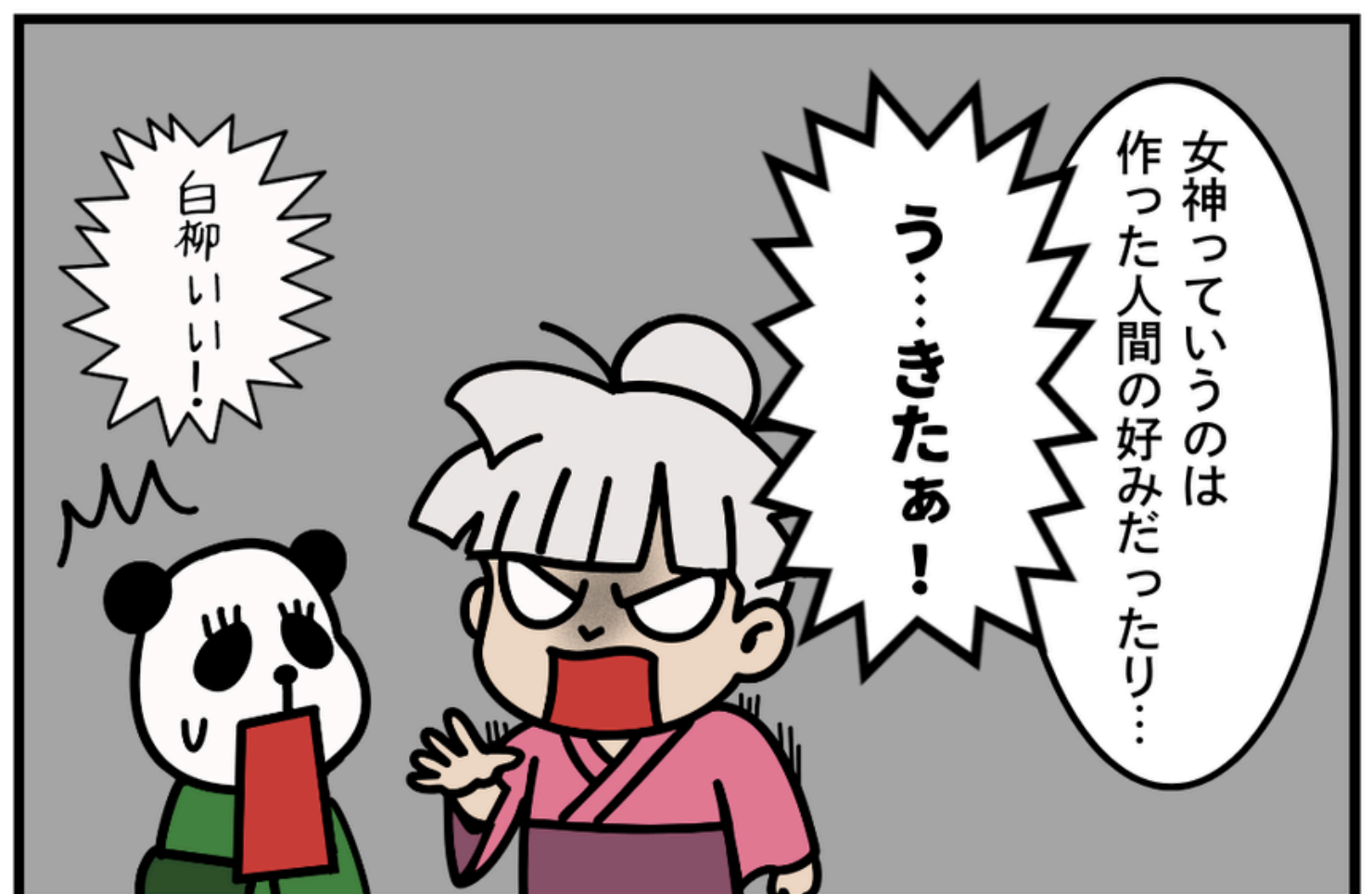
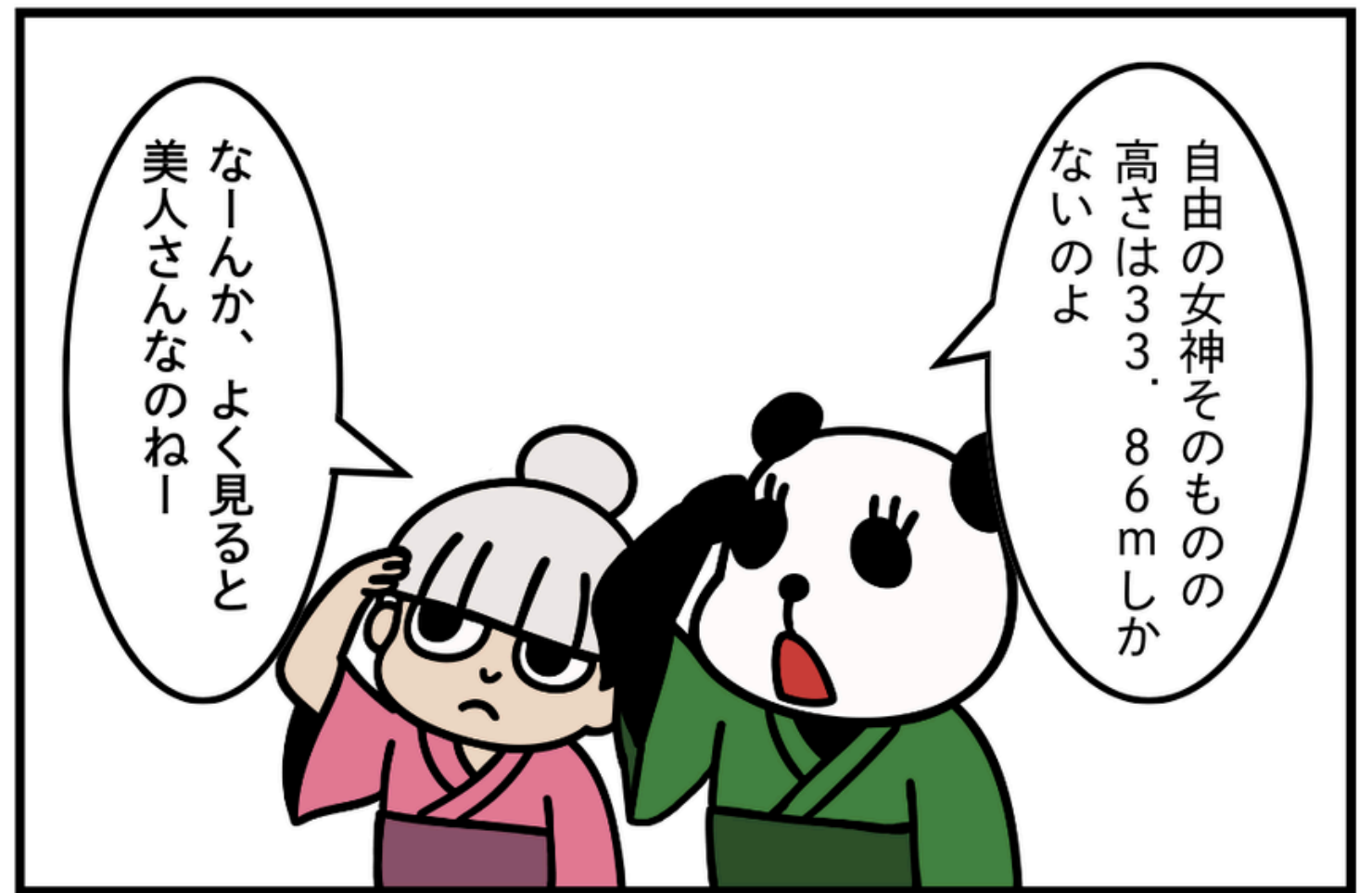
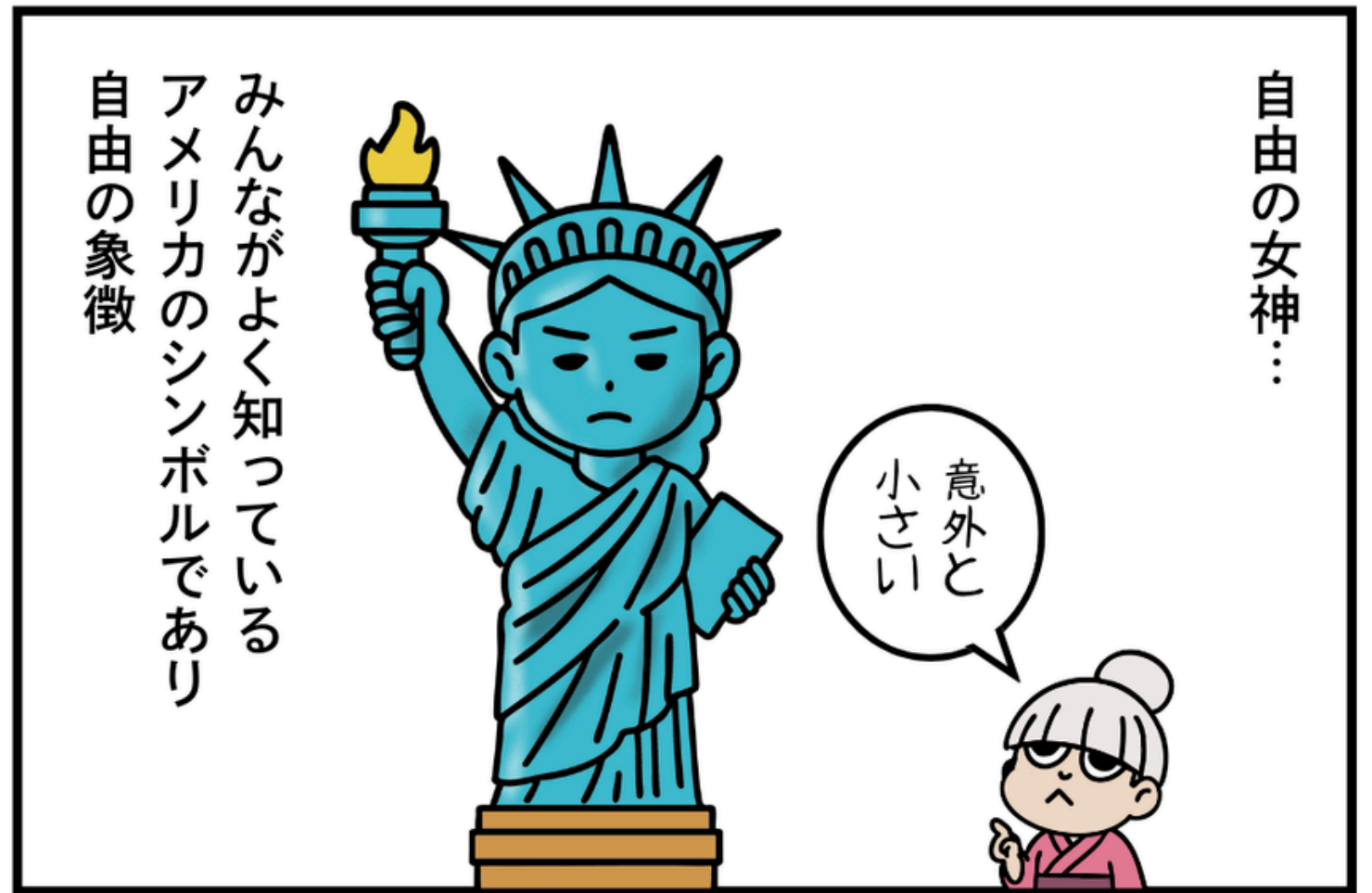
ちなみに『モナ・リザ』はフィレンツェの商人の妻である、リザ・デル・ジョコンドをモデルにした…というのが一般的だけど、そこはハッキリしていないのよ。

さまざまな説があるけど、実は『モナ・リザ』は依頼されて書き始めたものなのになぜか依頼主のもとに渡されることがなかったのよ。天才は気難しいのね（笑）

～ゲスト・エカチェリーナ2世～ 第1回



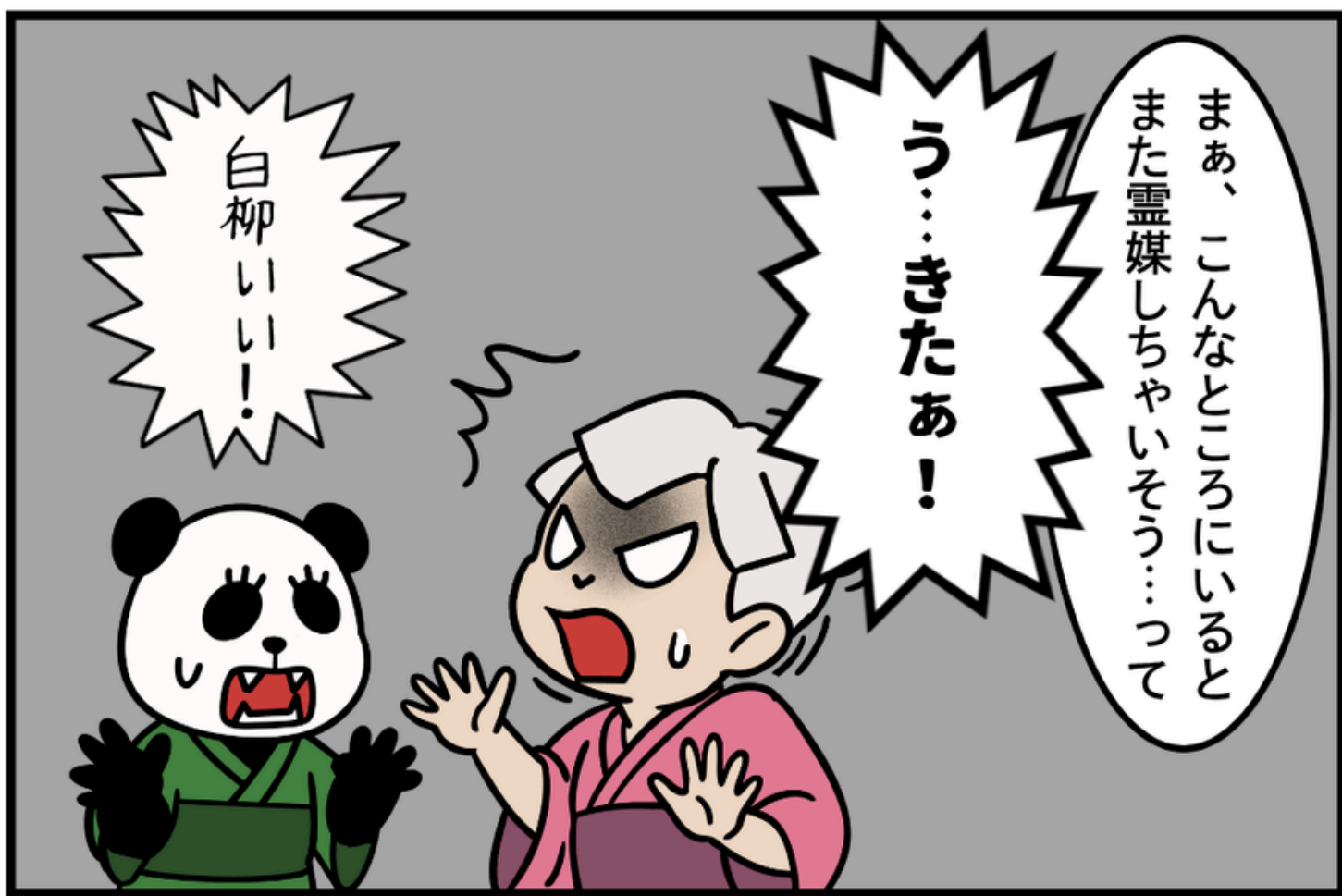
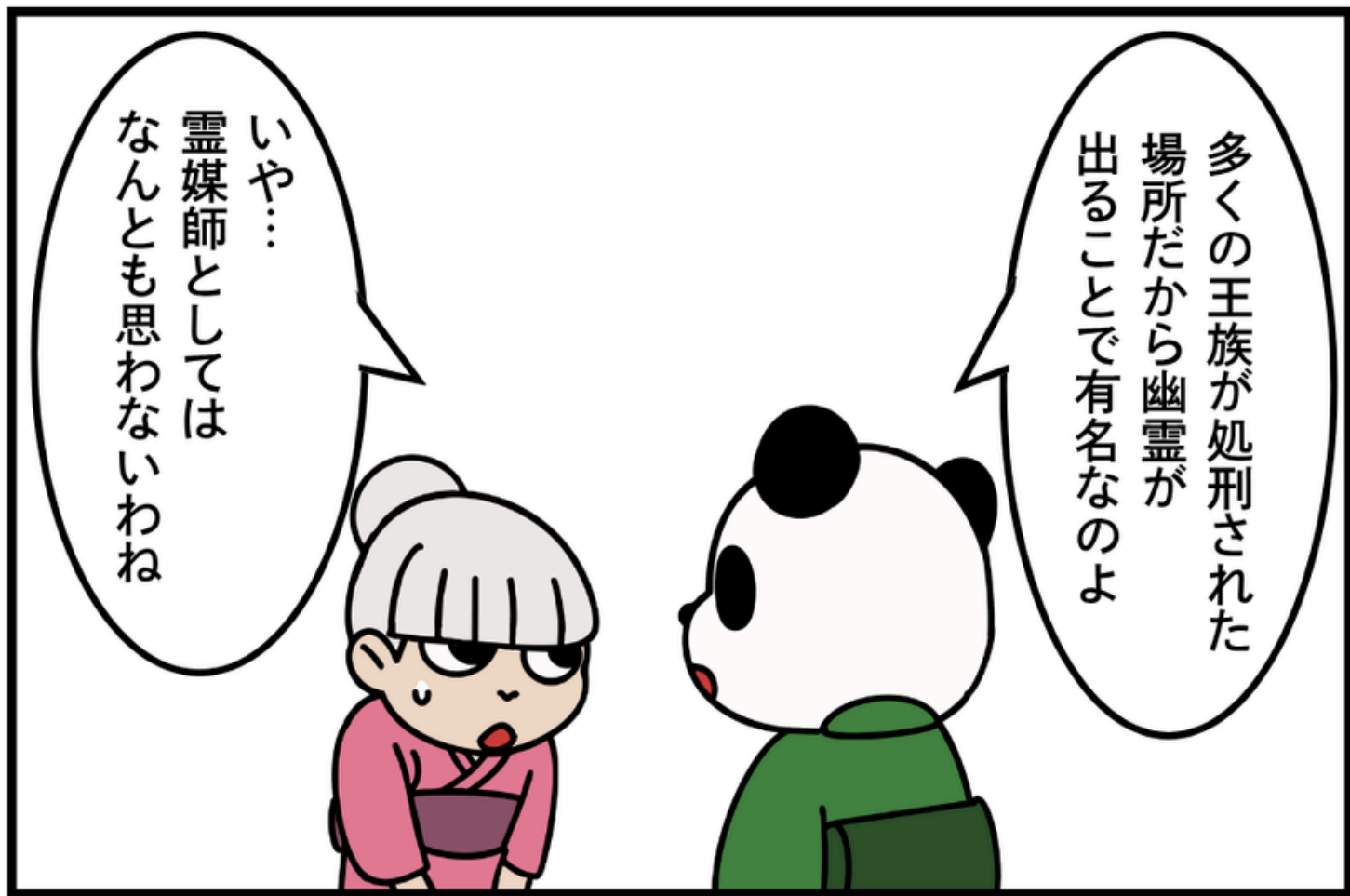
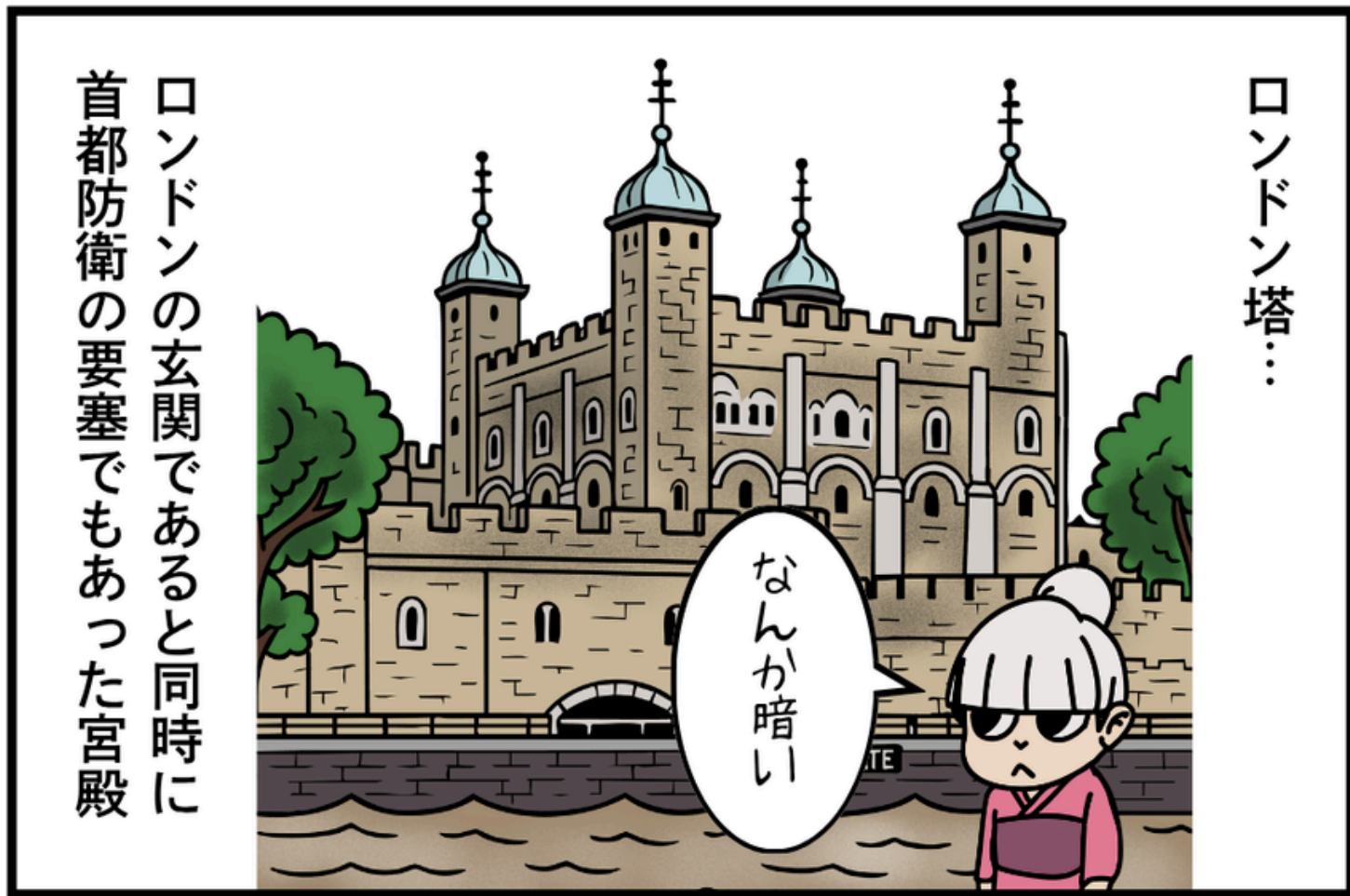
～ゲスト・自由の女神のモデルになった人～



正しく言うと、エカチェリーナ2世はプロイセン王国（現在のドイツ北部とポーランド西部）の出身で、ドイツ系の侯爵の家に生まれたので、ロシアにルーツはないのよね。

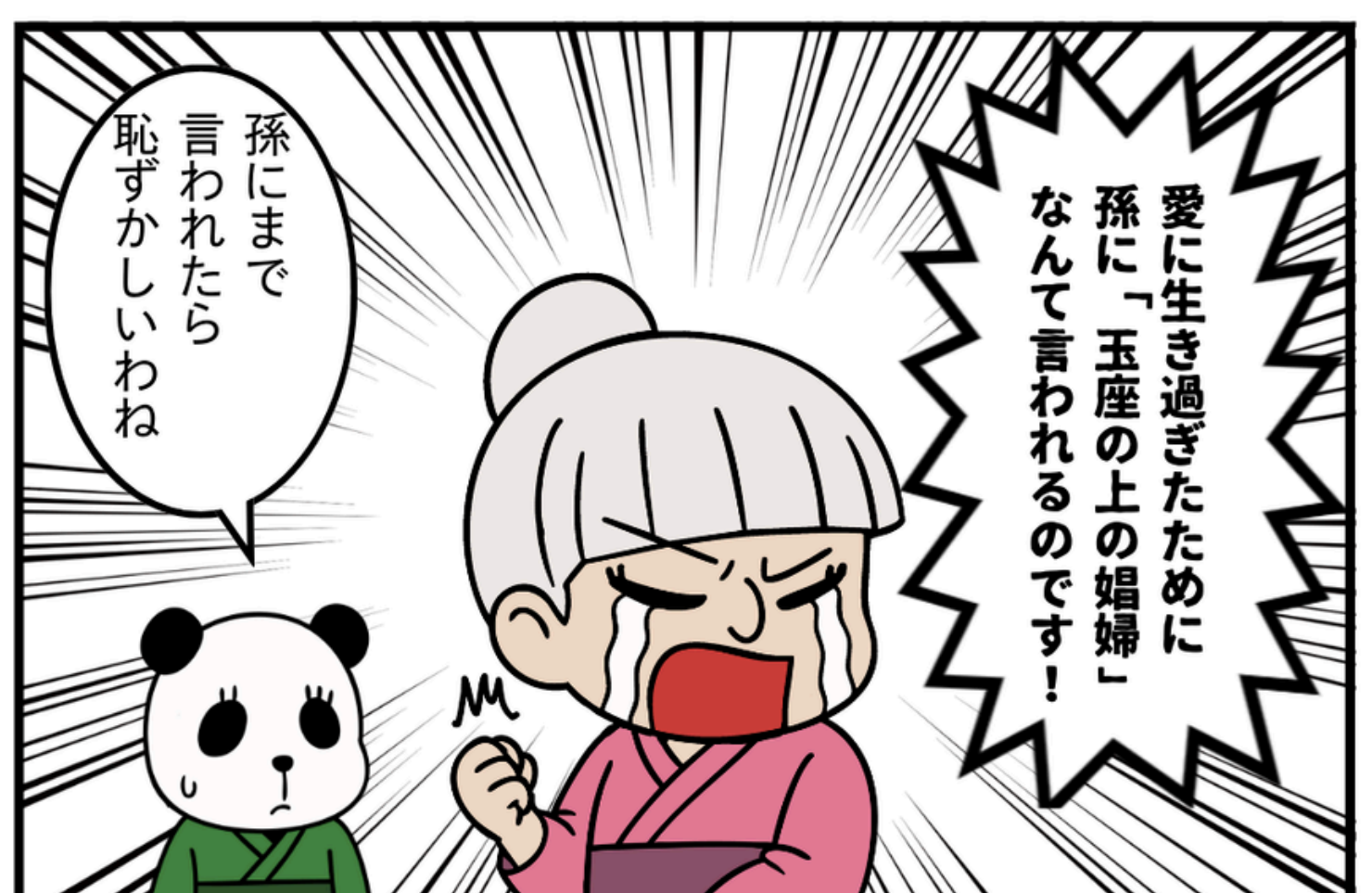
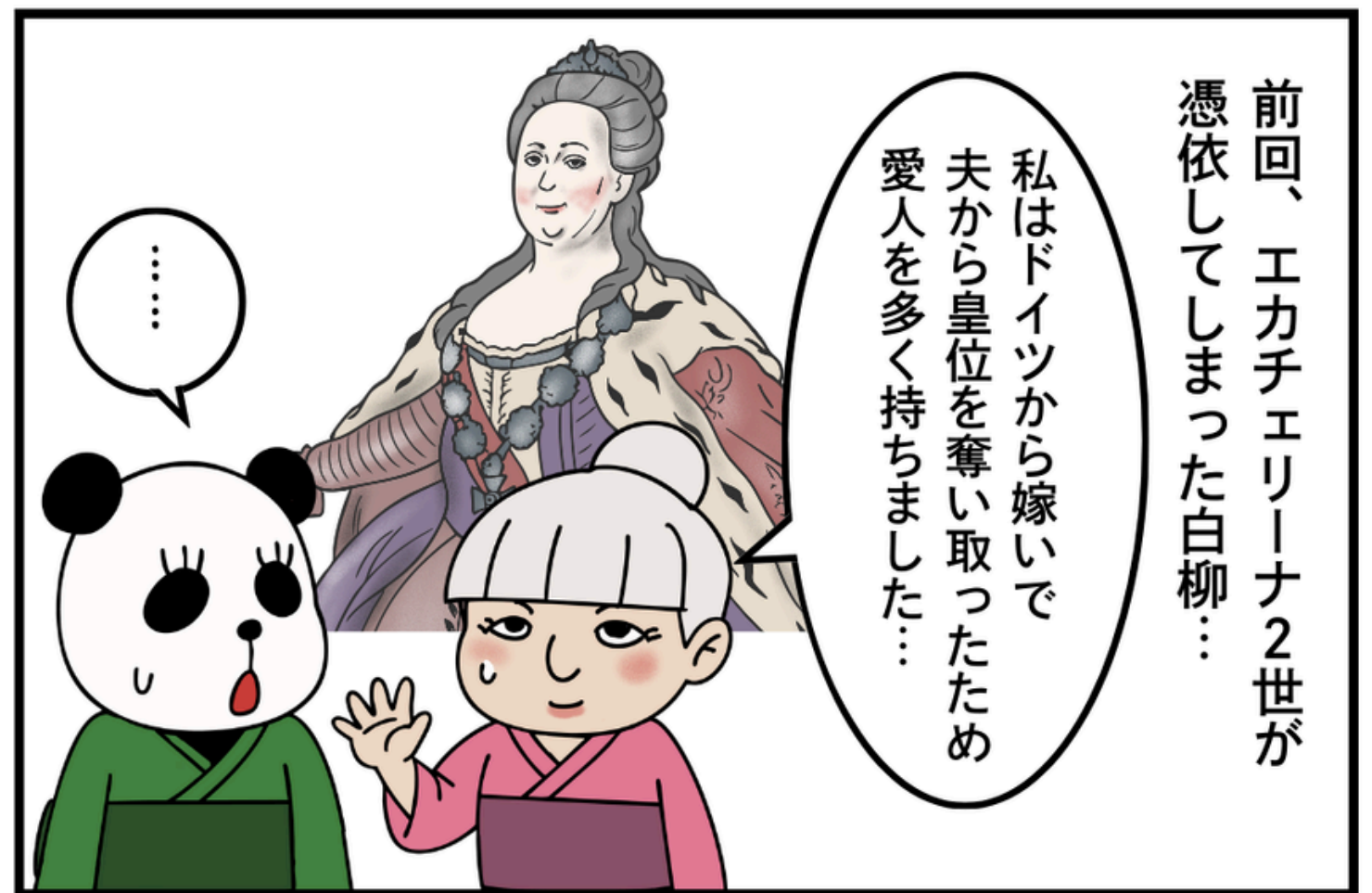
オーギュスト・バルトルディが制作した自由の女神像はアメリカ以外にもあるから、お母さんがモデルということなら女神は「フランス人」ということになるわね（笑）

～ゲスト・元王族の魂たち～

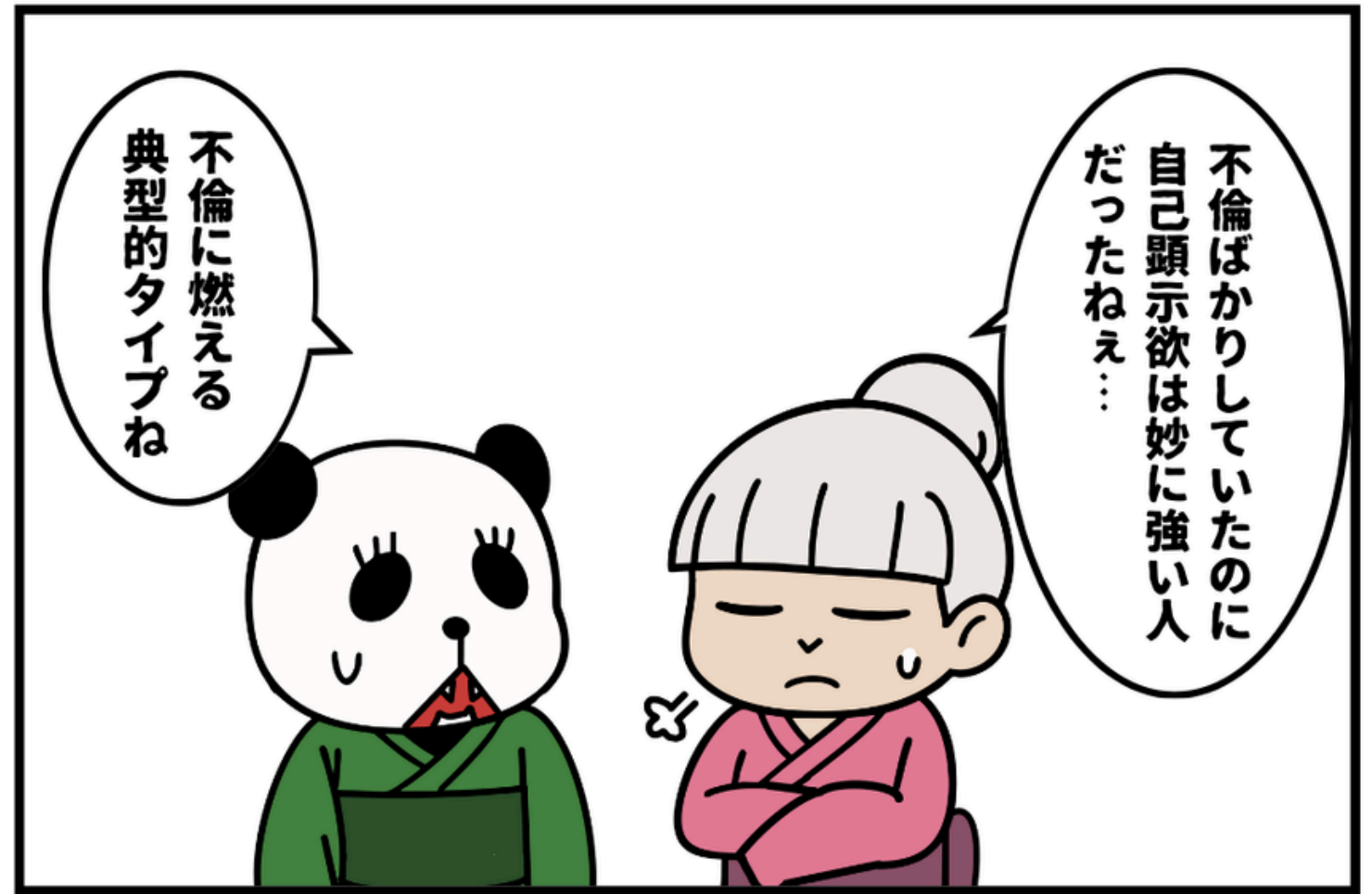
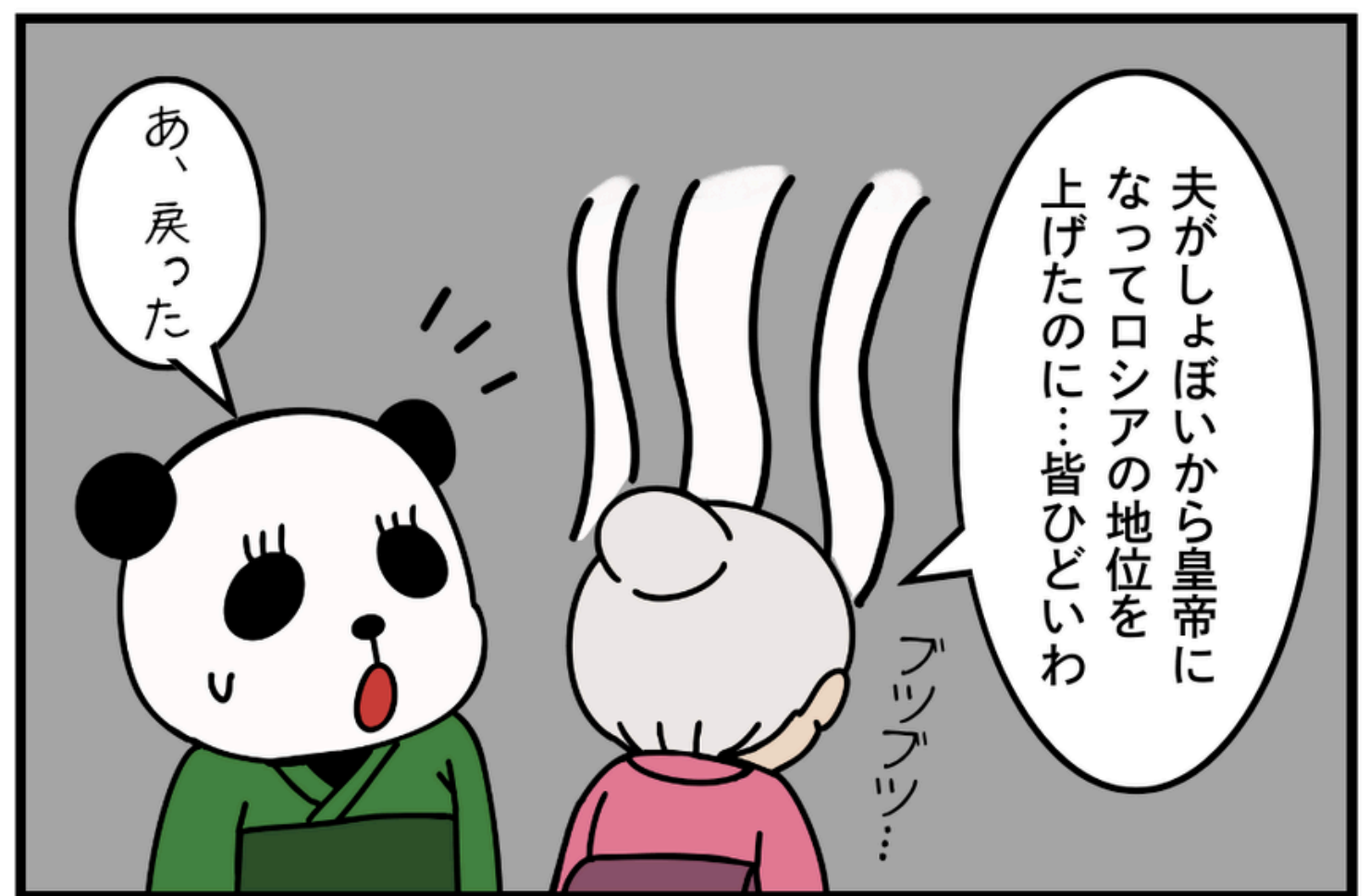


実際に場内には拷問部屋や牢獄もあって、多くの王族が処刑された場所でもあるから、幽霊の目撃談が多いのよね…。きっと話を聞いてほしいのよ（笑）

～ゲスト・エカチェリーナ2世～ 第2回

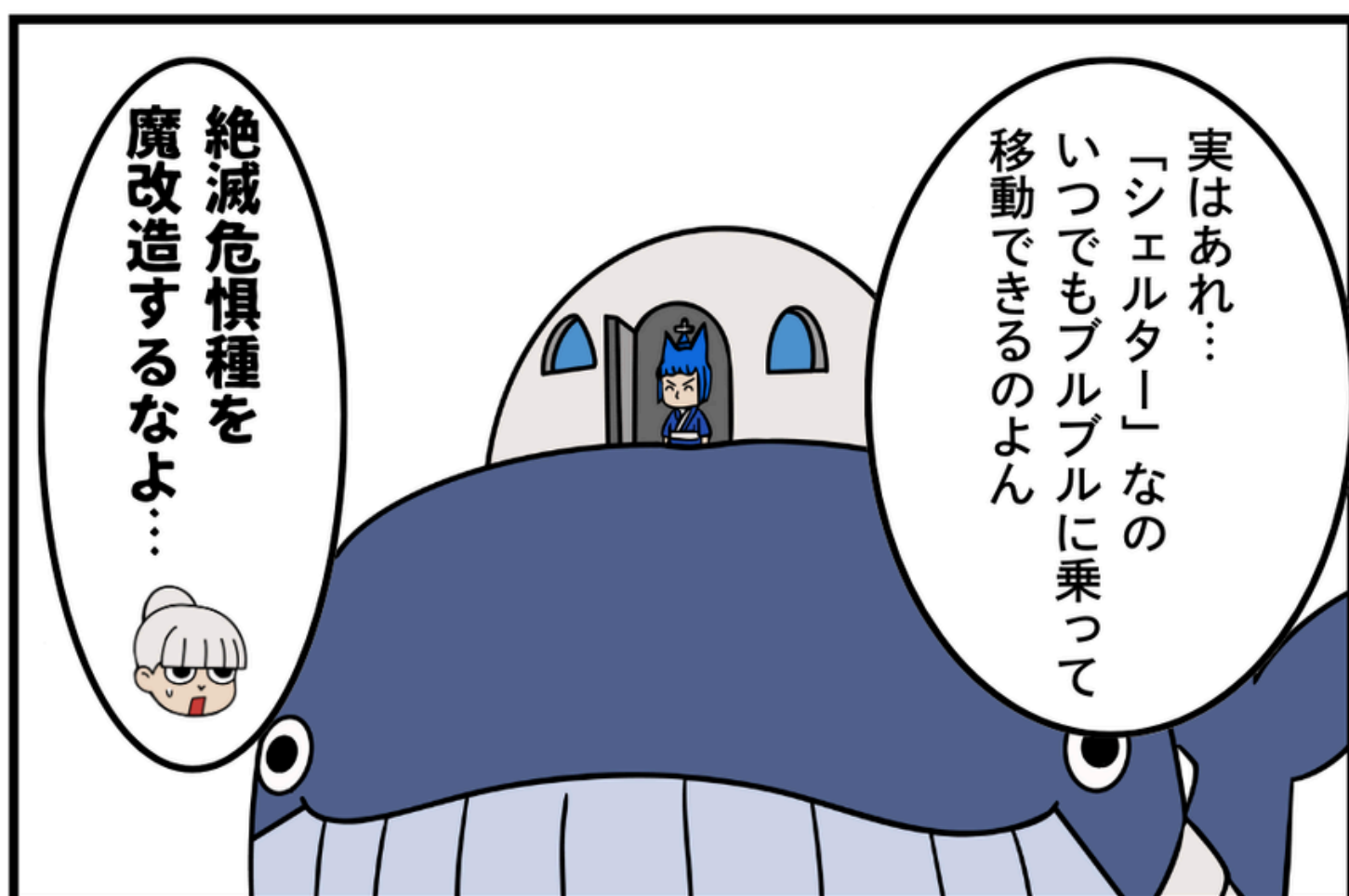
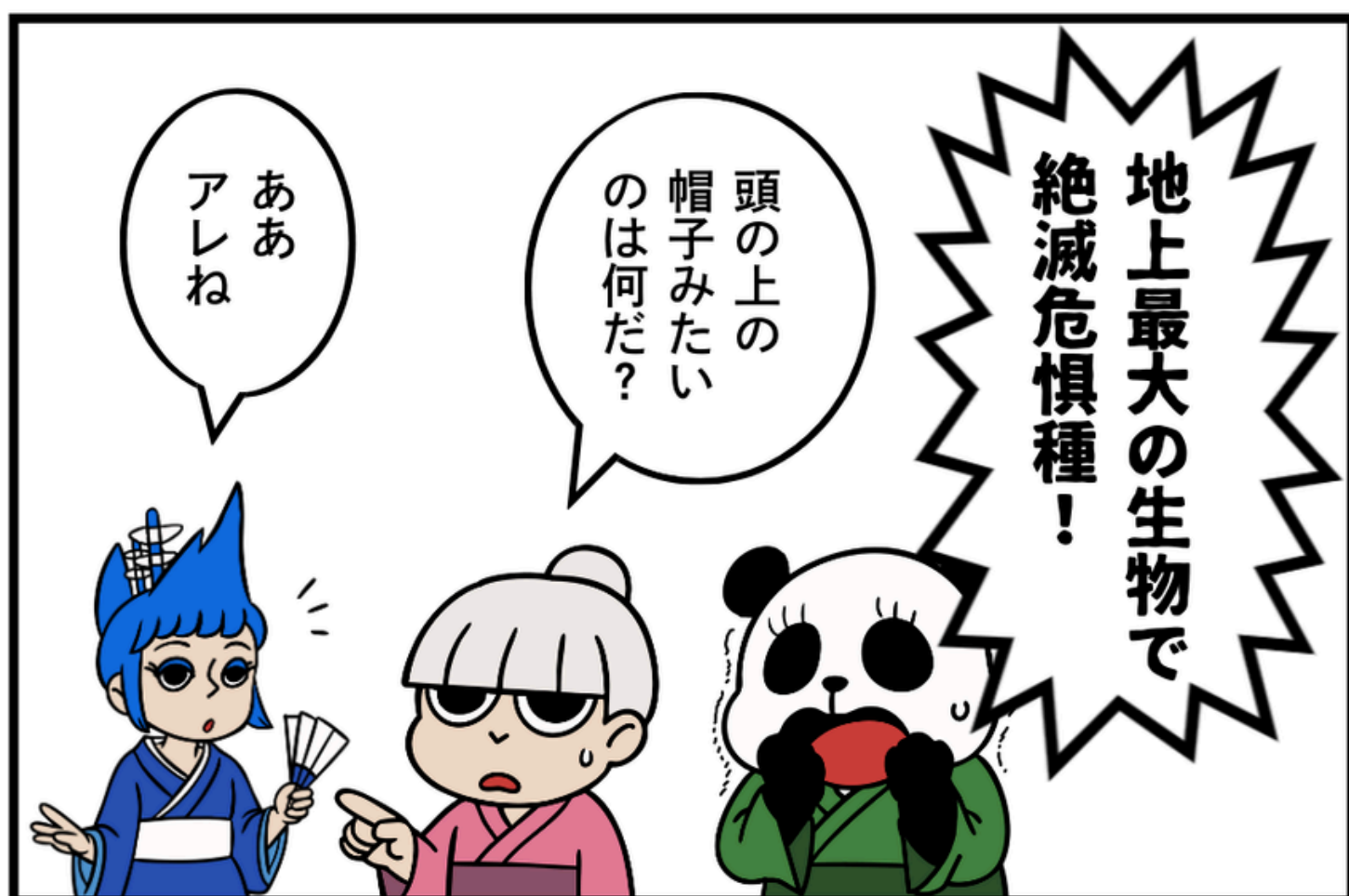


※「娼婦（しょうふ）」の意味はネットで調べてね

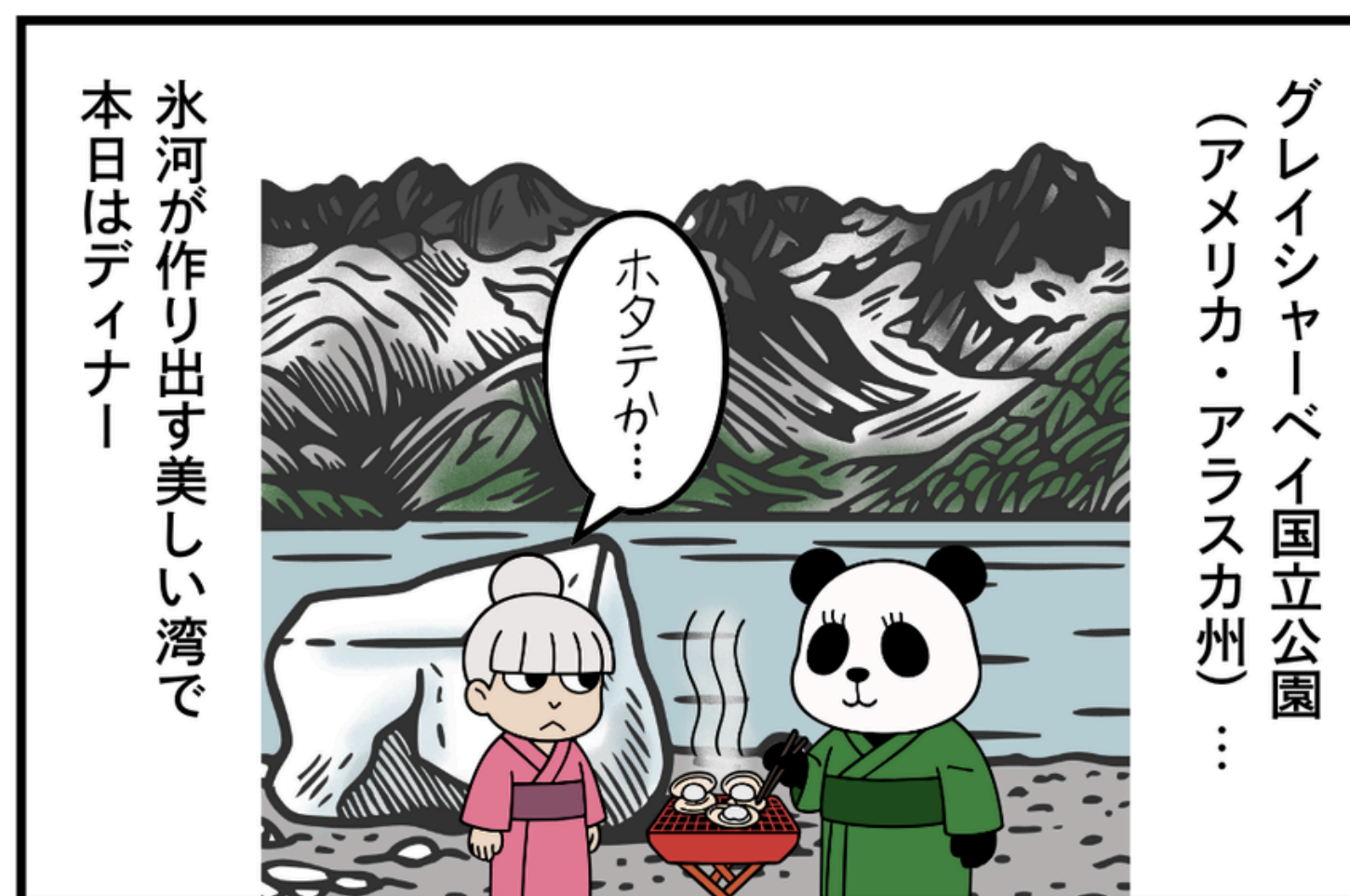


エカチェリーナ2世が愛人を多く持ったのは、外国から嫁いできたために後ろ盾がなく、彼女をサポートする人材を多く獲得するという意味もあったというけど…（笑）

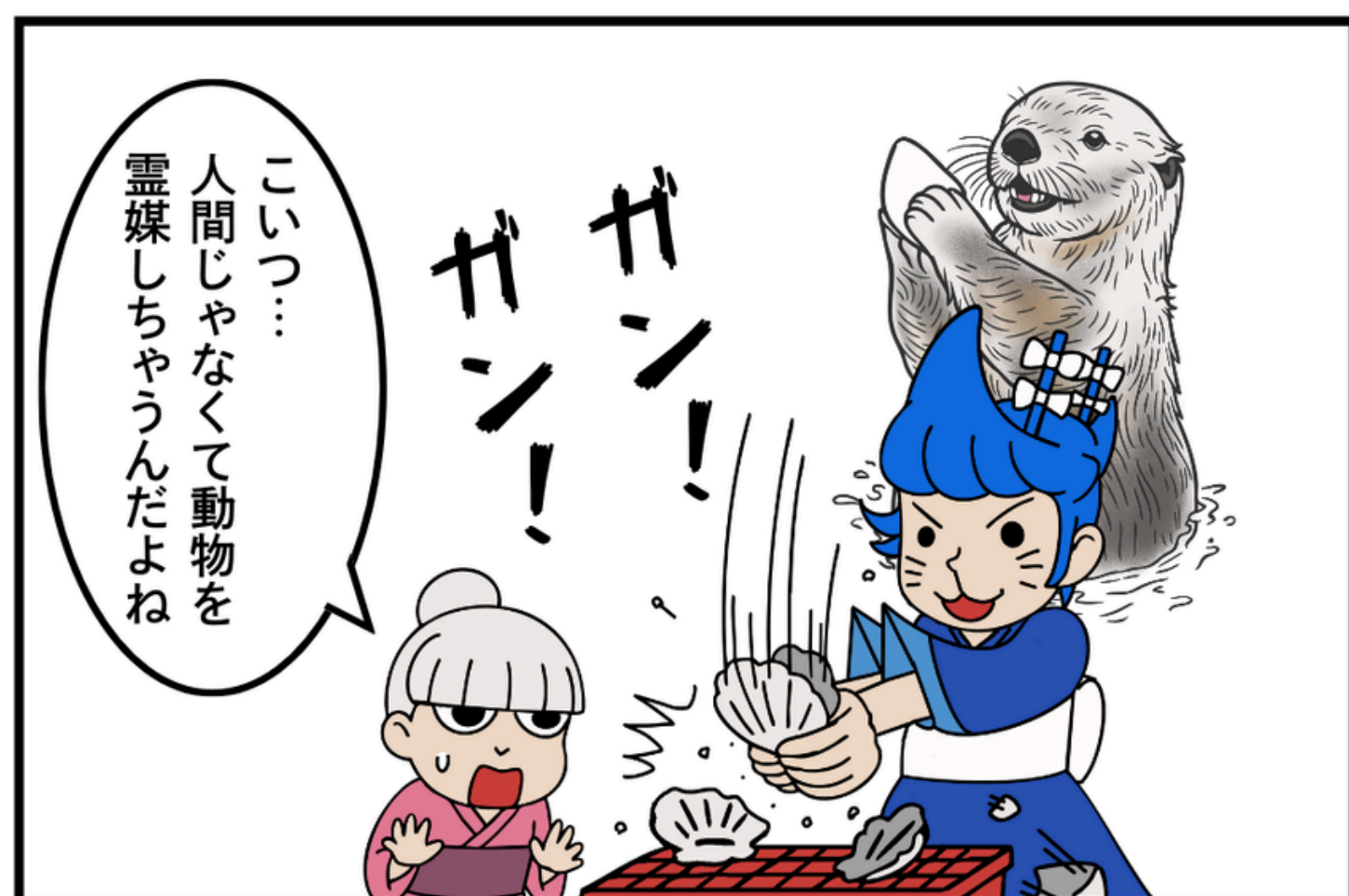
～ゲスト・青柳（あおやなぎ）～ 第2回



～ゲスト・青柳（あおやなぎ）～ 第1回



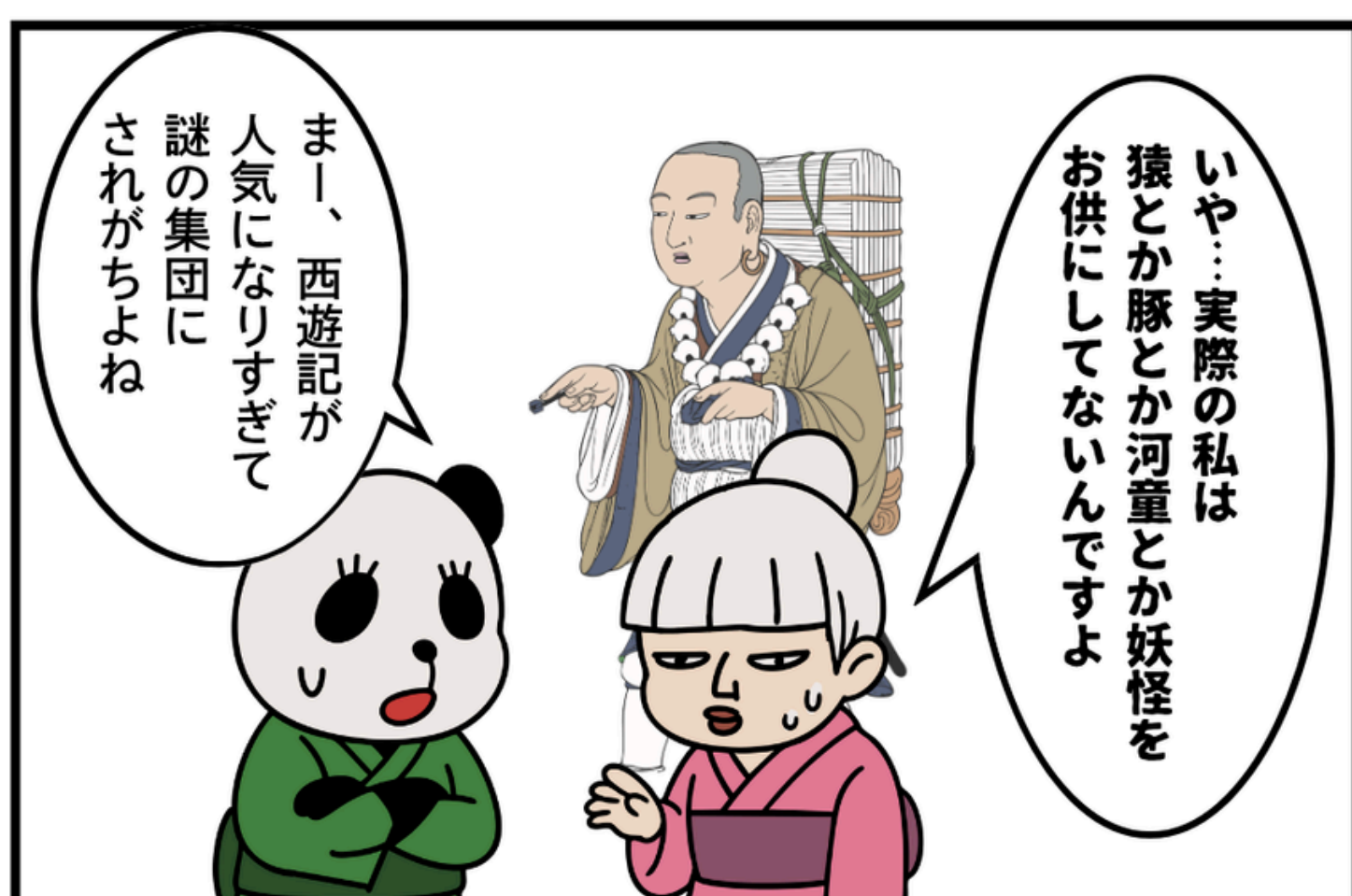
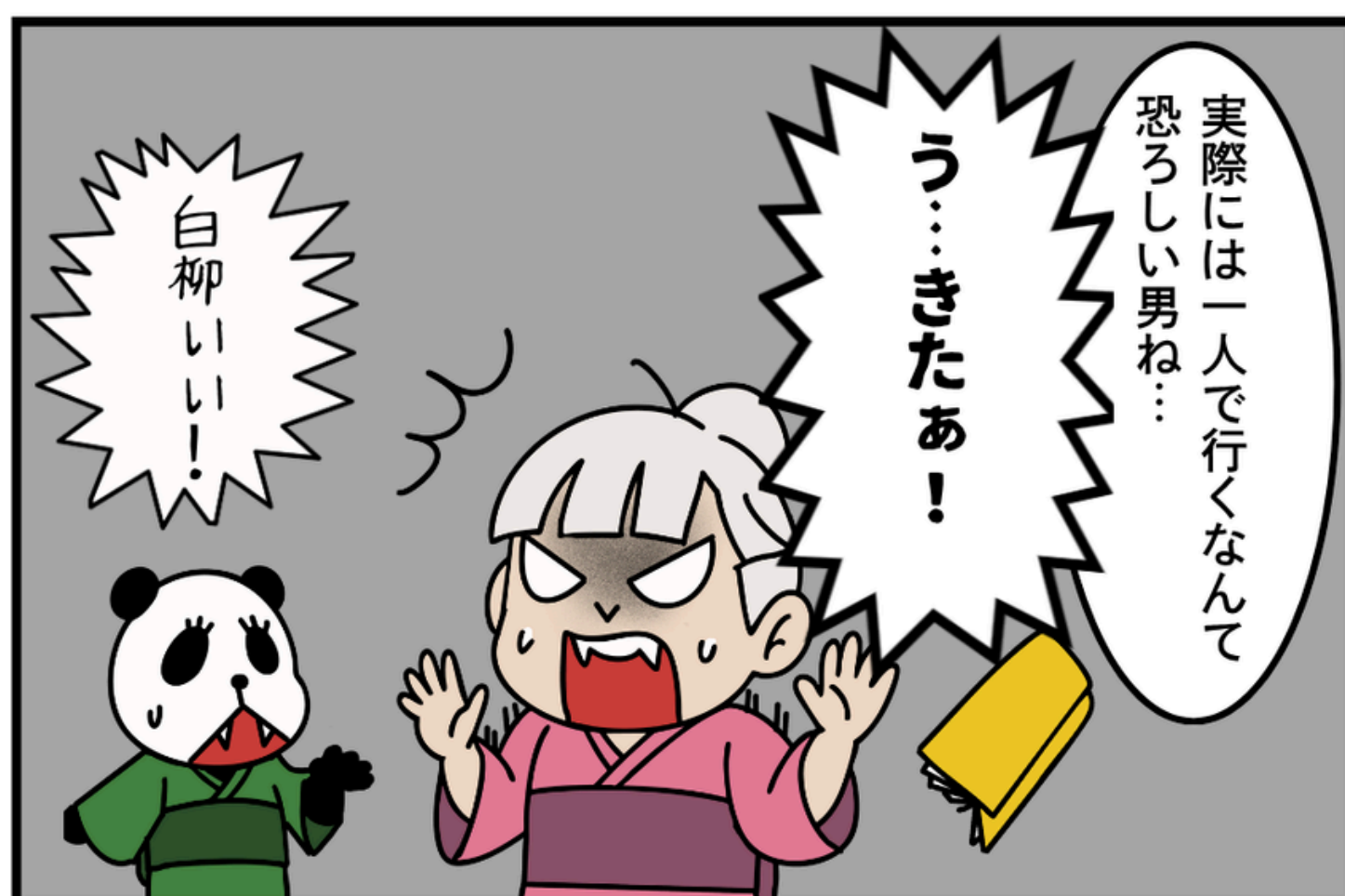
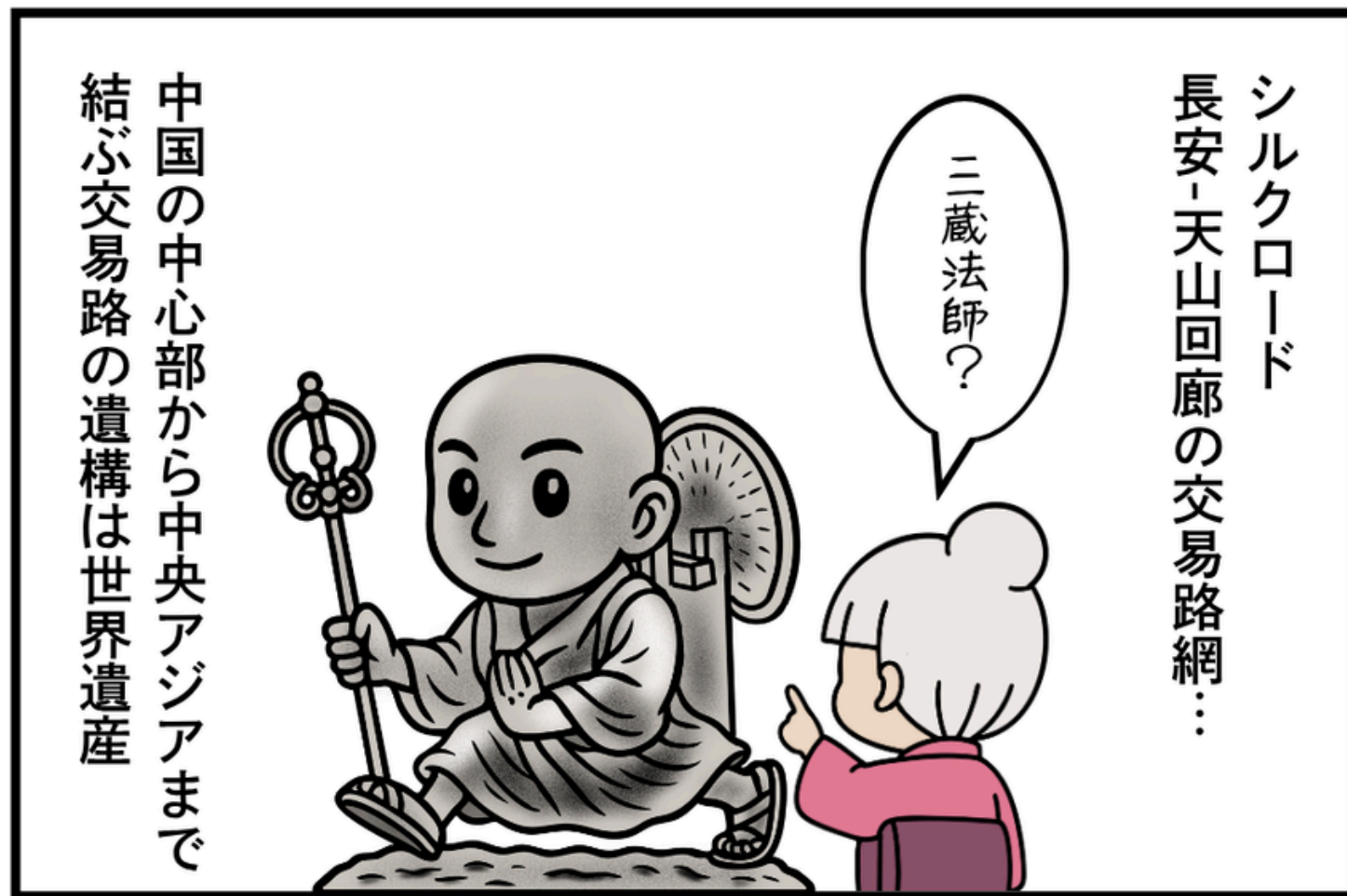
※ホタテは購入したものですよ



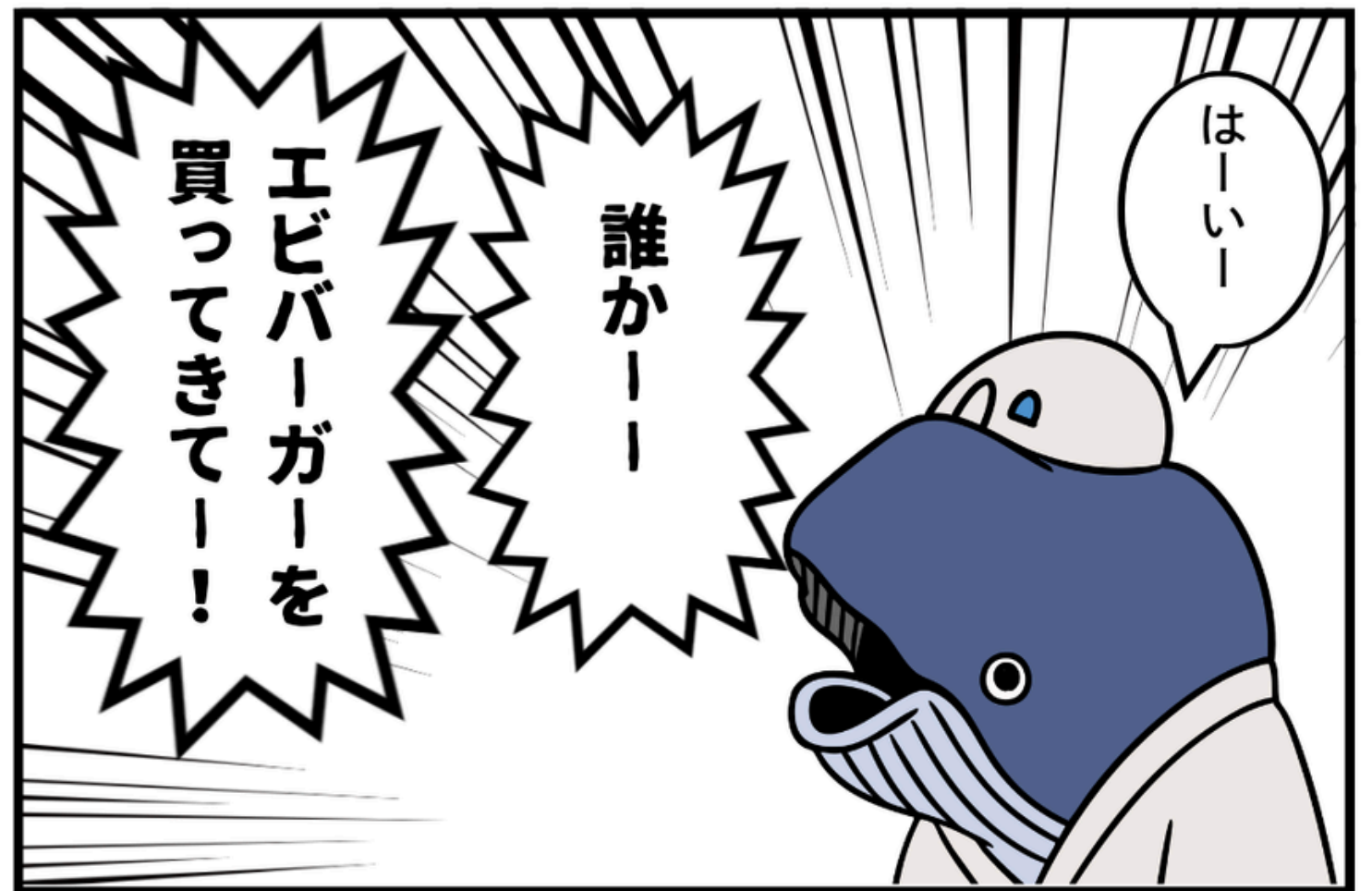
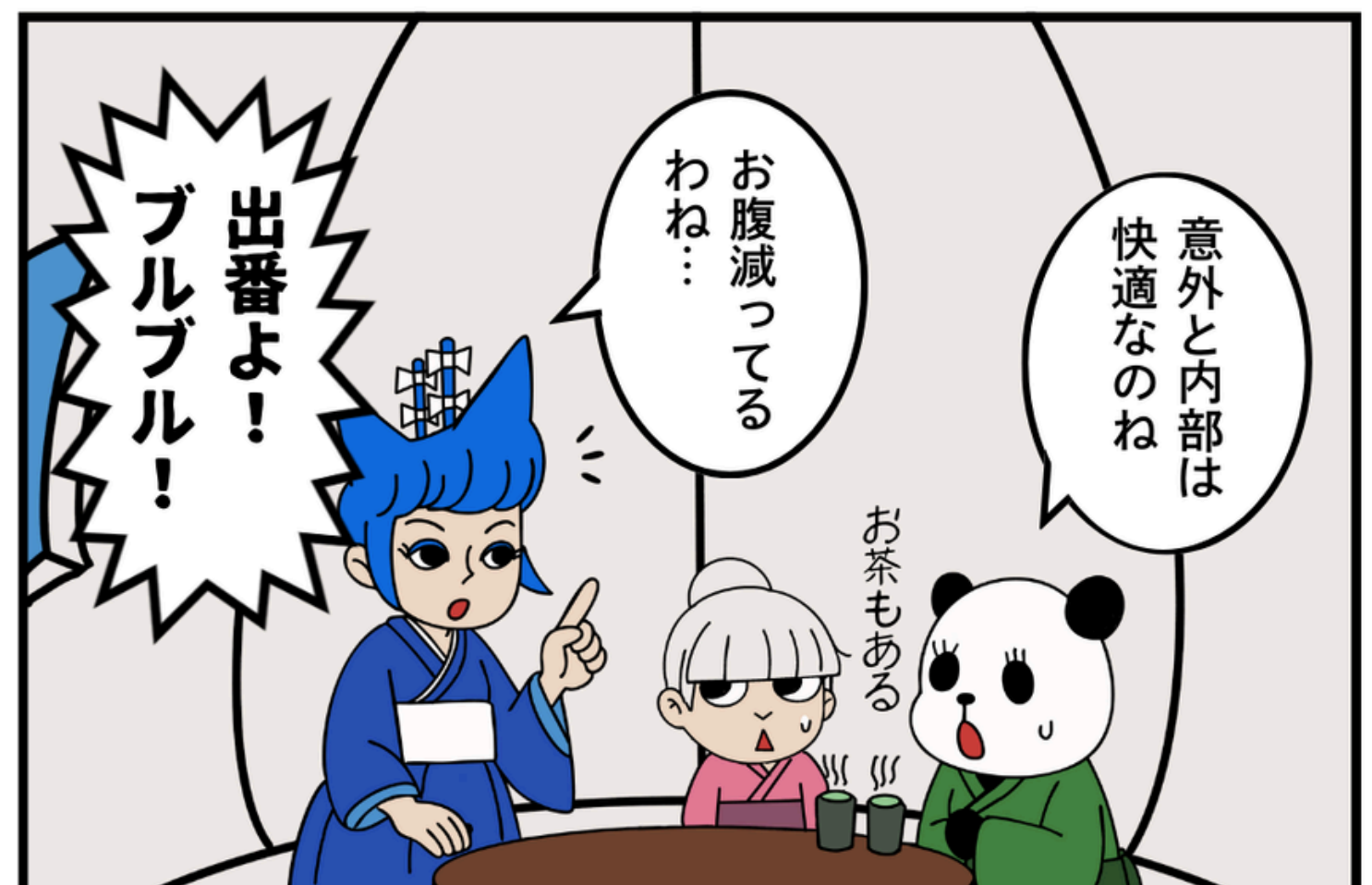
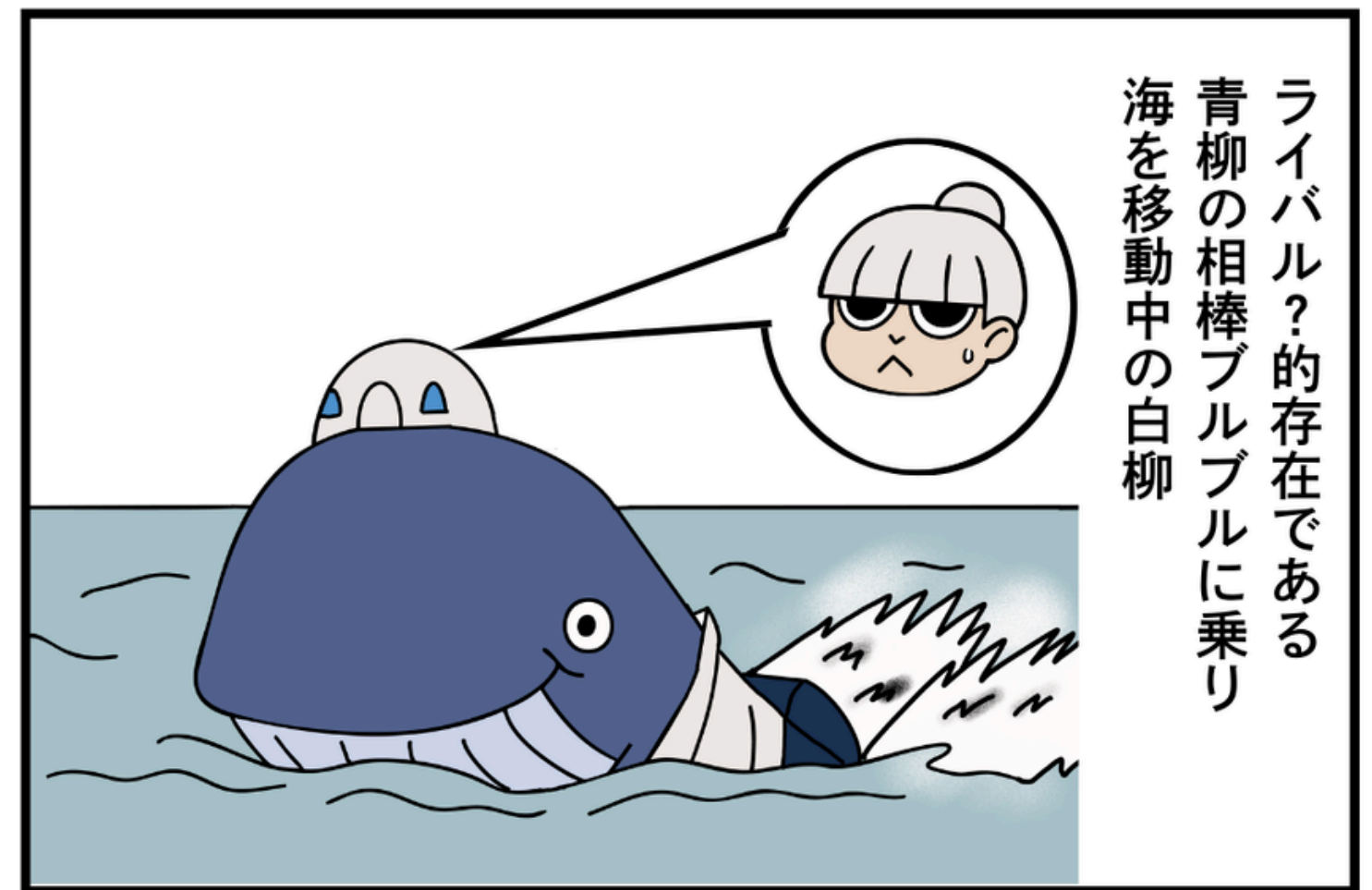
まあ、あくまでもシェルターは帽子であって、別にクジラの表面は傷つけてないという設定なのでご安心ください (笑)

ラッコは貝殻を自らの手で割るイメージがあるけど、実際は手で貝殻を持って叩いてから中身を出しているのよ

～ゲスト・玄奘三蔵～



～ゲスト・青柳（あおやなぎ）～ 第3回



ちなみに、三蔵とは名前のように、仏教の教えを深く理解した僧に対し与えられる尊称であって、名前は「玄奘」なのよ。

ちなみに、シロナガスクジラの好物はオキアミだから、なんとなくブルブルの好みで決められたっぽいね（笑）

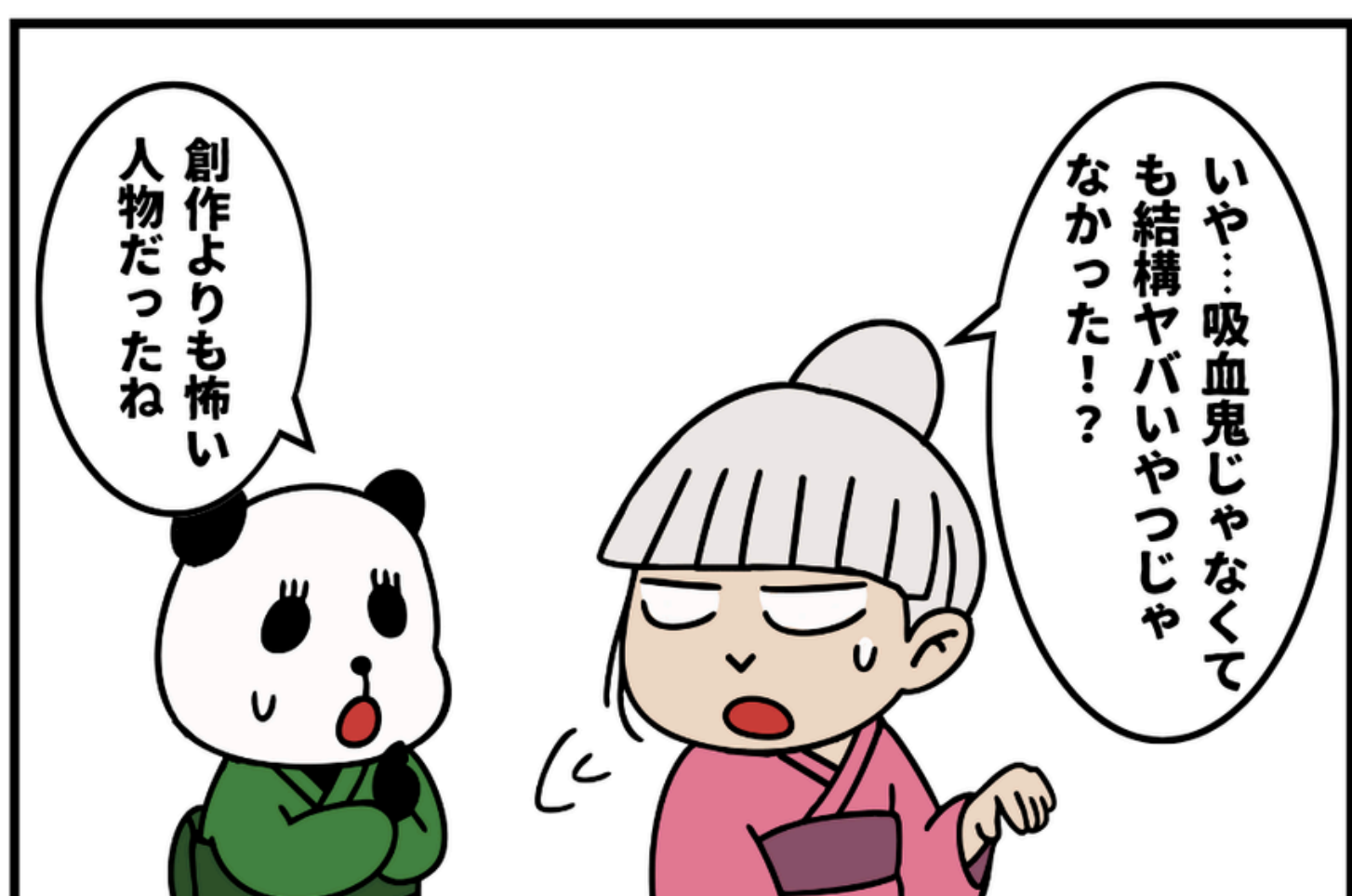
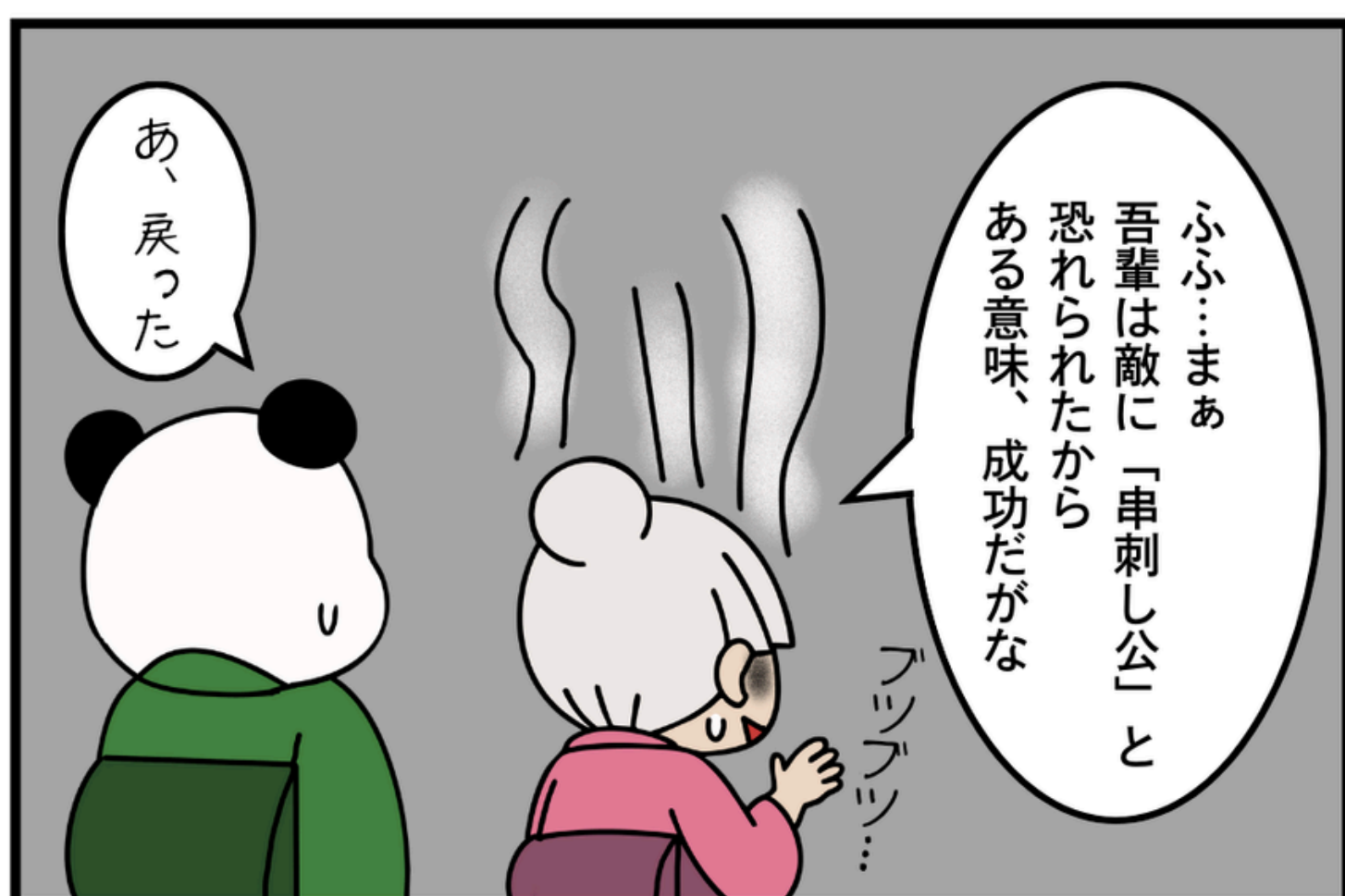
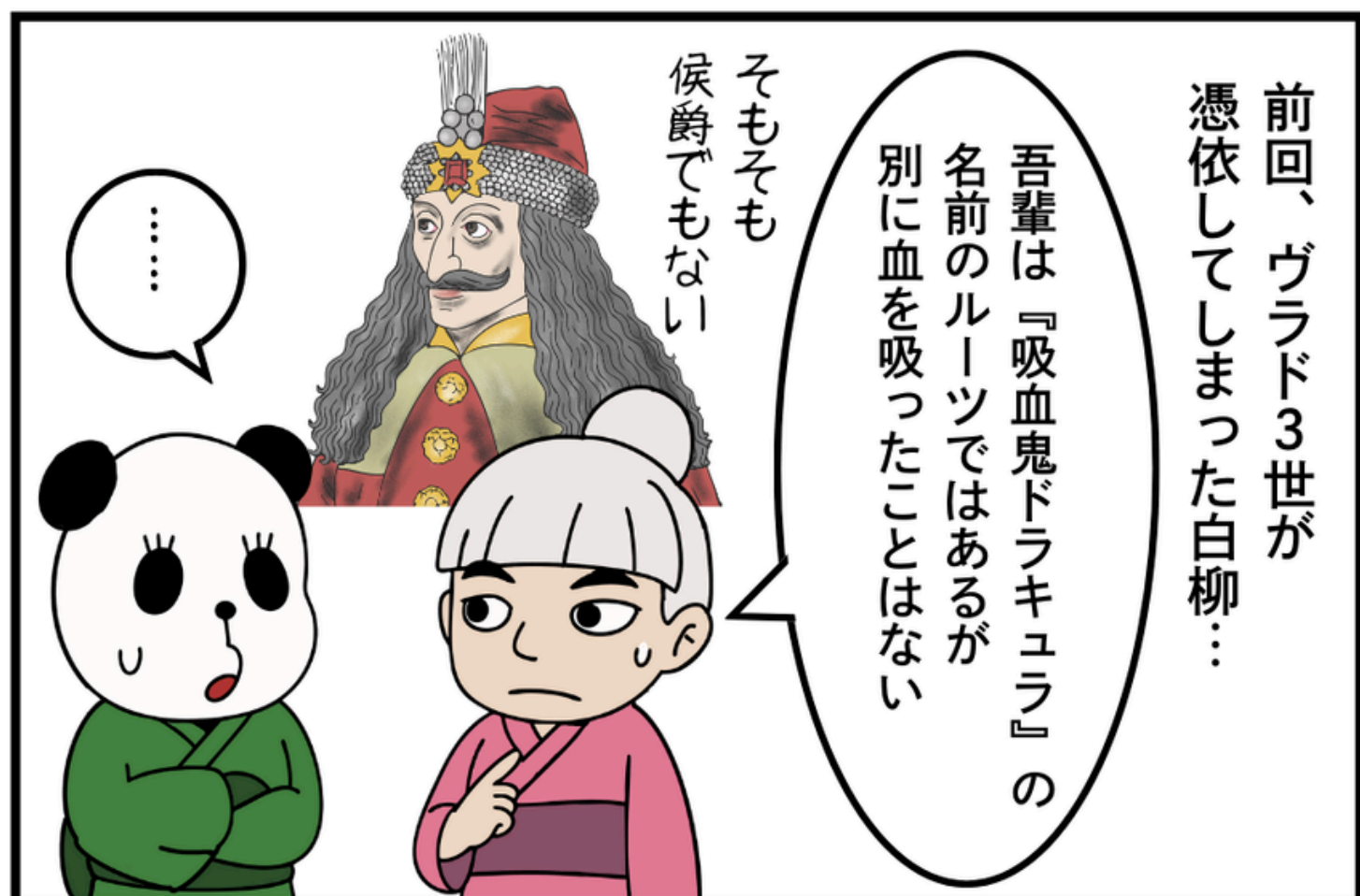
第3章

～やばい奴らだらけ～

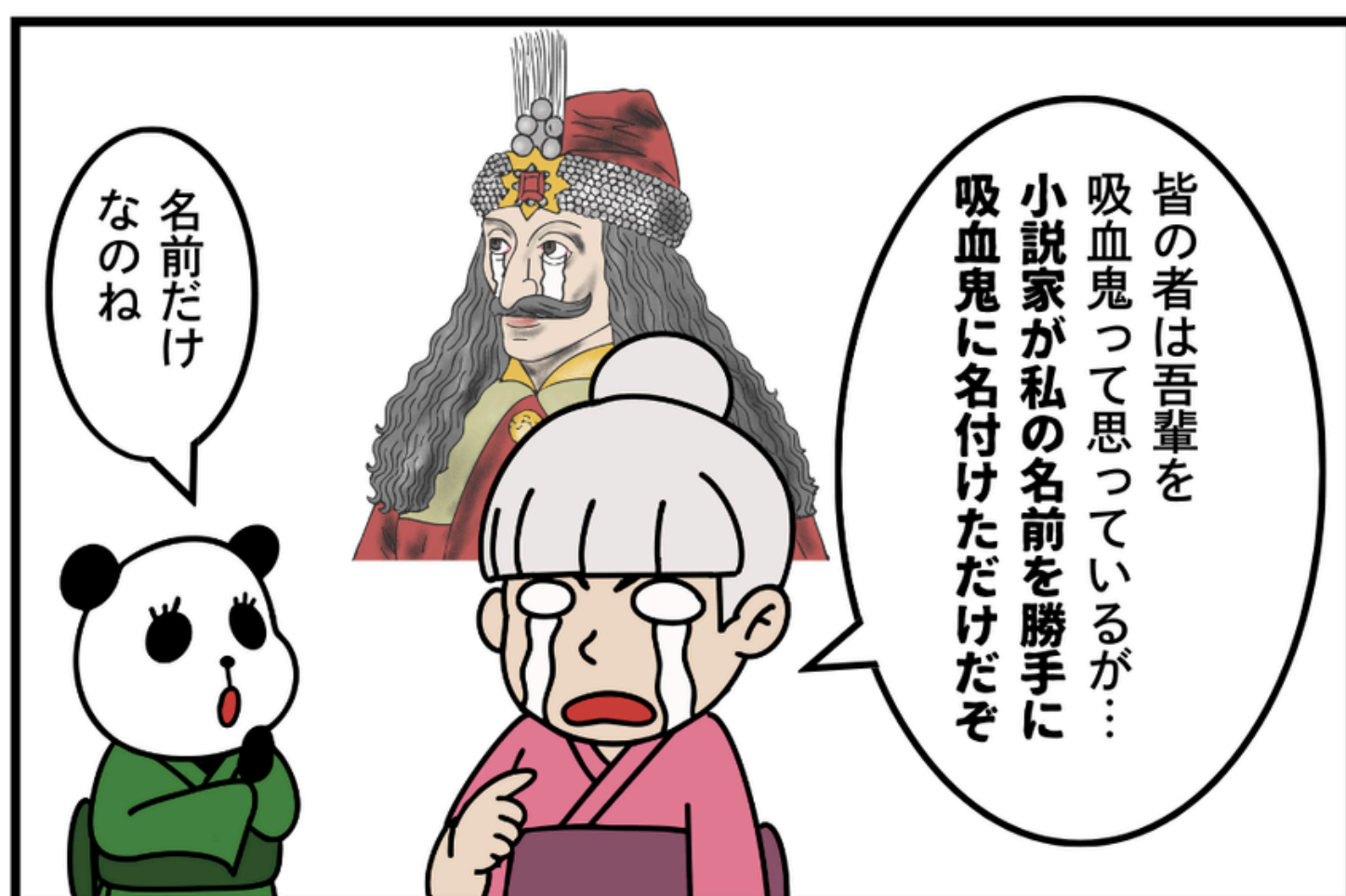
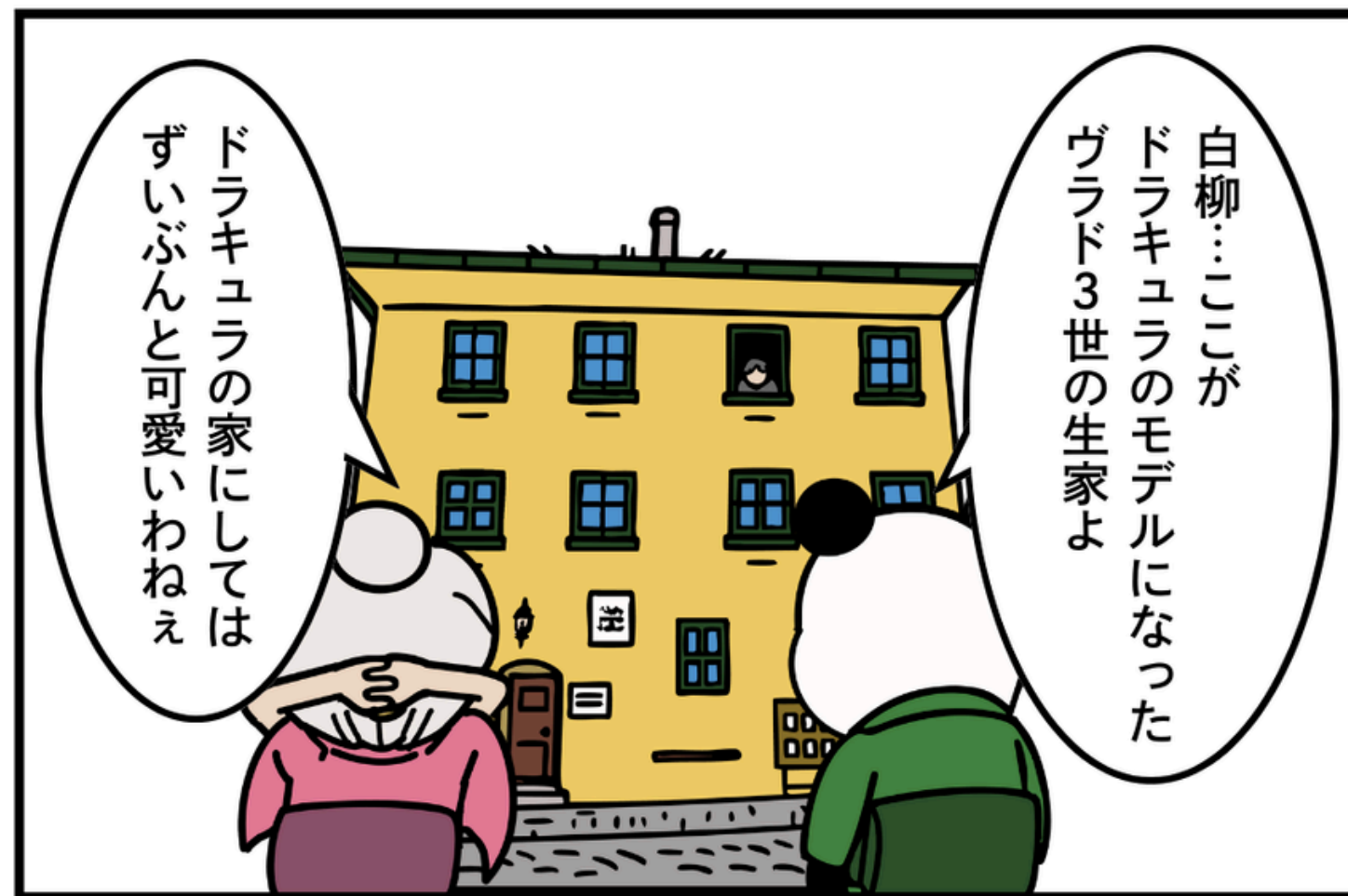
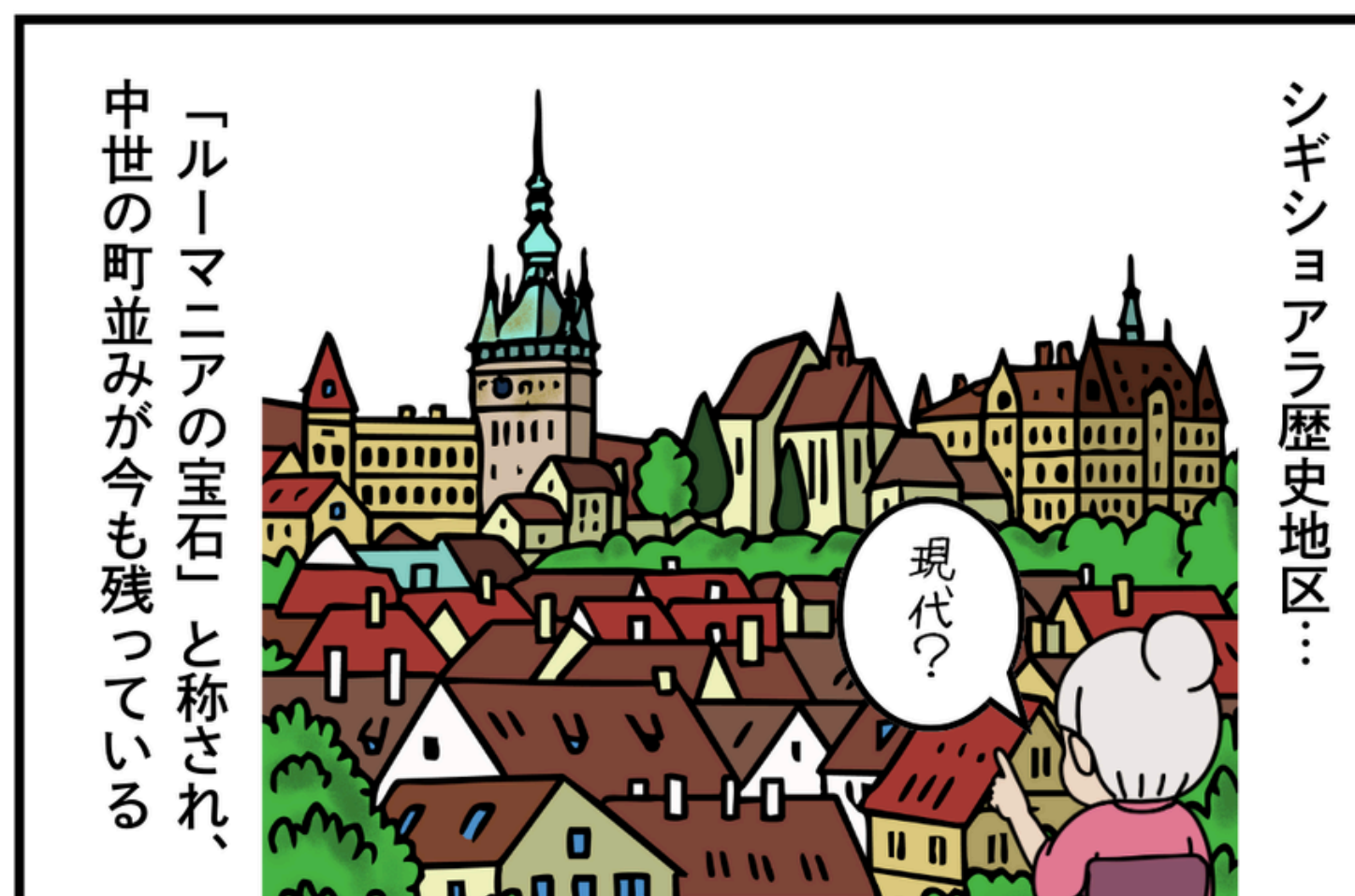
う
ふ
ふ
ふ
ふ



～ゲスト・ドラキュラのモデルになった人～ 第2回



～ゲスト・ドラキュラのモデルになった人～ 第1回

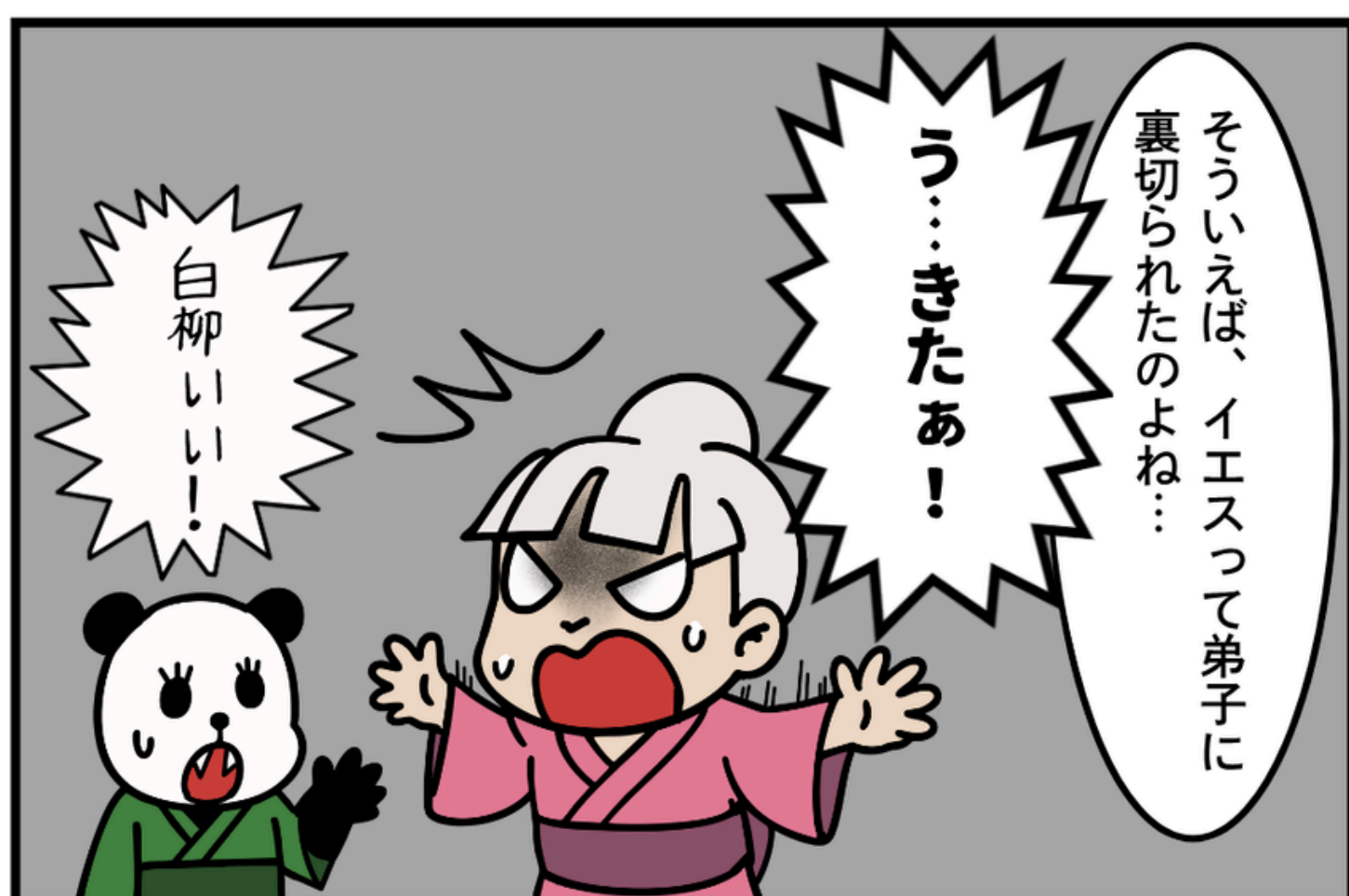
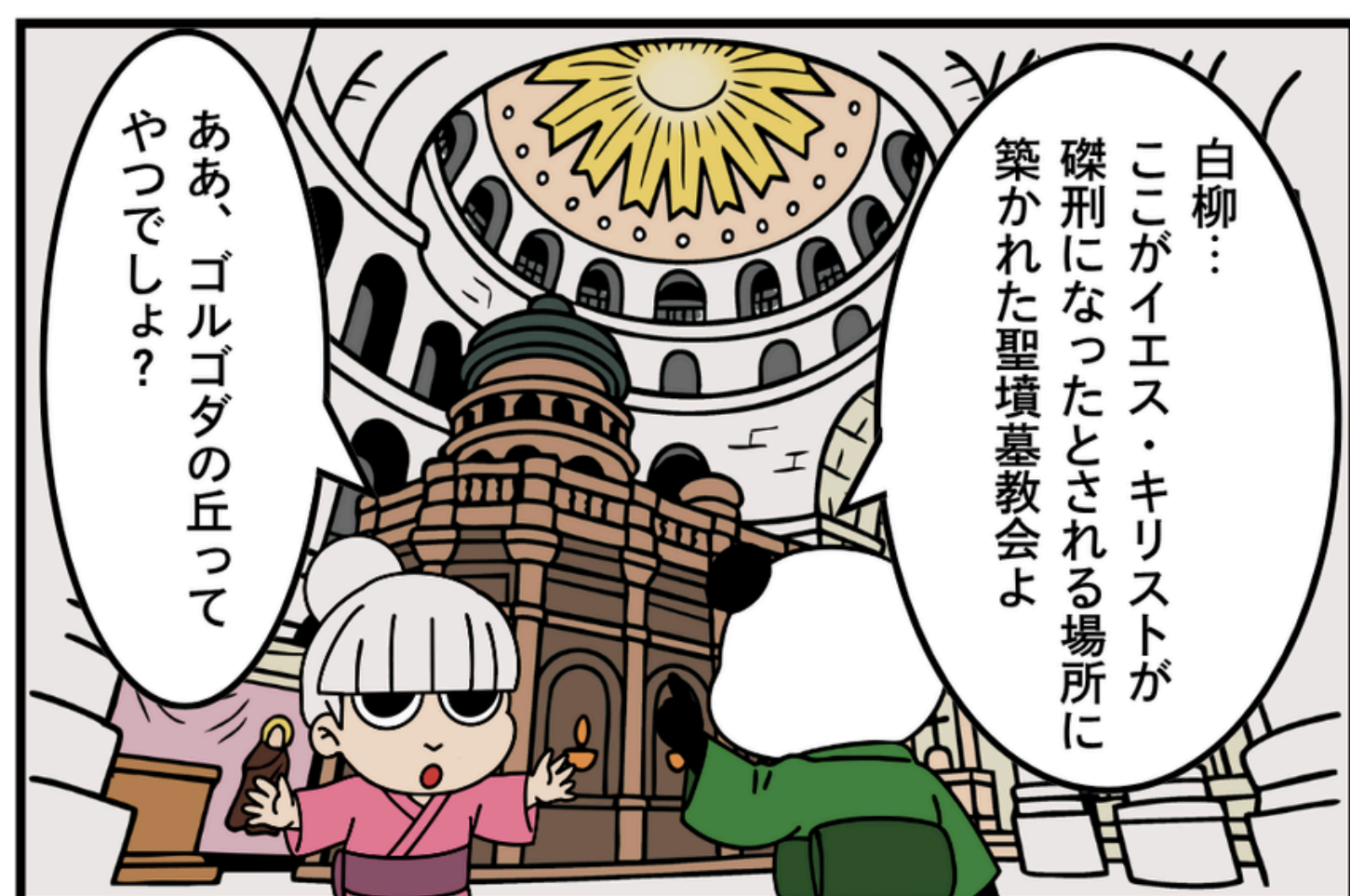
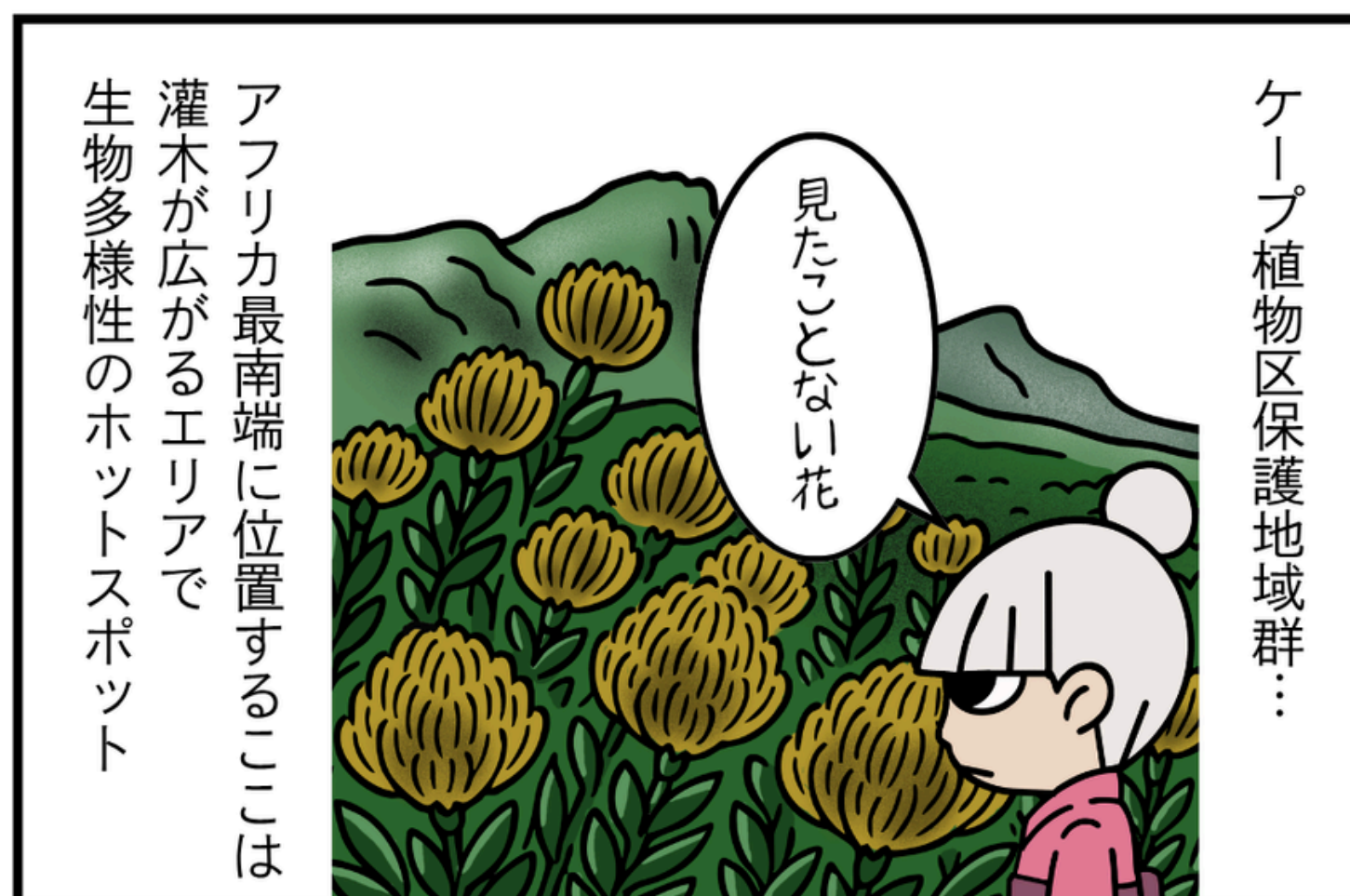
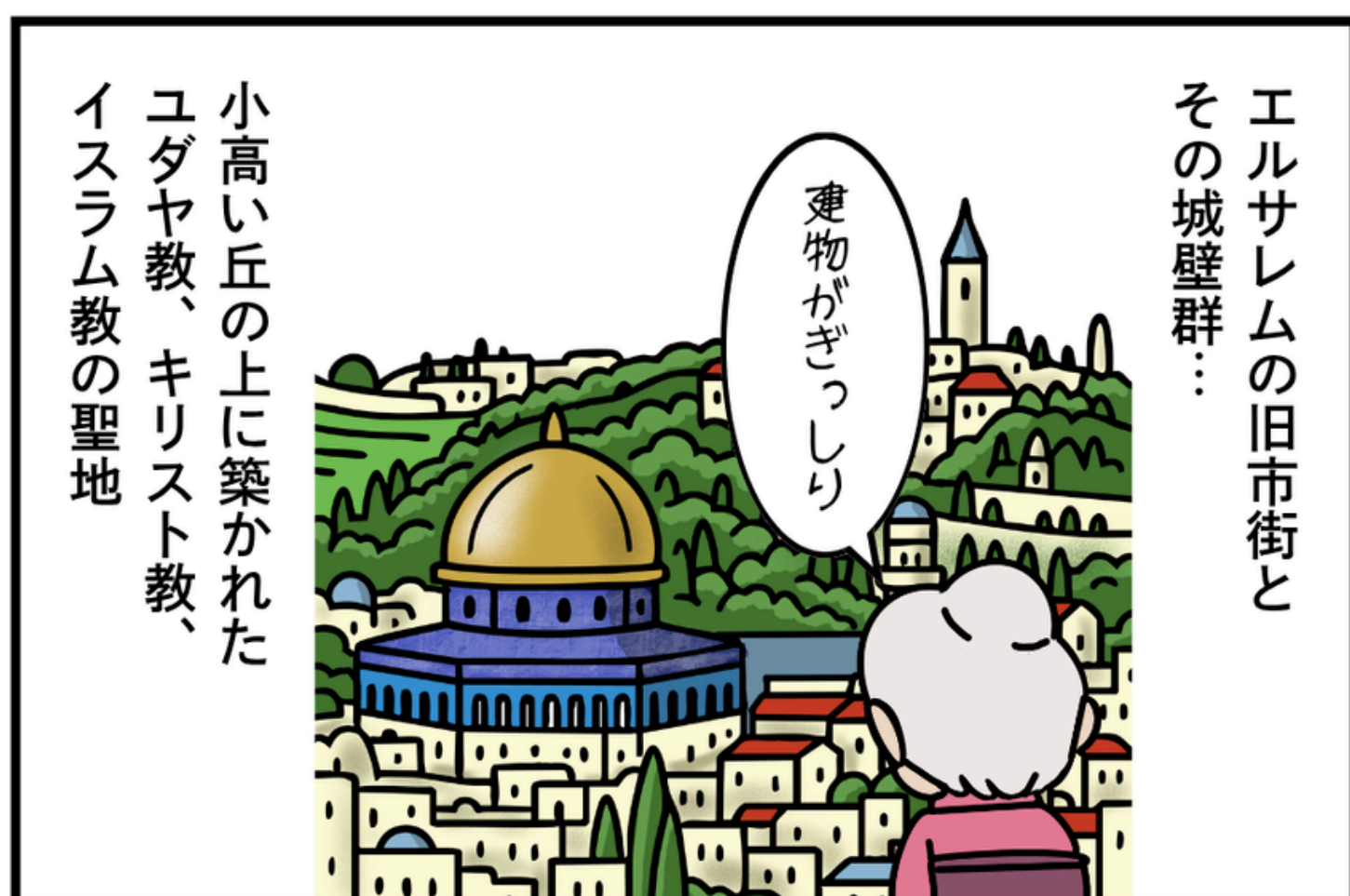


恐ろしい人物に思えるけど、ヴラドが生きた時代のワラキア（現在のルーマニア南部）は小国で、敵勢力の侵略から守った人物として、近年では英雄扱いもされているのよ

彼のお父さん・ヴラド2世がドラクル（ドラゴン公）と呼ばれたので、息子である彼はドラキュラ（ドラゴンの息子、小ドラゴン公）と呼ばれたのよ

～ゲスト・イエス・キリスト～

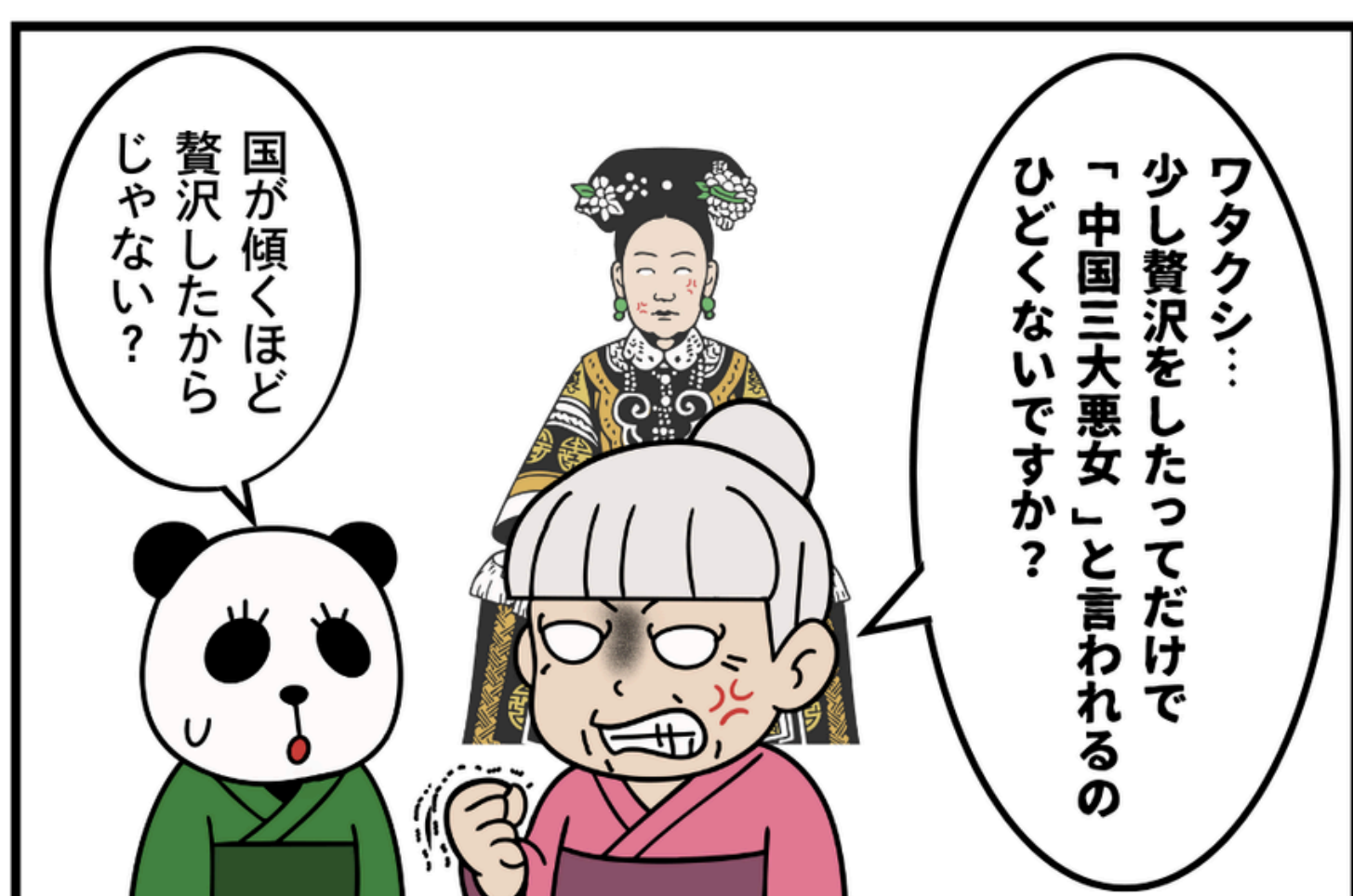
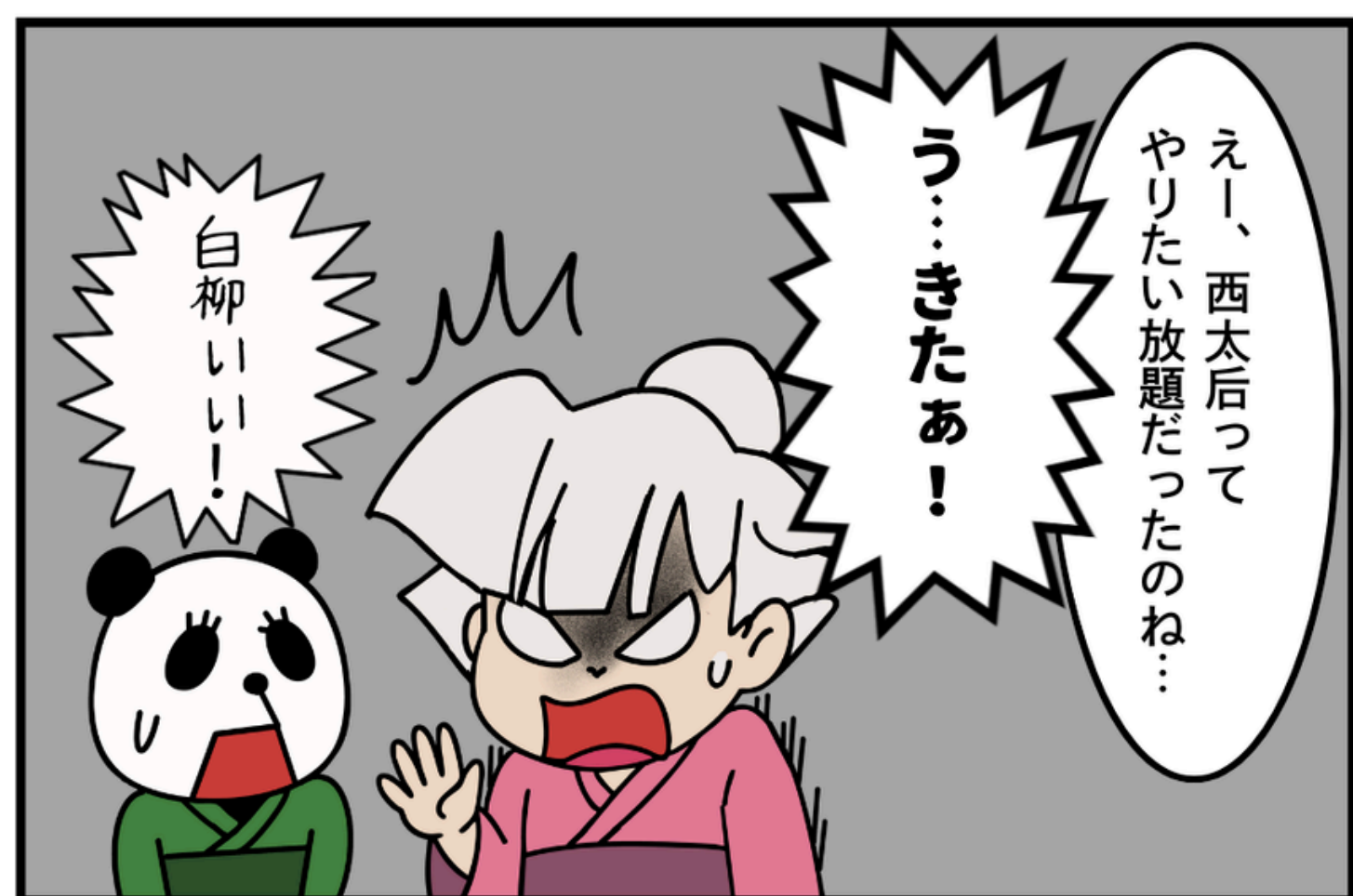
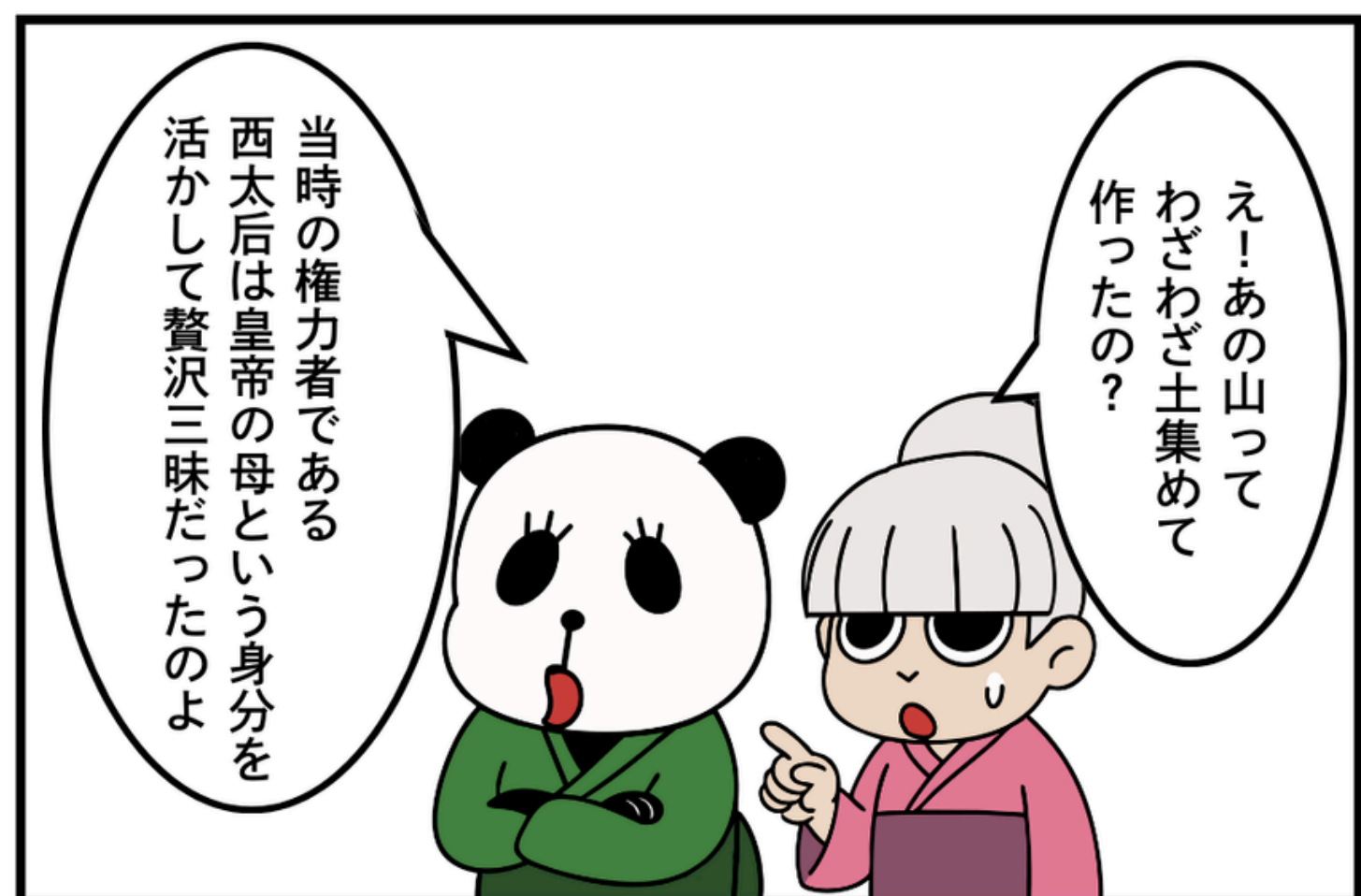
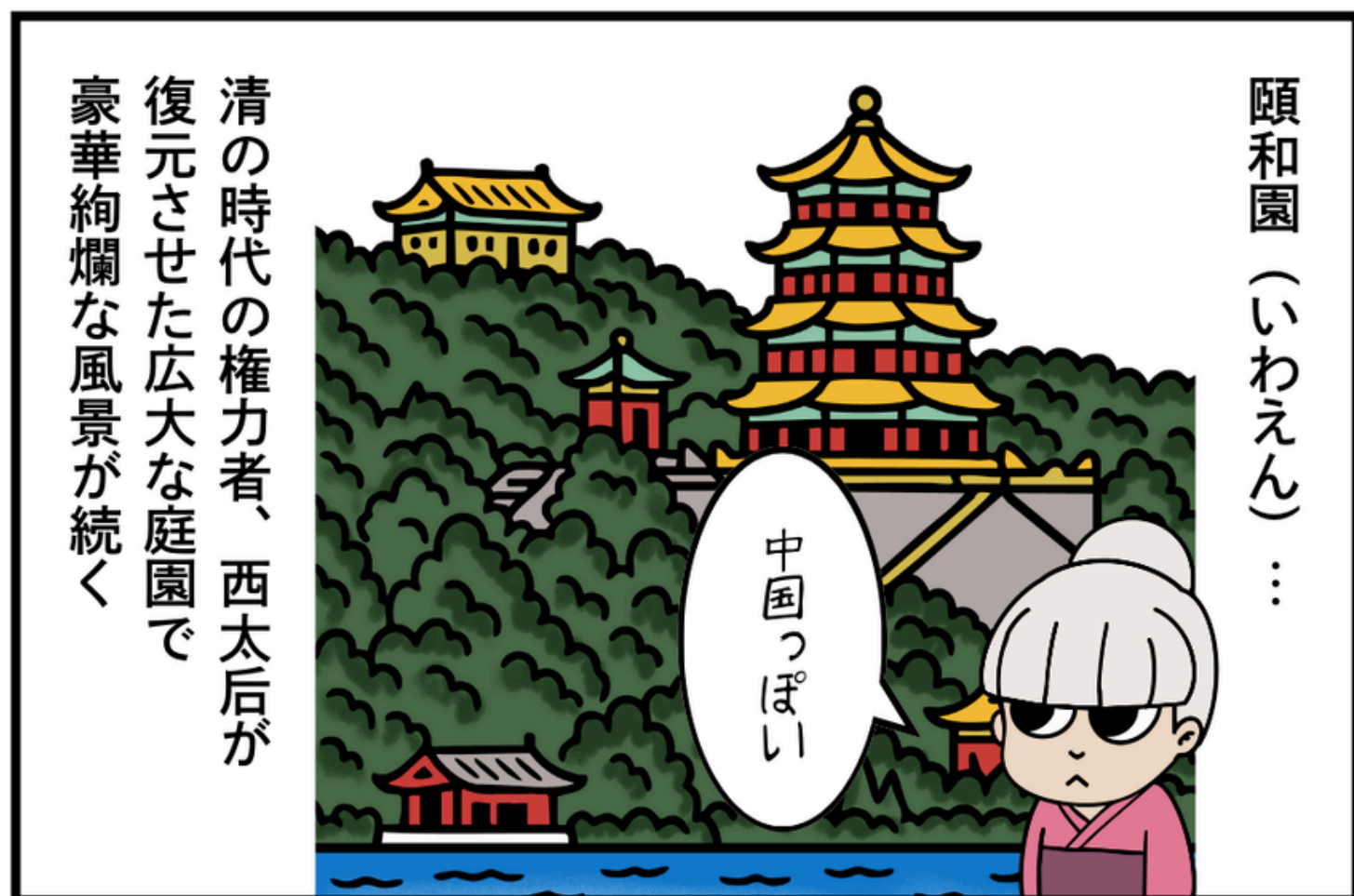
～ゲスト・ケープ・ペンギン～



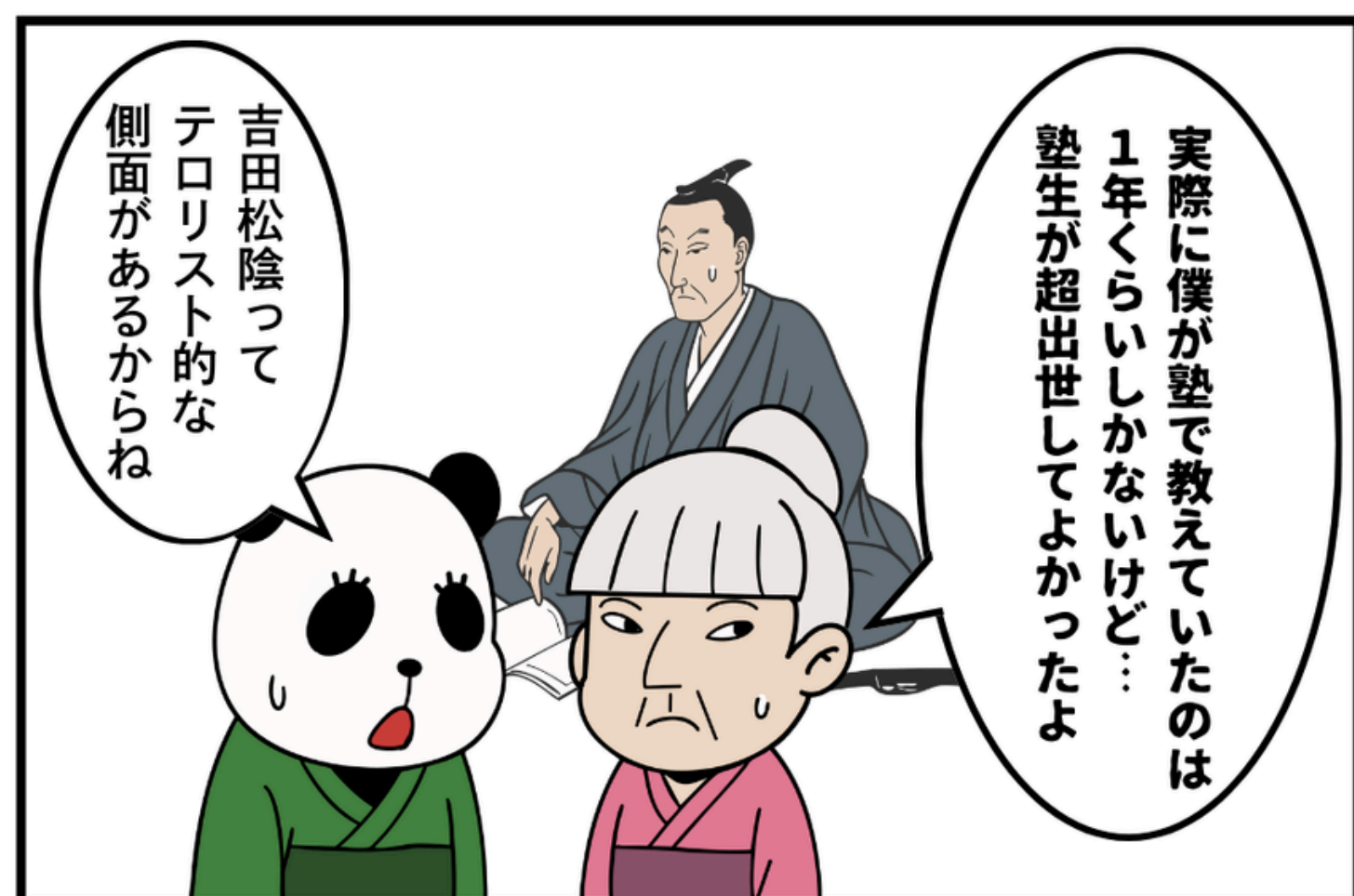
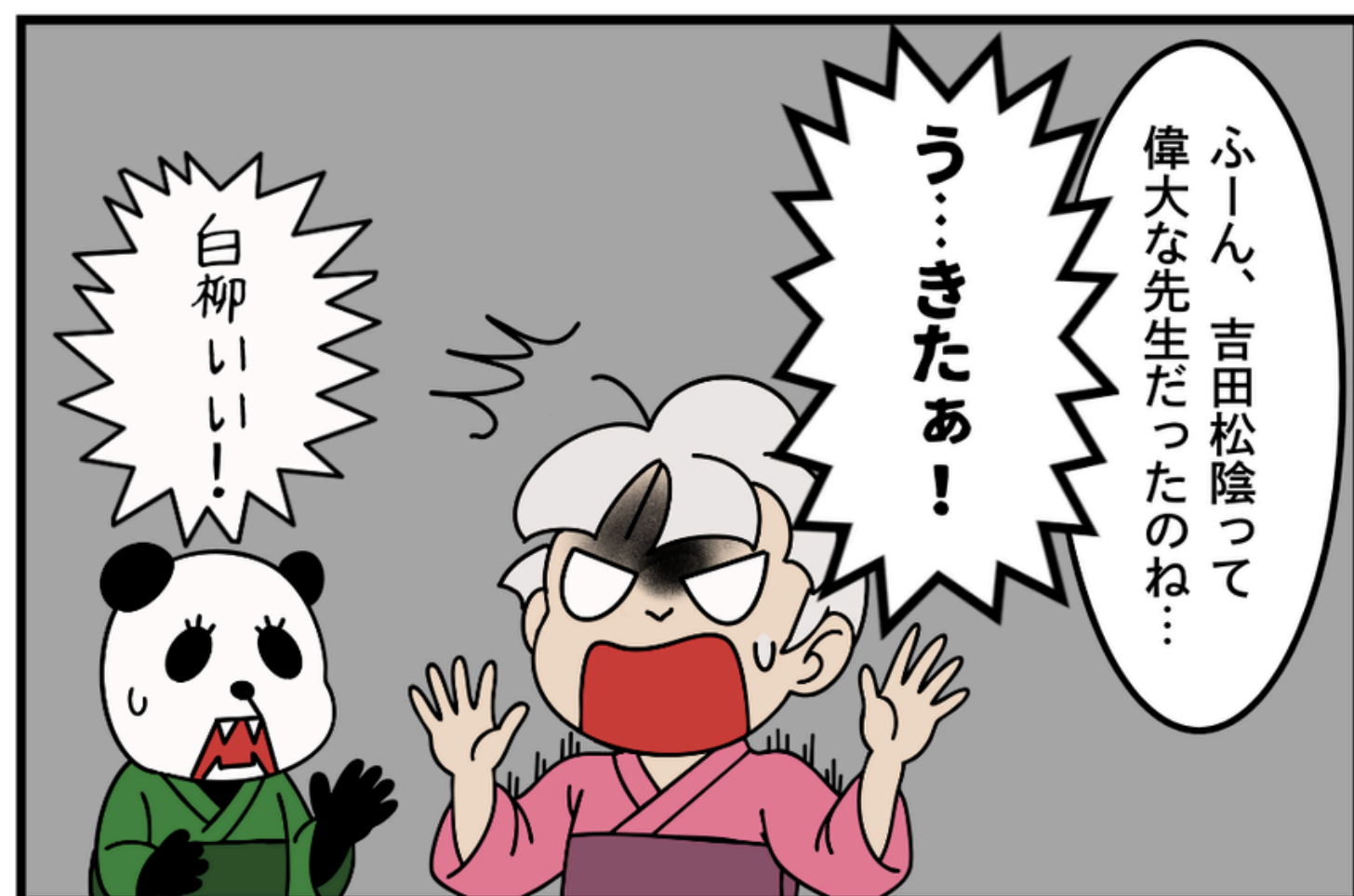
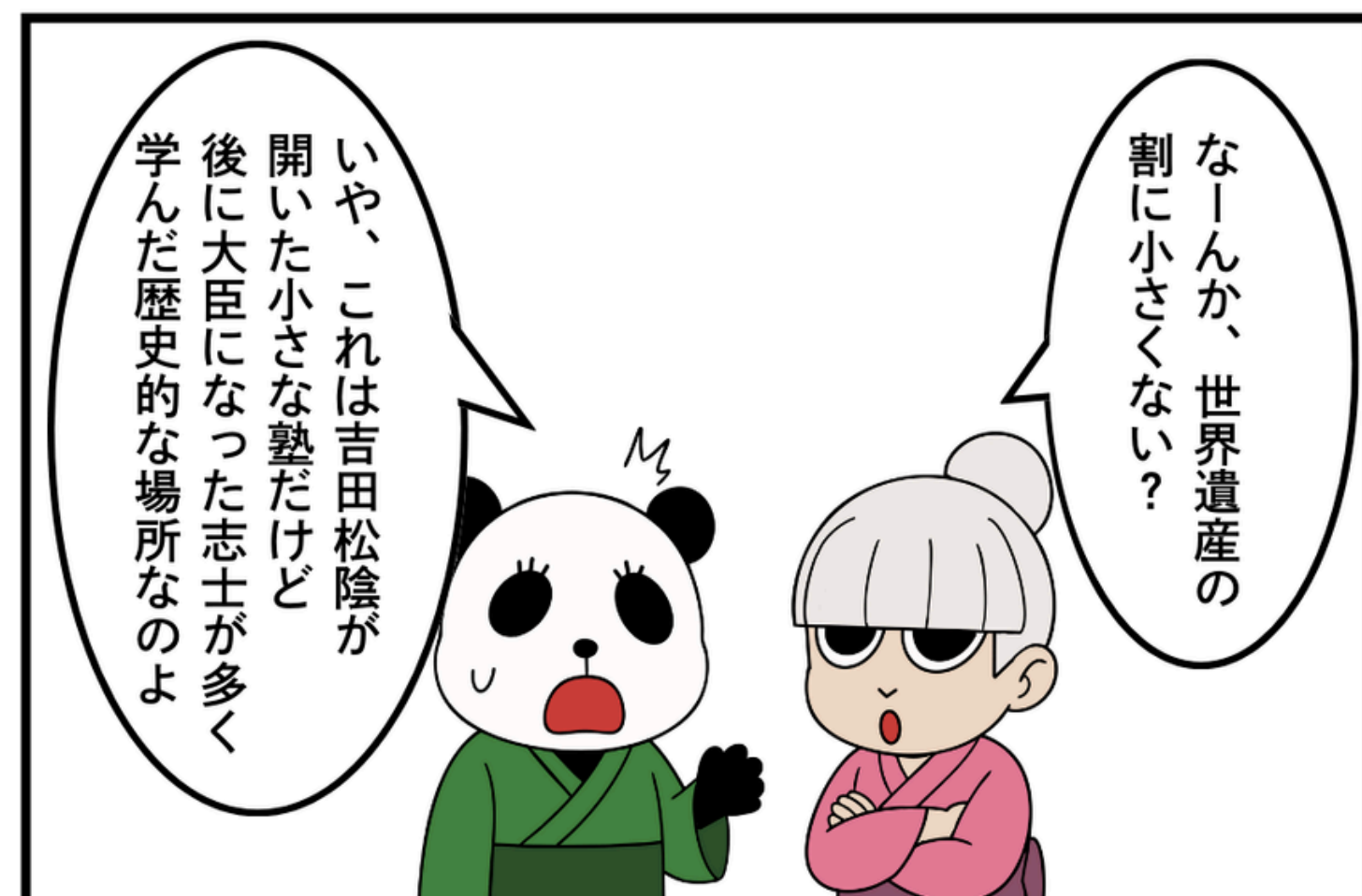
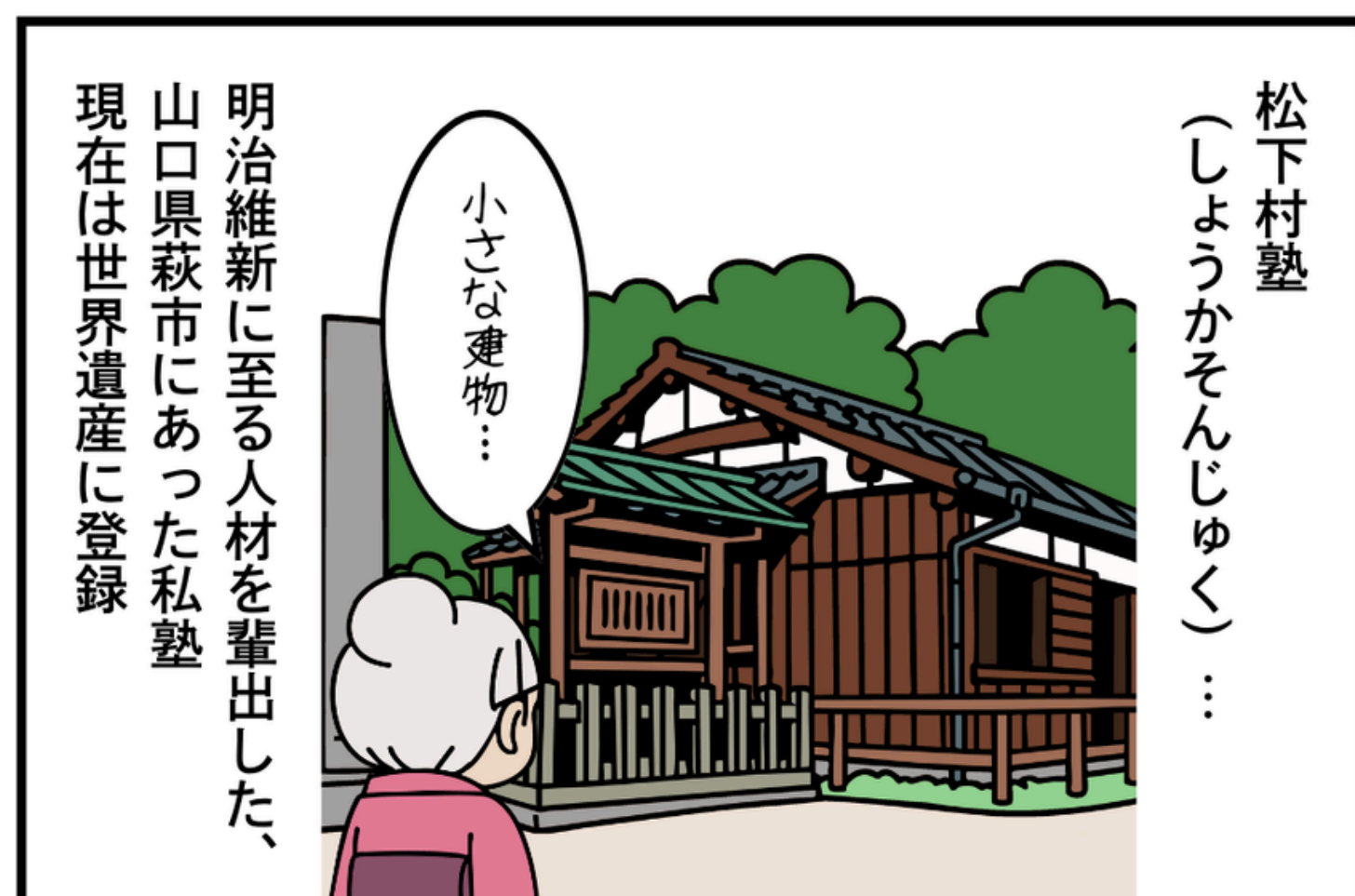
ちなみに、福音書によって内容は異なるけど、なぜか弟子たちは祈りの途中で寝てしまい、イエスがキレてしまうという場面も…彼の弟子たちはけっこう不真面目？（笑）

ペンギンは南極に暮らしているイメージだけど、オーストラリア大陸や南米など、南極に近いエリアなら生息しているのよ

～ゲスト・西太后～



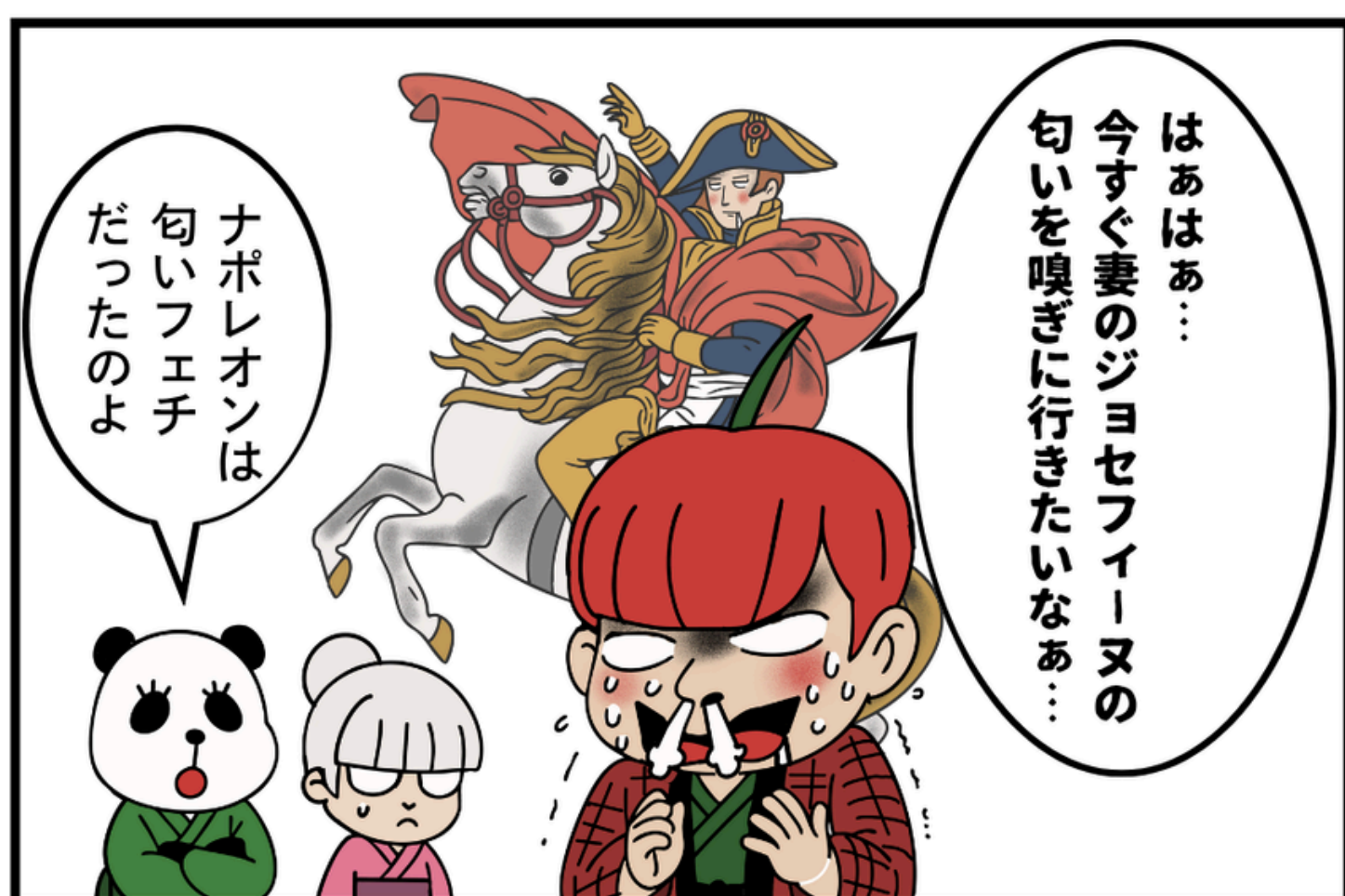
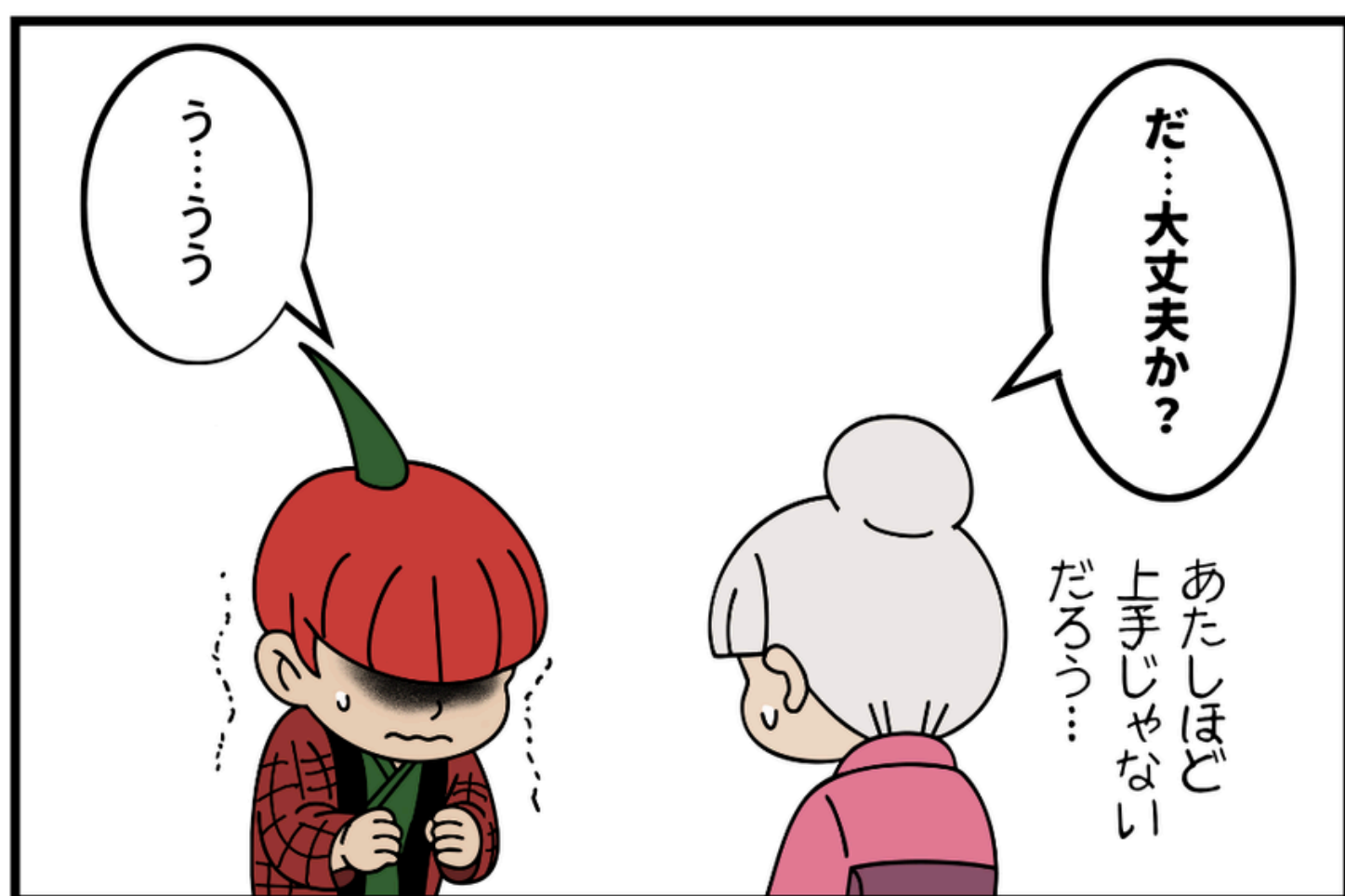
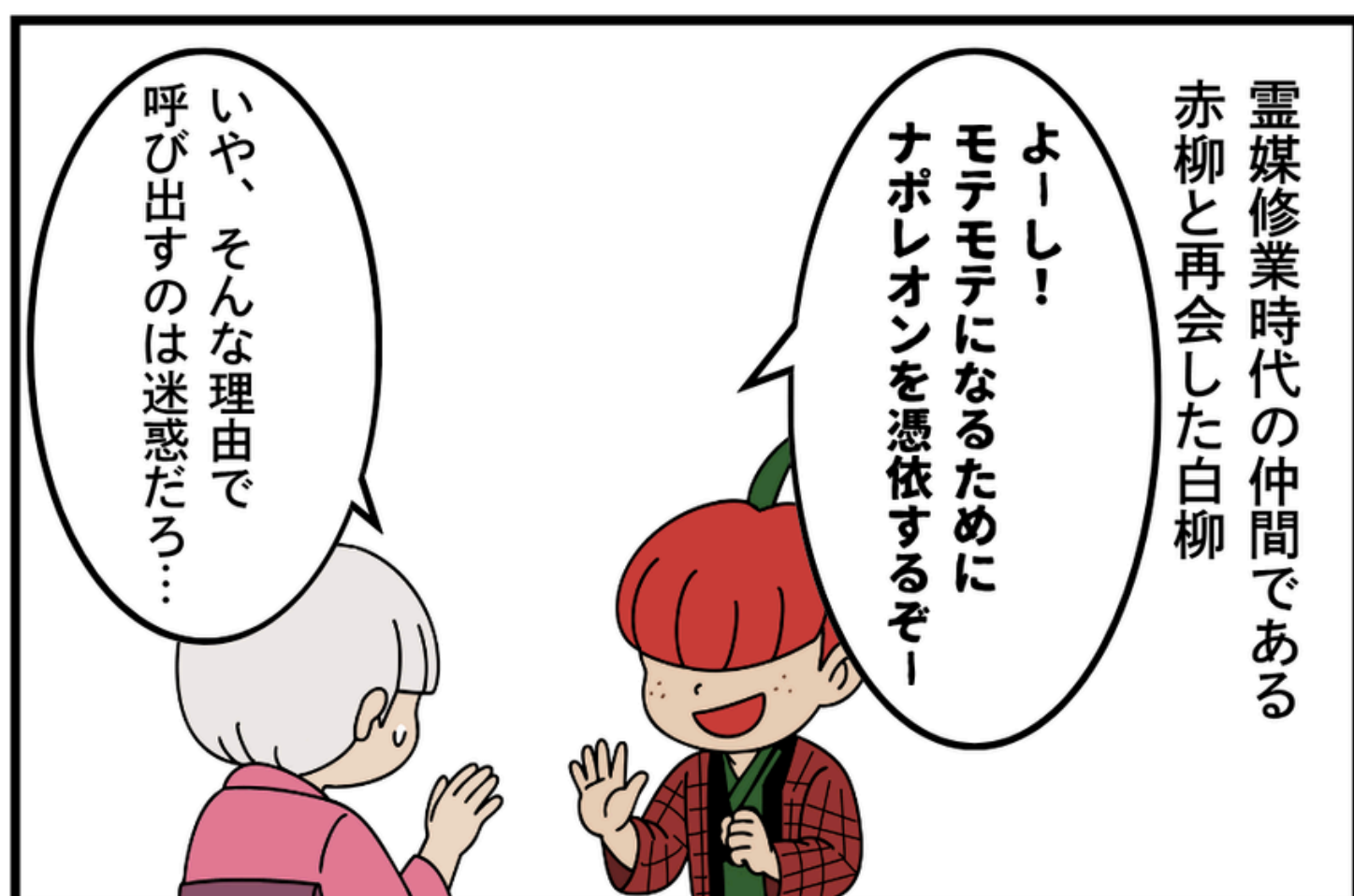
～ゲスト・吉田松陰～



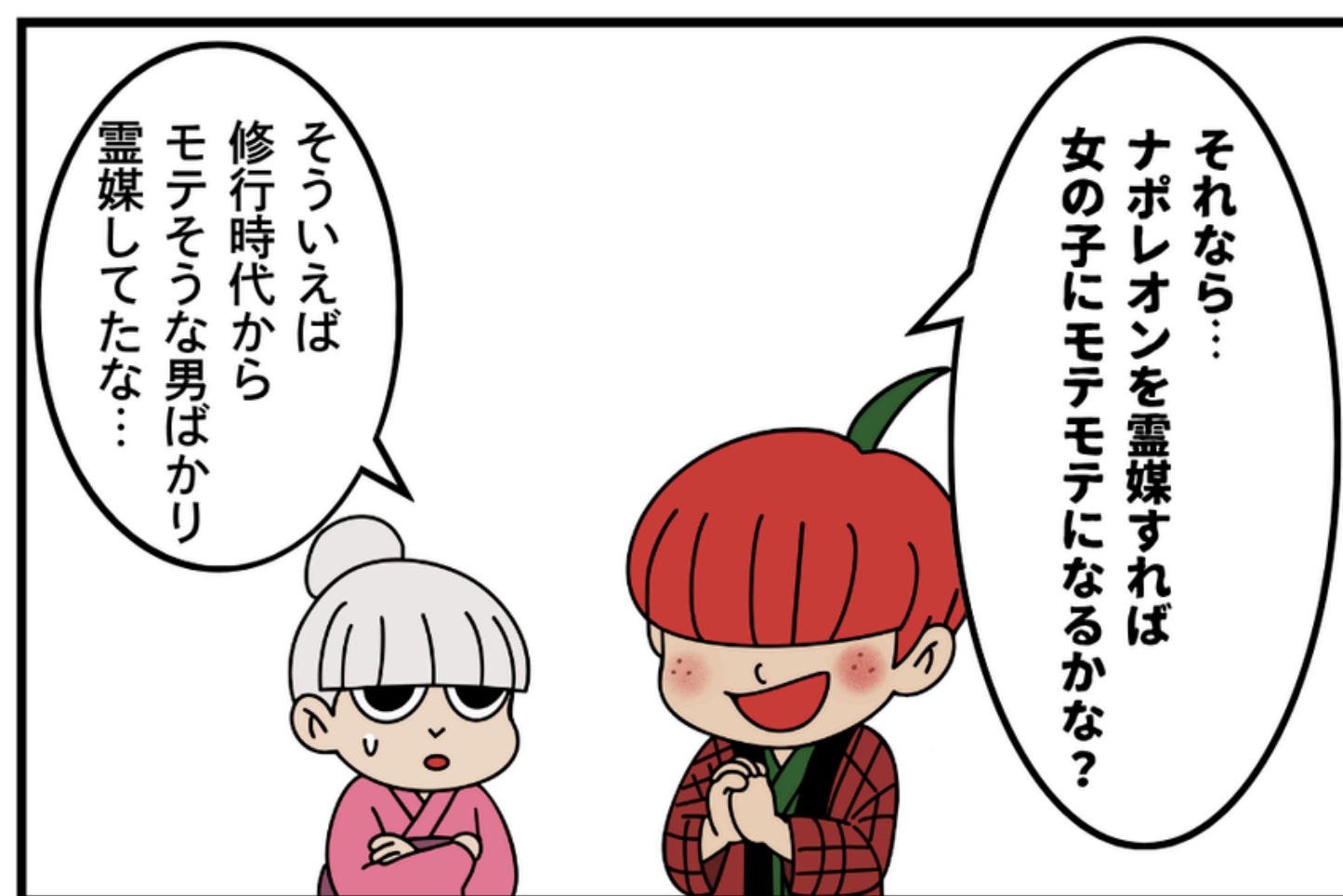
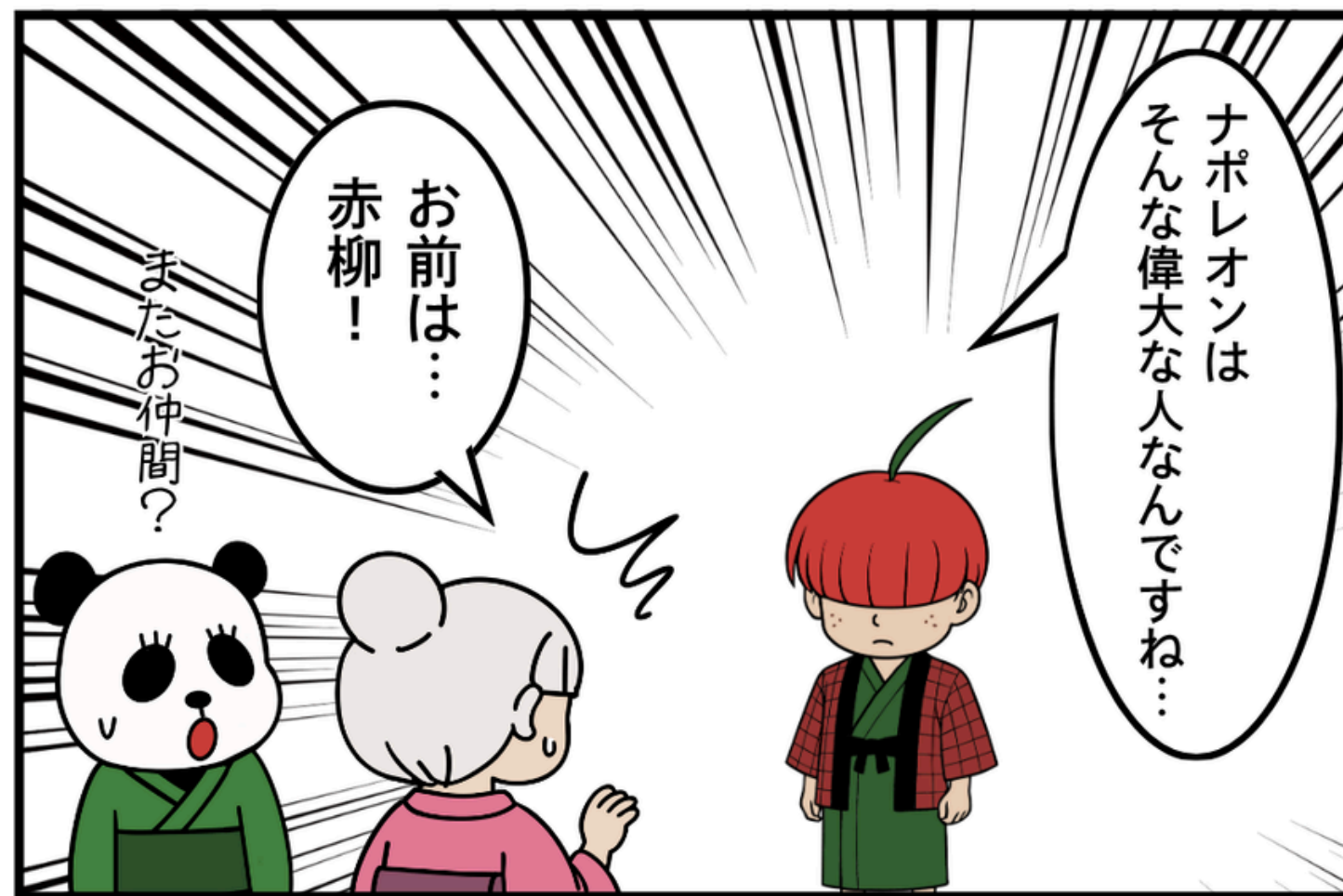
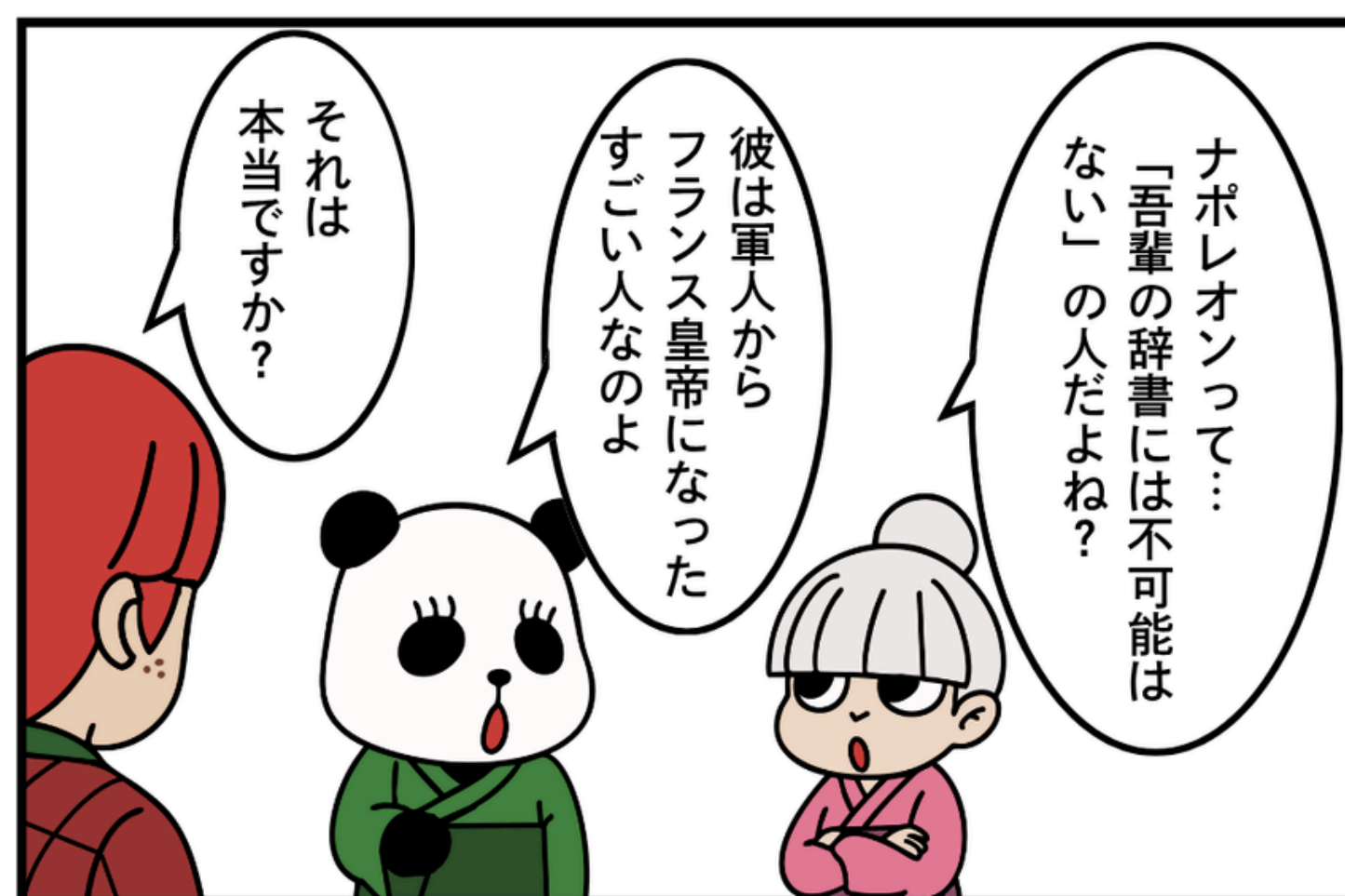
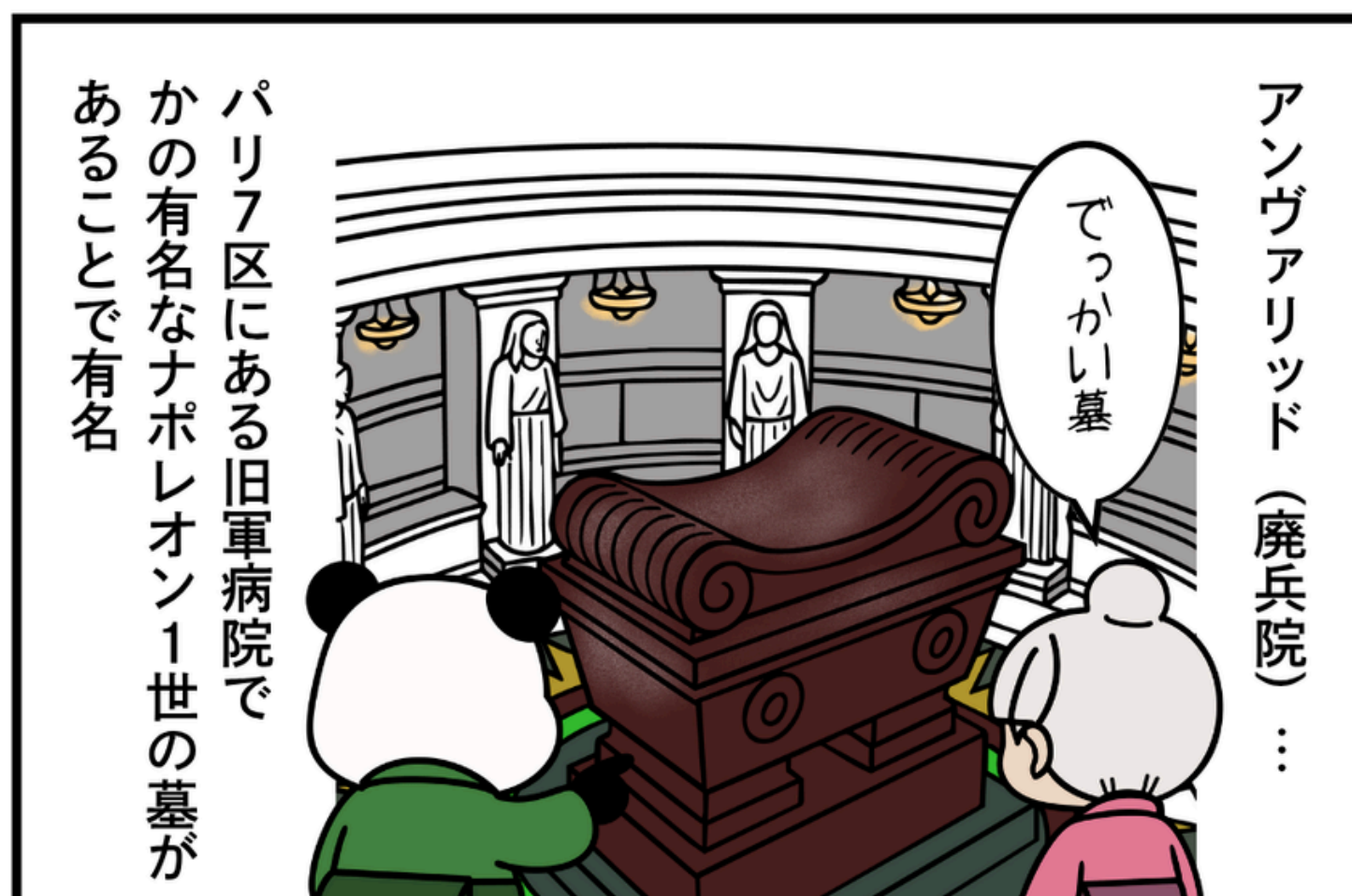
ちなみに、颐和園の再建の費用は日清戦争の費用の約3倍もあったとされ、中国の近代化を阻害した人物であることから「悪女」なのよ。

ちなみに、先生のイメージの強い松陰だけど、教え始めたのが1857年であって、1858年に投獄されてしまったから「先生をしていた期間」って短いよね…

～ゲスト・赤柳（あかやなぎ）～ 第2回



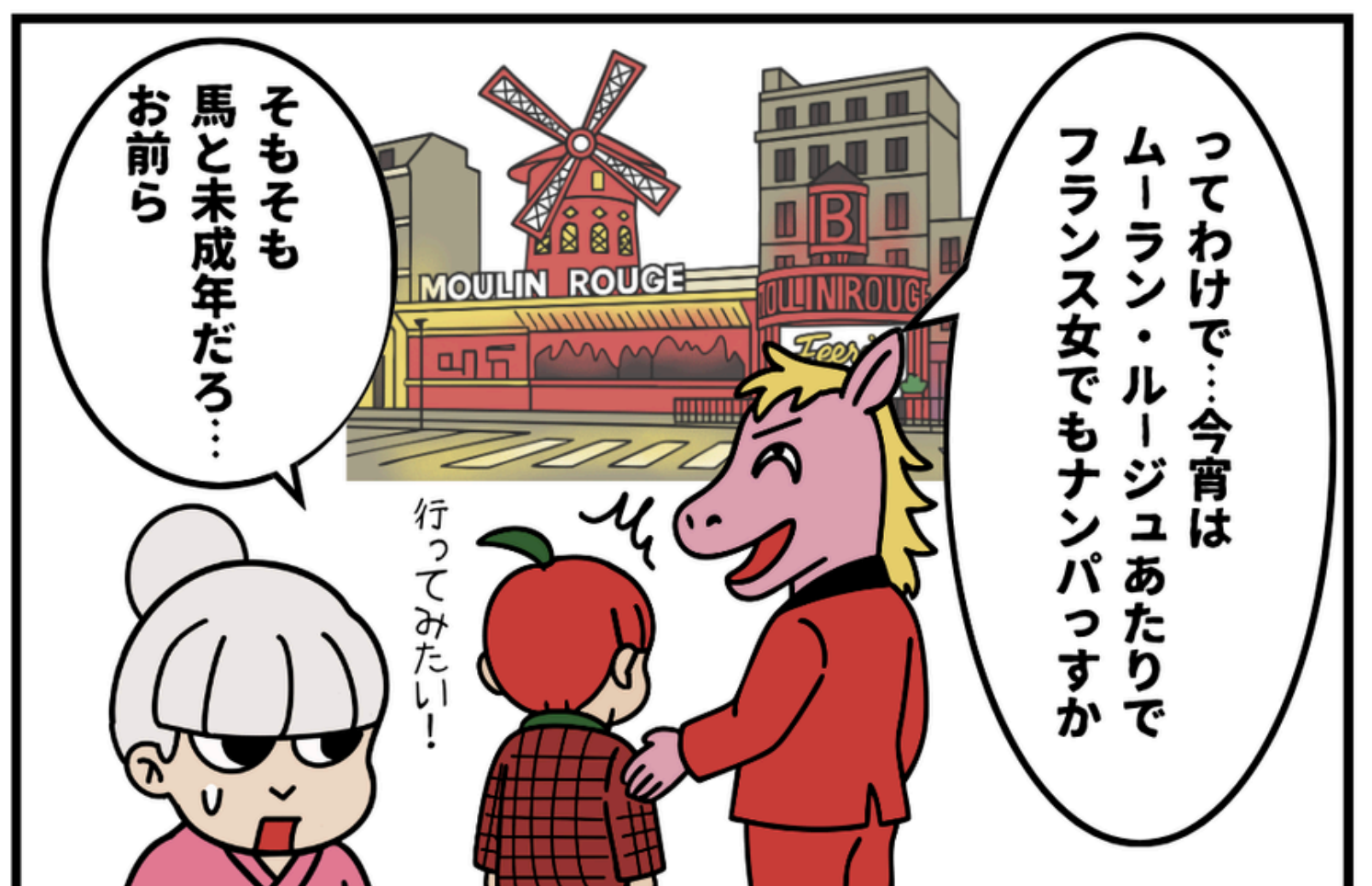
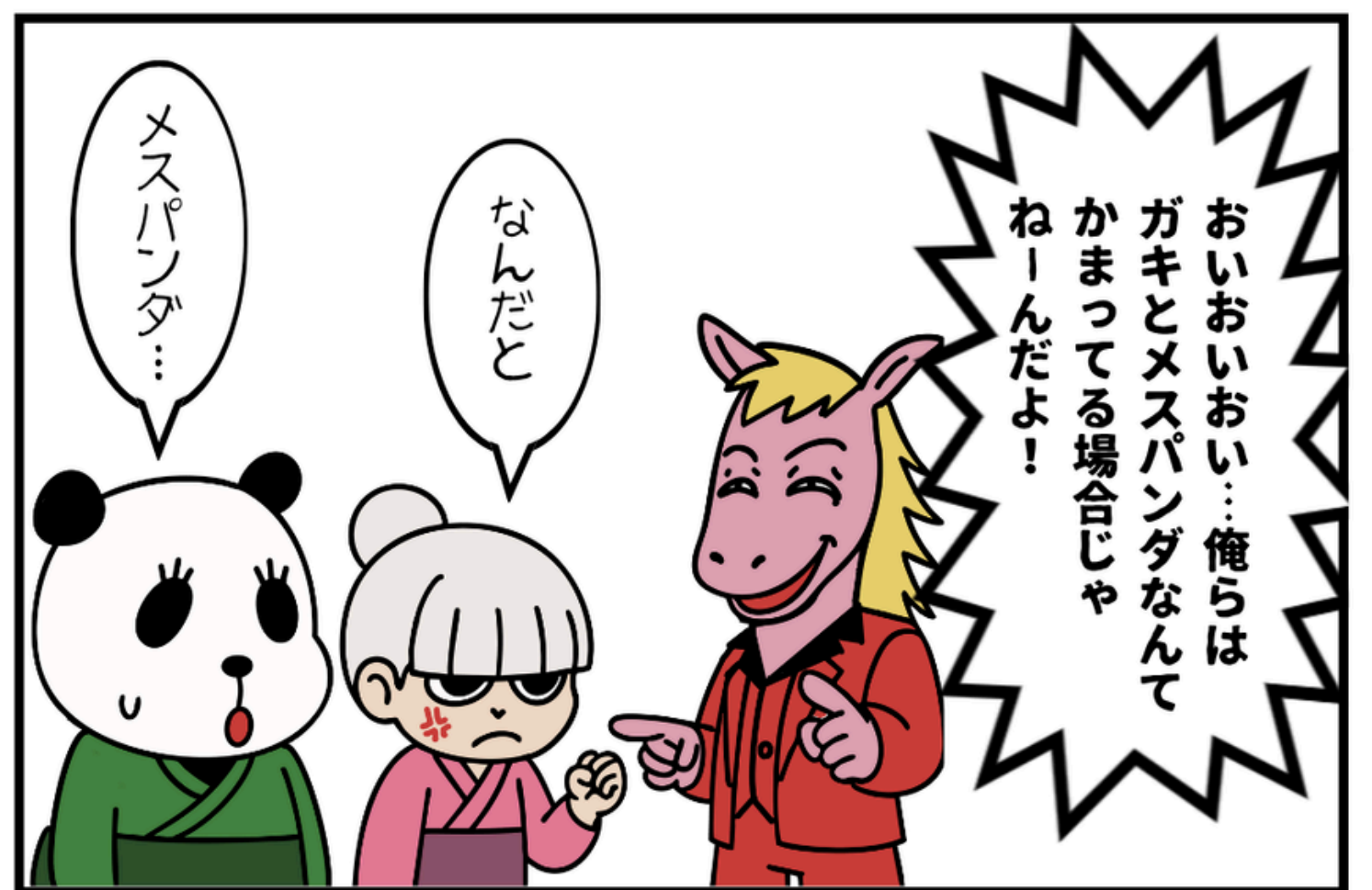
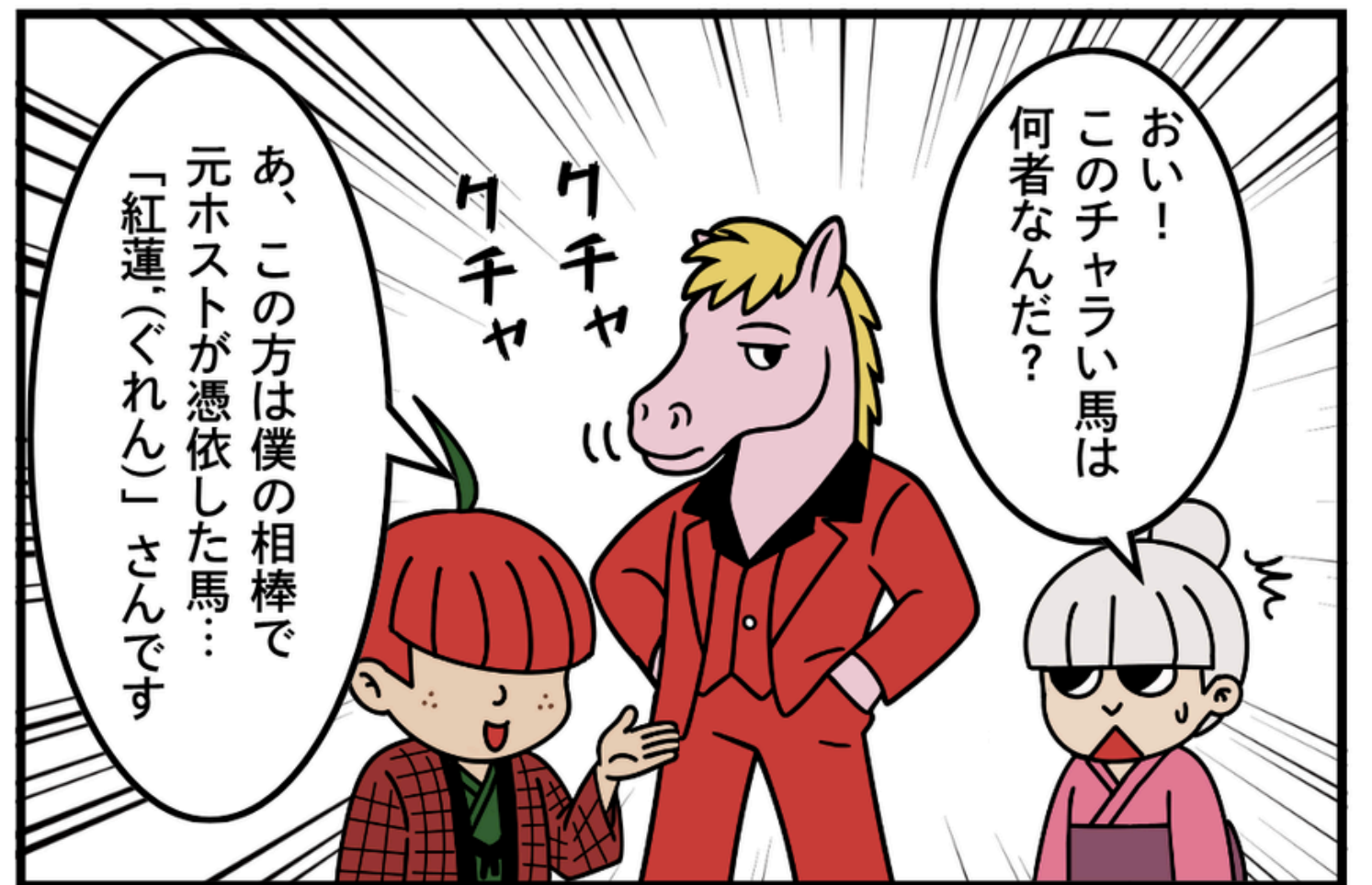
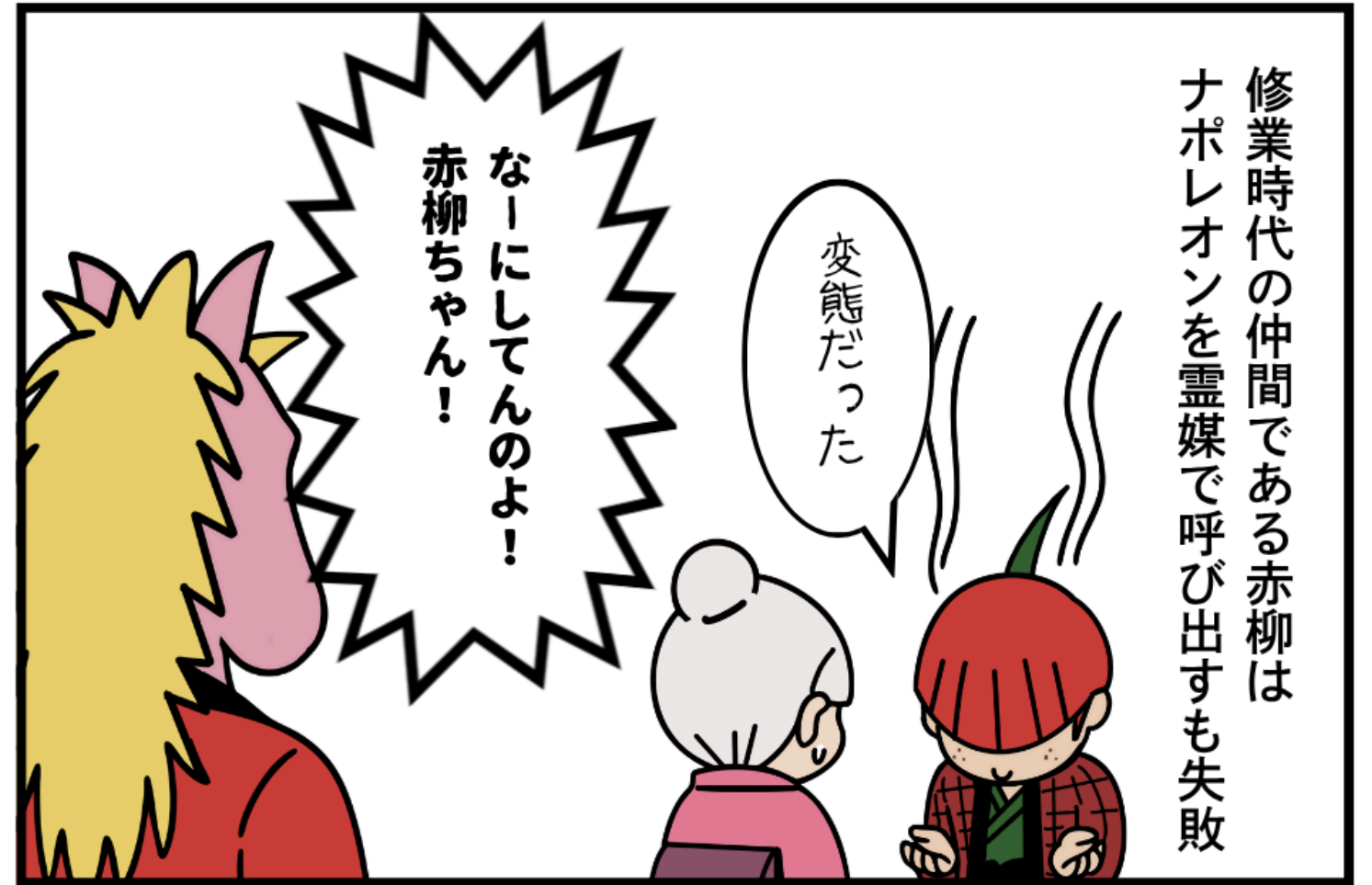
～ゲスト・赤柳（あかやなぎ）～ 第1回



ナポレオンは匂いフェチ過ぎて、遠征から帰る際にジョセフィーヌに「お風呂に入らないように」といった手紙を送ったというほど（笑）

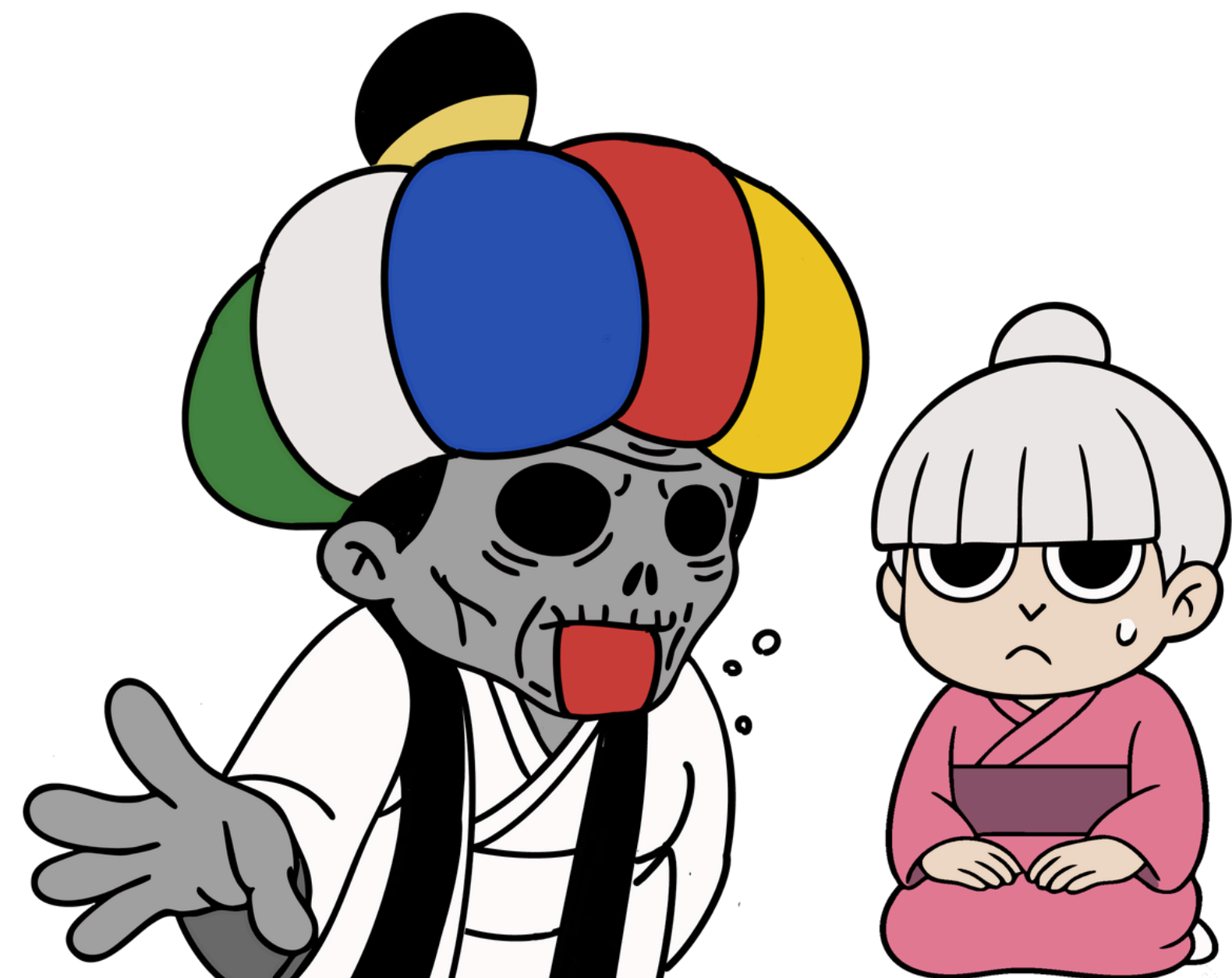
ちなみに、アンヴァリッドは地下墓所となっていて、ナポレオンの関係者だけでなく、歴代の軍人の墓地ともなっていて今では観光地になっているのよ

～ゲスト・赤柳（あかやなぎ）～
第3回



瀬戸際のシロヤナギちゃん
続きは世界遺産マニアにて
連載中!

白柳ちゃんの新たな冒険が始まる! ?



『瀬戸際の白柳ちゃん』
お試し版

著者・企画・制作：
世界遺産マニア（中の人）

発行：
世界遺産マニア

発行日：
2025年12月7日（第1版）

【世界遺産マニアとは】

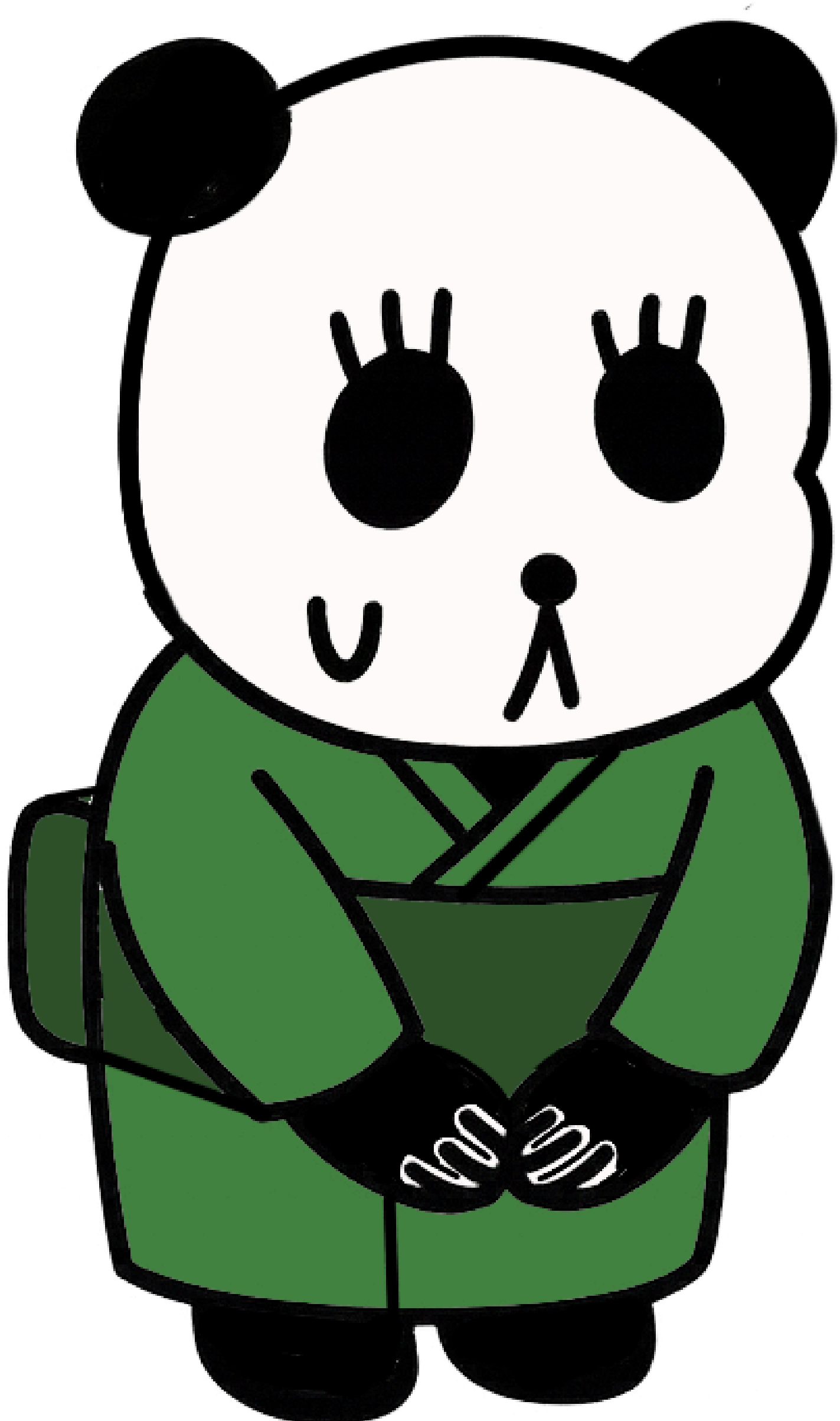
最大月間20万アクセスの世界遺産メディア
各国すべての世界遺産を独自解説
オリジナル世界遺産シール制作
漫画「ツタンカーメンさんは死なない。」連載中
漫画「瀬戸際の白柳ちゃん」連載中

最新情報・お問い合わせはこちらから
▶公式サイト

<https://worldheritage-mania.com/>

© 2025 世界遺産マニア
無断転載・複製・再配布を禁じます

本作品はフィクションです。
実在の人物・団体・出来事とは関係ありません。



マンガに登場した偉人の皆様…
悪口ばかりでごめんなさい